

清 須 市

高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

アンケート調査分析報告書

令和5年3月

清 須 市



# 目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の対象者等	1
3	調査票の回収結果	1
4	報告書の見方	1
II	調査の集計結果	2
	<b>(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査</b>	<b>2</b>
1	対象者の属性	2
1-1	対象者の性別	2
1-2	居住地区	2
1-3	対象者の年齢	2
1-4	家族構成	3
1-5	介護・介助の必要性	3
1-6	介護・介助が必要になった原因	4
1-7	主な介護・介助者	5
1-8	経済的にみた現在の暮らしの状況	5
2	からだを動かすことについて	6
2-1	階段の昇降や立ち上がり、歩行・運動について	6
2-2	転倒について	7
2-3	外出の頻度	8
2-4	外出する際の移動手段	11
3	食えることについて	12
3-1	BMI値の状況	12
3-2	口腔機能について	12
3-3	歯の手入れ等について	12
3-4	体重減少の有無	14
3-5	1日3食の摂取状況	14
3-6	共食の状況	14
4	毎日の生活について	15
4-1	毎日の生活の満足度	15

4-2	日常生活について .....	16
4-3	趣味、生きがいについて .....	18
4-4	物忘れ等について .....	19
4-5	情報通信機器の利用状況について .....	20
<b>5</b>	<b>地域での活動について .....</b>	<b>25</b>
5-1	活動への参加頻度 .....	25
5-2	地域住民による健康づくり活動への参加意向 .....	26
5-3	ボランティア活動について .....	27
5-4	地域との関わりについて .....	28
<b>6</b>	<b>たすけあいについて .....</b>	<b>30</b>
6-1	情緒的サポートの受領状況 .....	30
6-2	情緒的サポートの提供状況 .....	31
6-3	手段的サポートの受領状況 .....	32
6-4	手段的サポートの提供状況 .....	33
6-5	ソーシャル・キャピタル得点 .....	34
6-6	家族や友人・知人以外の相談相手 .....	36
6-7	家族や友人とのつきあいの有無 .....	36
6-8	友人関係について .....	37
6-9	地域やボランティア活動に手伝ってほしいこと .....	38
<b>7</b>	<b>健康について .....</b>	<b>39</b>
7-1	主観的健康観 .....	39
7-2	幸福度 .....	40
7-3	心の健康について .....	41
7-4	飲酒・喫煙について .....	42
7-5	現在治療中、または後遺症のある病気 .....	43
<b>8</b>	<b>認知症について .....</b>	<b>44</b>
8-1	認知症について .....	44
8-2	成年後見制度について .....	45
8-3	認知症になっても安心して暮らしていくために必要なこと .....	46
<b>9</b>	<b>介護保険制度および高齢者福祉施策について .....</b>	<b>47</b>
9-1	地域包括支援センターの認知度 .....	47
9-2	介護予防教室について .....	49
9-3	介護保険制度や高齢者サービスについての情報源 .....	52

9-4	介護保険制度や高齢者サービスについての相談先 .....	53
9-5	高齢者福祉サービスの利用状況・利用意向 .....	54
9-6	在宅生活の継続に必要な支援・サービス .....	56
9-7	終末期を迎える場所について .....	56
9-8	市の高齢者施策について望むこと .....	57
9-9	高齢者の福祉・介護・医療についての意見・要望 .....	58
<b>(2)</b>	<b>在宅介護実態調査 .....</b>	<b>59</b>
<b>1</b>	<b>対象者の属性 .....</b>	<b>59</b>
1-1	調査票の回答者 .....	59
1-2	家族構成 .....	59
1-3	対象者の性別 .....	59
1-4	対象者の年齢 .....	60
1-5	対象者の要介護度 .....	60
<b>2</b>	<b>対象者の生活状況について .....</b>	<b>61</b>
2-1	施設等への入所・入居の検討状況 .....	61
2-2	現在抱えている傷病 .....	62
2-3	介護保険サービスの利用状況 .....	63
2-4	介護保険サービスの利用意向 .....	65
2-5	介護保険サービスを利用していない理由 .....	65
2-6	新たに利用したい介護保険サービス .....	66
2-7	現在利用している高齢者福祉サービス .....	67
2-8	在宅生活の継続に必要な支援・サービス .....	68
2-9	訪問診療の利用の有無 .....	69
2-10	注力してほしい介護関連施策 .....	70
2-11	成年後見制度について .....	71
2-12	地域包括支援センターの認知度 .....	72
2-13	地域包括支援センターの利用状況 .....	72
2-14	注力してほしい地域包括支援センターの事業 .....	73
2-15	家族等による介護の頻度 .....	74
<b>3</b>	<b>主な介護者について .....</b>	<b>75</b>
3-1	介護のための離職の有無 .....	75
3-2	主な介護者の本人との関係 .....	75
3-3	主な介護者の性別、年齢 .....	76

3-4	介護の継続年数 .....	76
3-5	現在行っている介護 .....	77
3-6	在宅生活の継続にあたり不安を感じる介護 .....	78
3-7	介護者の勤務形態 .....	79
3-8	介護のための働き方の調整の状況 .....	79
3-9	仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援 .....	80
3-10	主な介護者の就労継続の可否に係る意識 .....	80
<b>(3)</b>	<b>サービス事業者調査 .....</b>	<b>81</b>
<b>1</b>	<b>介護サービスの実施状況 .....</b>	<b>81</b>
1-1	サービス提供の状況 .....	81
1-2	介護サービスの実施状況と実施予定 .....	82
1-3	介護サービスの利用者数及び利用回数の状況 .....	84
1-4	総合事業利用者との目標共有の状況 .....	86
1-5	生活支援コーディネーターの認知度 .....	86
1-6	生活支援コーディネーターの利用状況 .....	86
1-7	多職種の連携についての意見 .....	87
<b>2</b>	<b>介護人材の確保やケアマネジメントの質の向上等について .....</b>	<b>88</b>
2-1	人材マネジメント上、抱えている問題 .....	88
2-2	人材育成に取り組む際の問題点 .....	88
2-3	職員の確保と定着向上における問題点 .....	89
2-4	居宅介護サービス計画を作成する上での問題 .....	89
2-5	ケアマネジャーの質の確保等のために重視していること .....	90
2-6	利用者や家族からの苦情の内容 .....	90
2-7	介護・高齢者福祉についての意見 .....	91

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、市民の生活状況や福祉への意向、事業者における課題等を把握し、「清須市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」策定のための基礎資料とするため、実施しました。

## 2 調査の対象者等

	対象者	実施時期	調査方法
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上の市民（要介護認定者を除く）から無作為抽出した4,100人	令和4年 12月12日 ～12月26日	郵送配布、 郵送回収
在宅介護実態調査	要支援・要介護認定者（施設入所者を除く）から無作為抽出した1,500人		
サービス事業者調査	市内のサービス提供事業者75事業者		

## 3 調査票の回収結果

	標本サイズ	回収数	無効※	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	4,100	2,686	1	2,685	65.5%
在宅介護実態調査	1,500	848	4	844	56.3%
サービス事業者調査	75	53	0	53	70.7%

※白紙回答、在宅介護実態調査における施設等入所（入居）者からの回答を無効としました。

## 4 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合があります。

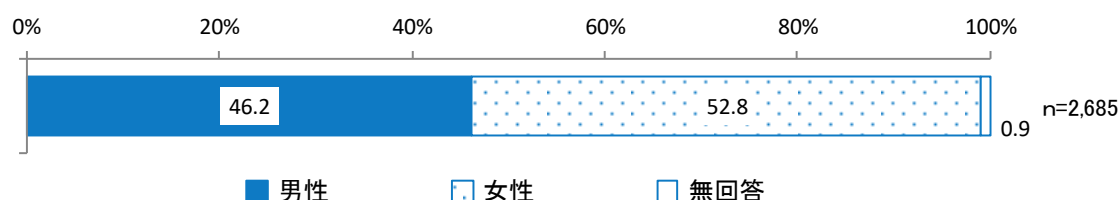
## Ⅱ 調査の集計結果

### (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

#### 1 対象者の属性

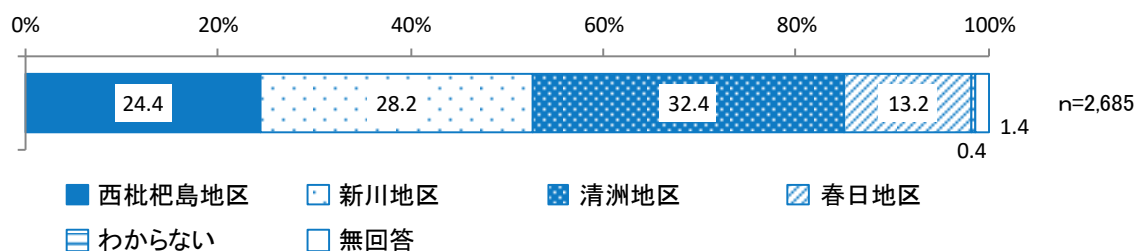
##### 1-1 対象者の性別

対象者の性別は、「男性」が46.2%、「女性」が52.8%となっています。



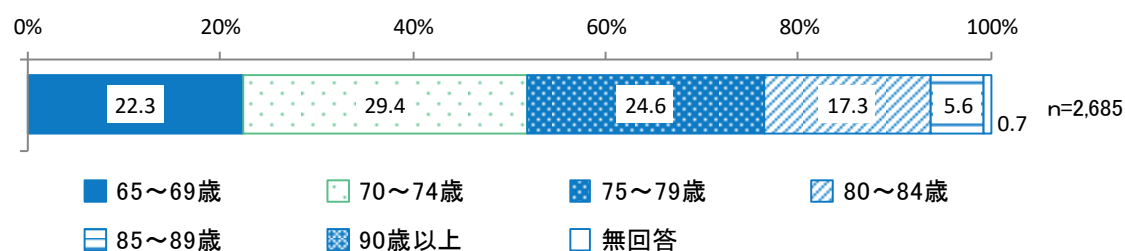
##### 1-2 居住地区

対象者の居住地区は、「清洲地区」が32.4%、「新川地区」が28.2%、「西枇杷島地区」が24.4%、「春日地区」が13.2%となっています。



##### 1-3 対象者の年齢

対象者の年齢は、「70～74歳」が29.4%と最も高く、「65～69歳」(22.3%)と合わせた『前期高齢者』は51.8%となっています。また、75歳以上の『後期高齢者』は47.5%となっています。

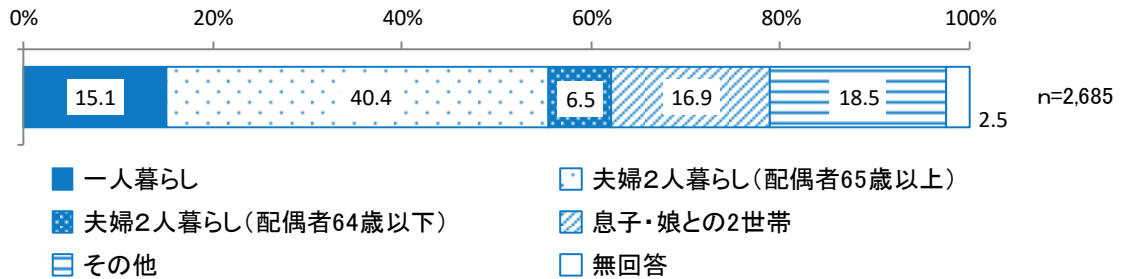




## 1-4 家族構成

問1 家族構成をお教えてください。(〇は1つ)

対象者の家族構成は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が40.4%と最も高く、次いで「その他」が18.5%、「息子・娘との2世帯」が16.9%となっています。

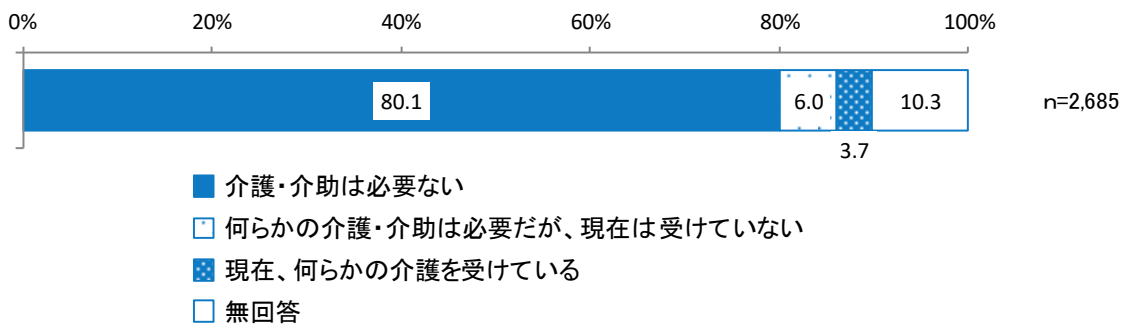


## 1-5 介護・介助の必要性

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(〇は1つ)

介護・介助の要否については、「介護・介助は必要ない」が80.1%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.0%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が3.7%となっています。

年齢別でみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」はいずれも年齢があがるにつれて割合が高くなっており、85歳以上ではそれぞれ24.5%、11.3%となっています。



	件数	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体	2,685	80.1	6.0	3.7	10.3
65~74歳	1,390	88.3	2.3	1.6	7.8
75~84歳	1,124	74.6	7.8	5.3	12.3
85歳以上	151	55.0	24.5	11.3	9.3

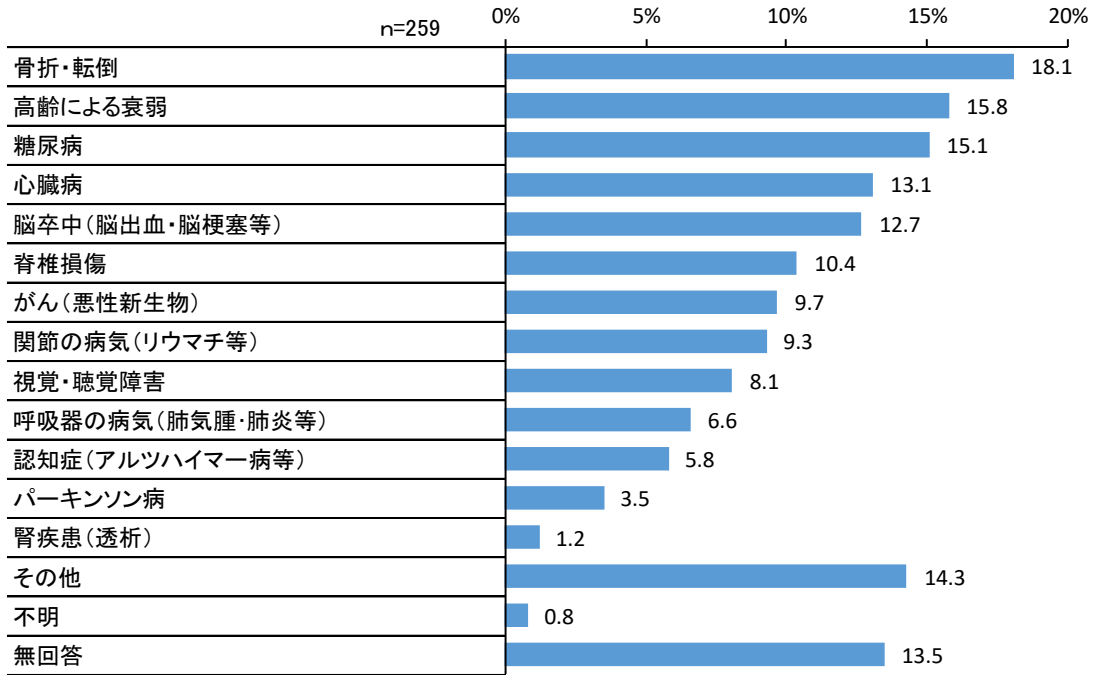
### 1-6 介護・介助が必要になった原因

問2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（〇はいくつでも）

介護・介助が必要になった原因については、「骨折・転倒」が18.1%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」（15.8%）、「糖尿病」（15.1%）となっています。

性別でみると、男性は「糖尿病」が最も高く、女性は「骨折・転倒」が最も高くなっています。

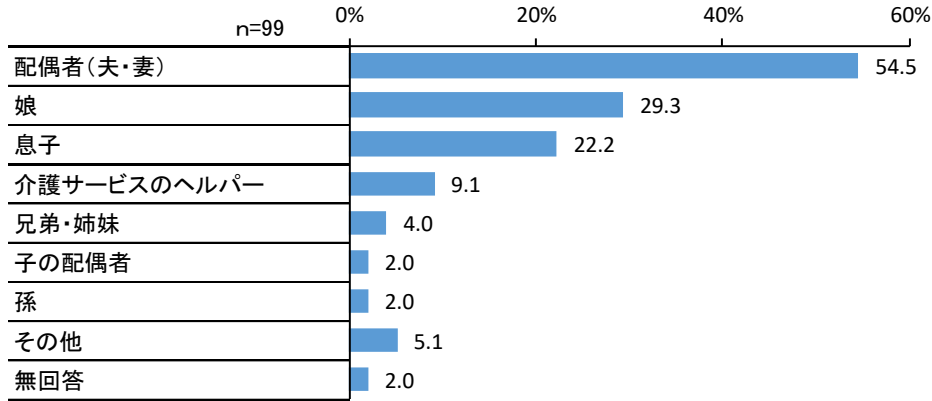


	件数	骨折・転倒	高齢による衰弱	糖尿病	心臓病	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	脊椎損傷	がん(悪性新生物)	関節の病気(リウマチ等)	視覚・聴覚障害	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	腎疾患(透析)	その他	不明	無回答
全体	259	18.1	15.8	15.1	13.1	12.7	10.4	9.7	9.3	8.1	6.6	5.8	3.5	1.2	14.3	0.8	13.5
男性	111	9.0	17.1	19.8	13.5	16.2	11.7	9.9	8.1	9.0	10.8	7.2	3.6	0.9	11.7	1.8	10.8
女性	144	25.7	14.6	11.1	13.2	10.4	9.0	9.7	10.4	7.6	3.5	4.9	3.5	1.4	16.7	-	15.3

### 1-7 主な介護・介助者

問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

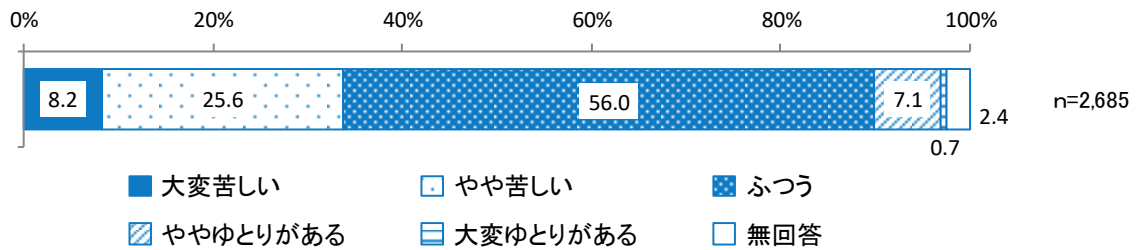
主な介護・介助者については、「配偶者(夫・妻)」が54.5%と最も高く、次いで「娘」(29.3%)、「息子」(22.2%)、「介護サービスのヘルパー」(9.1%)となっています。



### 1-8 経済的にみた現在の暮らしの状況

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

経済的にみた現在の暮らしの状況については、「ふつう」が56.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」(25.6%)、「大変苦しい」(8.2%)、「ややゆとりがある」(7.1%)となっています。



## 2 からだを動かすことについて

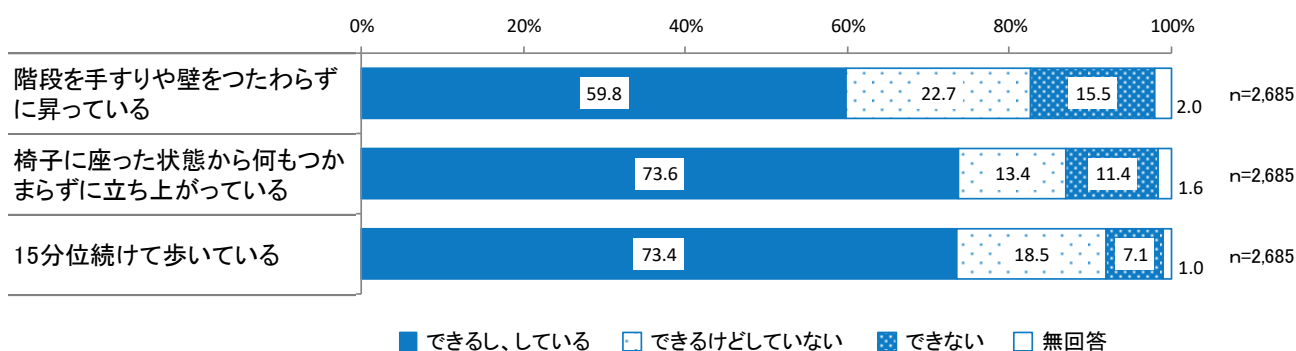
### 2-1 階段の昇降や立ち上がり、歩行・運動について

問4 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

問5 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

問6 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

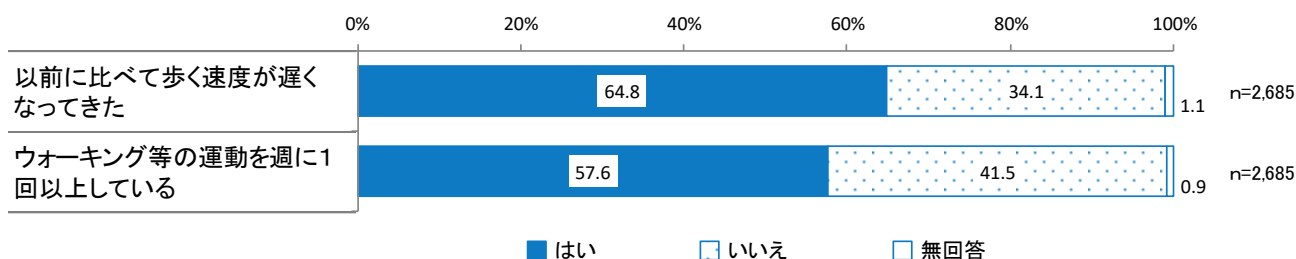
からだを動かすことについて「できない」と回答した人は、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っている」で15.5%、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっている」で11.4%、「15分位続けて歩いている」で7.1%となっています。



問7 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。(○は1つ)

問8 ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか。(○は1つ)

以前に比べて歩く速度が遅くなってきたかどうかについて「はい」と回答した人は64.8%、ウォーキング等の運動を週に1回以上しているかどうかについて「いいえ」と回答した人は41.5%となっています。



## 2-2 転倒について

問9 過去1年間に転んだ経験がありますか。(〇は1つ)

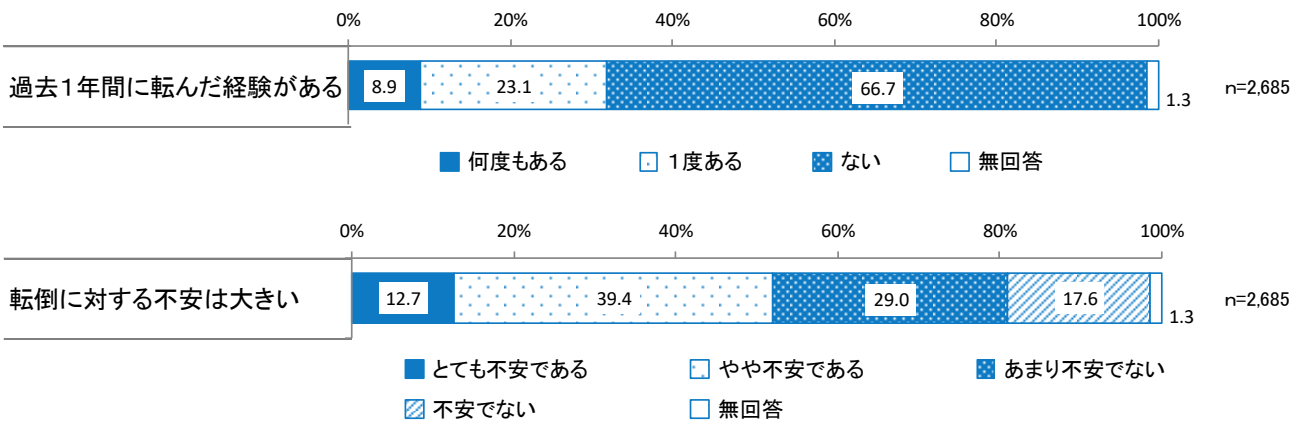
問10 転倒に対する不安は大きいですか。(〇は1つ)

過去1年間に転んだ経験が「何度もある」人は8.9%となっています。「何度もある」と「1度ある」を合わせた『ある』は32.0%となっています。

地区別でみると、いずれの地区においても『ある』は概ね30%台となっています。

転倒に対する不安については、「とても不安である」「やや不安である」を合わせた『不安である』が52.1%となっています。一方、「あまり不安でない」「不安でない」を合わせた『不安でない』は46.6%となっています。

地区別でみると、いずれの地区においても『不安である』が『不安でない』を上回っています。



問9 過去1年間に転んだ経験がある

	件数	何度もある	1度ある	ない	無回答
全体	2,685	8.9	23.1	66.7	1.3
西枇杷島地区	655	9.0	20.9	69.3	0.8
新川地区	757	10.2	23.1	65.9	0.8
清洲地区	869	6.8	24.7	68.0	0.5
春日地区	355	11.3	25.4	62.3	1.1

問10 転倒に対する不安は大きい

	件数	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全体	2,685	12.7	39.4	29.0	17.6	1.3
西枇杷島地区	655	12.2	38.6	28.7	19.5	0.9
新川地区	757	14.1	40.3	28.4	16.5	0.7
清洲地区	869	11.9	39.8	30.0	17.6	0.7
春日地区	355	12.7	38.0	31.3	16.9	1.1

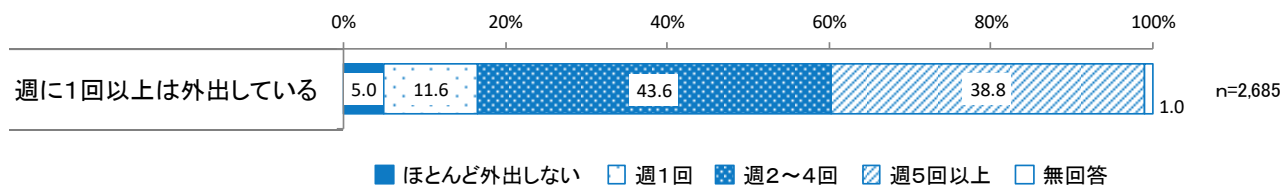
## 2-3 外出の頻度

### 問11 週に1回以上は外出していますか。(〇は1つ)

外出の頻度については、「週2～4回」が43.6%と最も高く、次いで「週5回以上」が38.8%となっています。また、「ほとんど外出しない」は5.0%となっています。

年齢別でみると、65～74歳では「週5回以上」が46.0%と最も高くなっています。また、「ほとんど外出しない」は年齢があがるにつれて割合が高く、85歳以上で15.9%となっています。

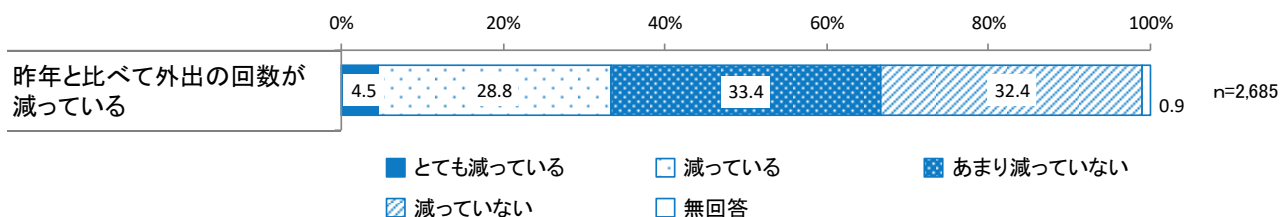
地区別でみると、いずれの地区においても「週2～4回」が最も高くなっています。



		件数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体		2,685	5.0	11.6	43.6	38.8	1.0
年齢	65～74歳	1,390	3.1	9.7	40.9	46.0	0.3
	75～84歳	1,124	5.9	13.2	47.9	32.5	0.6
	85歳以上	151	15.9	17.2	41.7	24.5	0.7
地区	西枇杷島地区	655	6.1	10.7	43.4	39.7	0.2
	新川地区	757	4.6	12.8	43.5	38.4	0.7
	清洲地区	869	4.7	11.5	43.8	39.6	0.3
	春日地区	355	4.5	11.0	45.4	38.3	0.8

### 問12 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇は1つ)

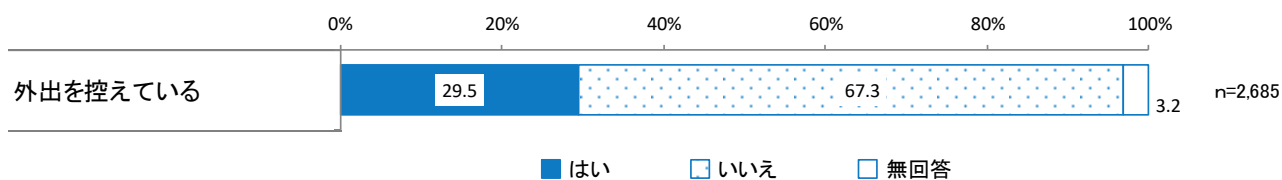
昨年と比べて外出の回数は、「あまり減っていない」が33.4%で最も高く、「減っていない」と合わせた『減っていない』は65.8%となっています。一方、『減っている』(「とても減っている」「減っている」の計)は33.3%となっています。



問13 外出を控えていますか。(○は1つ)

外出を控えているかどうかについて、「はい」は29.5%となっています。

年齢別でみると、「はい」は年齢があがるにつれて割合が高く、85歳以上で46.4%となっています。



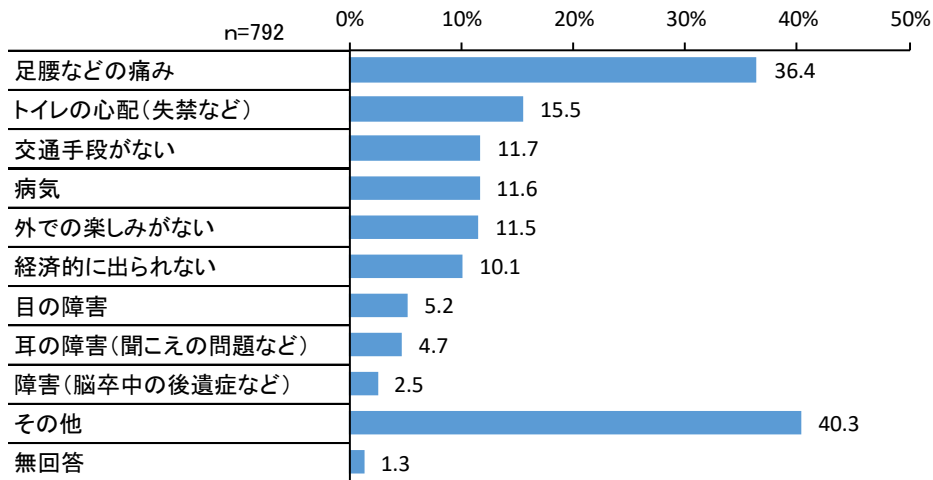
	件数	はい	いいえ	無回答
全体	2,685	29.5	67.3	3.2
65～74歳	1,390	24.4	73.2	2.4
75～84歳	1,124	33.4	62.7	3.9
85歳以上	151	46.4	50.3	3.3

問 13 で「1.はい」とお答えの方

問13-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。（〇はいくつでも）

外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が 36.4%で最も高く、次いで「トイレの心配（失禁など）」（15.5%）、「交通手段がない」（11.7%）、「病気」（11.6%）、「外での楽しみがない」（11.5%）となっています。また、「その他」（40.3%）の内訳は、「新型コロナウイルス等感染症の感染予防のため」が全体の 34.8%と多くを占めています。

年齢別でみると、「足腰などの痛み」「トイレの心配」「交通手段がない」「外での楽しみがない」「目の障害」「耳の障害（聞こえの問題など）」は年齢があがるにつれて割合が高くなっており、特に「交通手段がない」は 85 歳以上では「足腰などの痛み」に次いで割合が高くなっています。



	件数	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	交通手段がない	病気	外での楽しみがない	経済的に出られない	目の障害	耳の障害(聞こえの問題など)	障害(脳卒中の後遺症など)	その他	無回答
全体	792	36.4	15.5	11.7	11.6	11.5	10.1	5.2	4.7	2.5	40.3	1.3
65～74歳	339	22.7	10.0	4.1	11.8	10.9	11.8	3.5	1.2	2.9	55.5	1.5
75～84歳	375	45.6	19.2	16.0	11.5	11.7	9.1	4.5	6.9	2.4	29.9	0.8
85歳以上	70	51.4	22.9	25.7	11.4	14.3	7.1	15.7	10.0	1.4	20.0	2.9



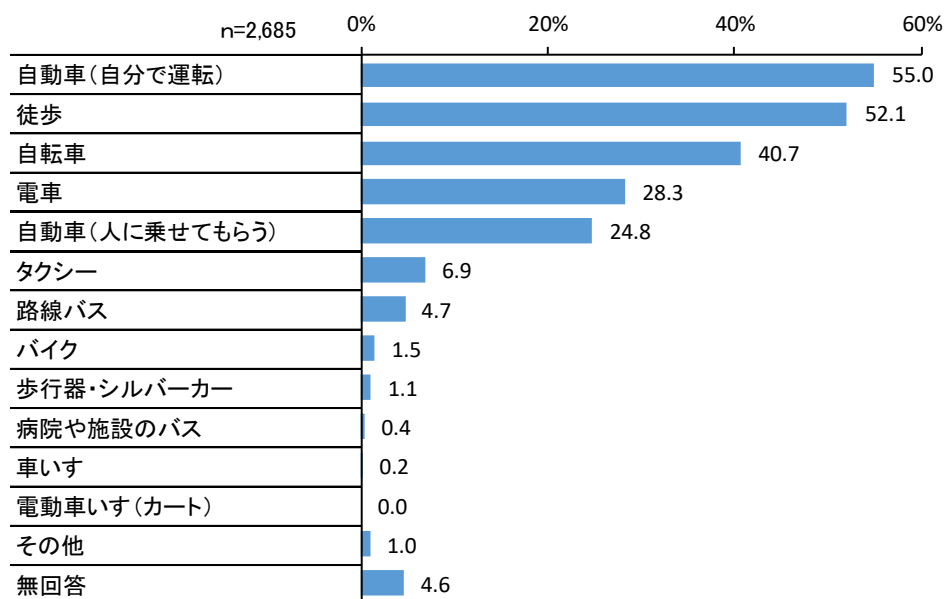
## 2-4 外出する際の移動手段

問14 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」(55.0%)が最も高く、次いで「徒歩」(52.1%)、「自転車」(40.7%)、「電車」(28.3%)、「自動車（人に乗せてもらう）」(24.8%)となっています。

性別でみると、男性では「自動車（自分で運転）」「徒歩」「自転車」の順で高く、女性では「徒歩」「自転車」「自動車（自分で運転）」の順で高くなっています。

年齢別でみると、「自動車（自分で運転）」は年齢があがるにつれて割合が低くなっており、65～74歳での65.8%から85歳以上では21.2%となっています。一方、年齢があがるにつれて割合が高くなっている移動手段は、「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」「路線バス」「歩行器・シルバーカー」「車いす」となっています。



	件数	自動車(自分で運転)	徒歩	自転車	電車	自動車(人に乗せてもらう)	タクシー	路線バス	バイク	歩行器・シルバーカー	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	その他	無回答	
全体	2,685	55.0	52.1	40.7	28.3	24.8	6.9	4.7	1.5	1.1	0.4	0.2	0.0	1.0	4.6	
性別	男性	1,241	73.2	50.7	37.5	25.6	10.7	5.2	2.6	1.9	0.2	0.4	0.1	0.1	0.7	5.6
	女性	1,419	39.0	53.5	43.7	30.7	37.3	8.2	6.6	1.3	1.9	0.5	0.3	-	1.3	3.6
年齢	65～74歳	1,390	65.8	52.2	39.2	29.2	22.4	3.5	3.3	2.2	0.1	0.2	0.1	-	0.7	5.3
	75～84歳	1,124	46.1	52.0	43.5	27.2	27.3	8.5	5.8	1.0	1.7	0.8	0.2	-	1.3	3.7
	85歳以上	151	21.2	51.7	35.1	27.8	29.1	25.2	9.9	-	6.0	-	1.3	0.7	2.0	3.3

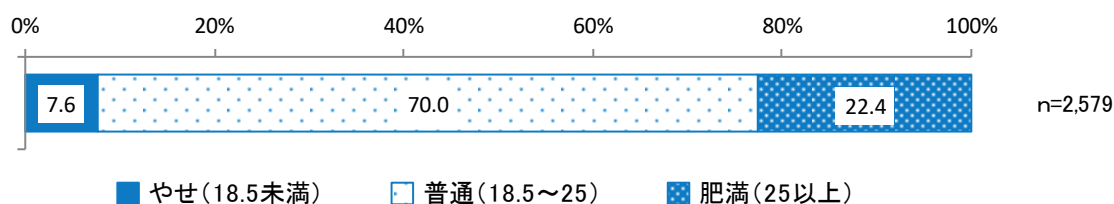
### 3 食べることについて

#### 3-1 BMI値の状況

問15 身長と体重をお書きください。

身長と体重からBMI値※を計算すると、「やせ」の状態であるBMI = 18.5 未満の人は7.6%となっています。また、「肥満」の状態であるBMI = 25以上の人は22.4%となっています。

※BMI (Body Mass Index) は、体重 kg / (身長×身長) m で計算される指数による肥満度の判定方法であり、日本肥満学会では 18.5 未満をやせすぎ、25.0 以上を肥満としています。



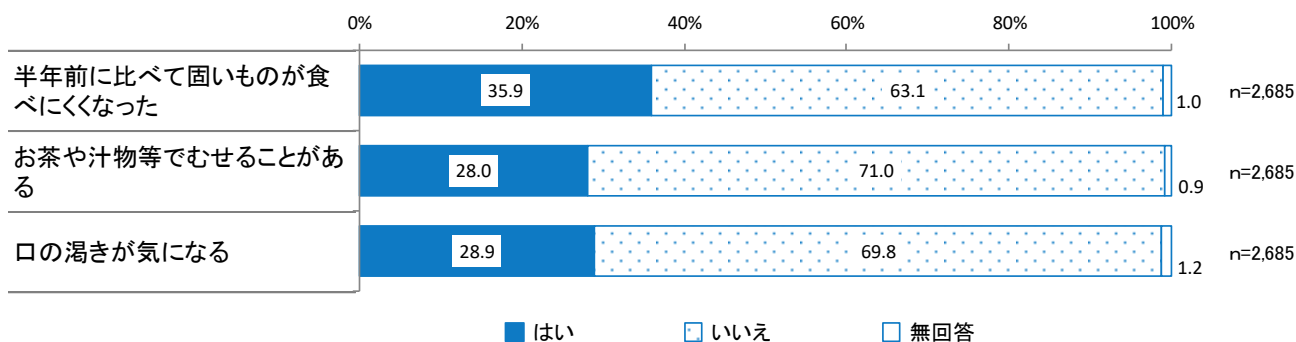
#### 3-2 口腔機能について

問16 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

問17 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

問18 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

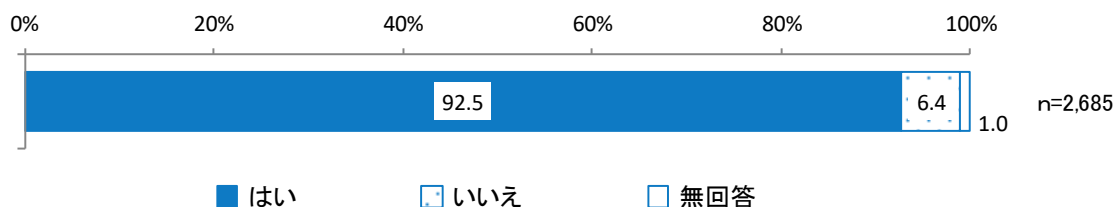
口腔機能について、「はい」は「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」で 35.9%、「お茶や汁物等でむせることがある」で 28.0%、「口の渇きが気になる」で 28.9%となっています。



#### 3-3 歯の手入れ等について

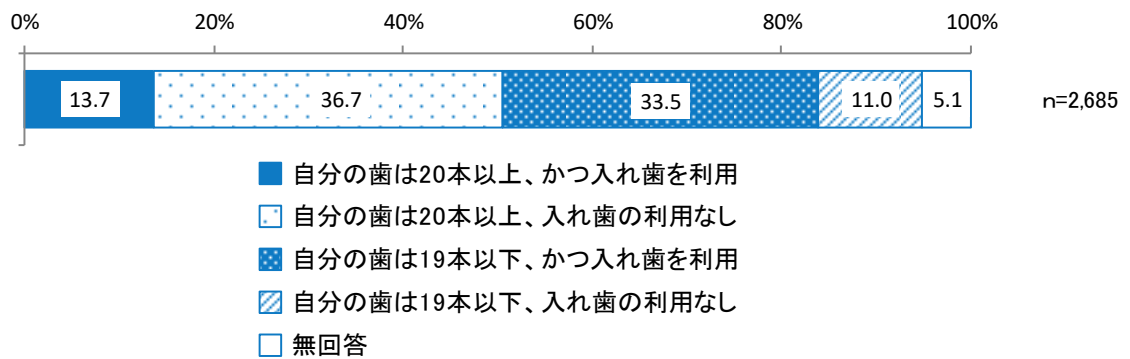
問19 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(○は1つ)

歯磨きを毎日しているかどうかについては、「はい」が 92.5%となっています。



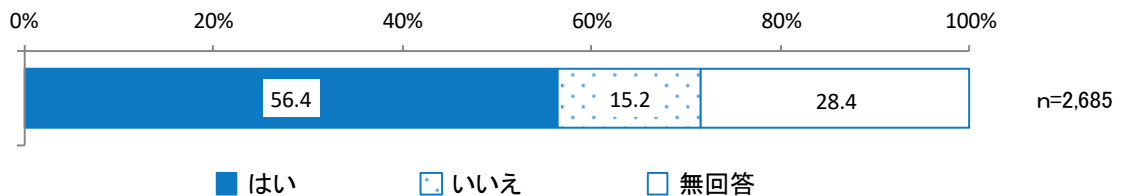
問20 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。（〇は1つ）

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が36.7%で最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が33.5%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が13.7%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が11.0%となっています。



問20-1 噛み合わせは良いですか。（〇は1つ）

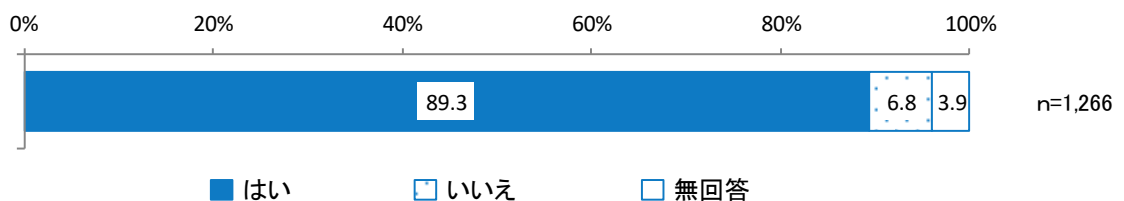
噛み合わせが良いかどうかについては、「はい」が56.4%、「いいえ」が15.2%となっています。



問20で「1.自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3.自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方

問20-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。（〇は1つ）

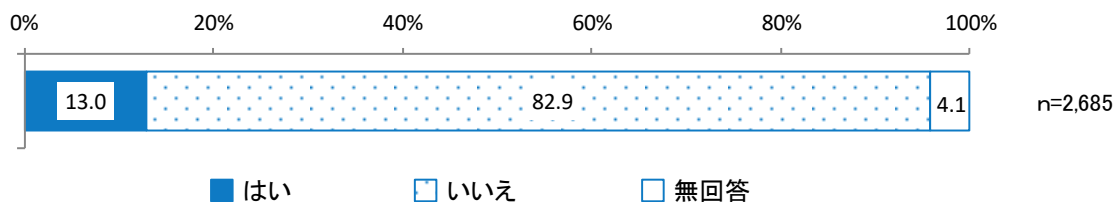
毎日入れ歯の手入れをしているかどうかについては、「はい」が89.3%、「いいえ」が6.8%となっています。



### 3-4 体重減少の有無

問21 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

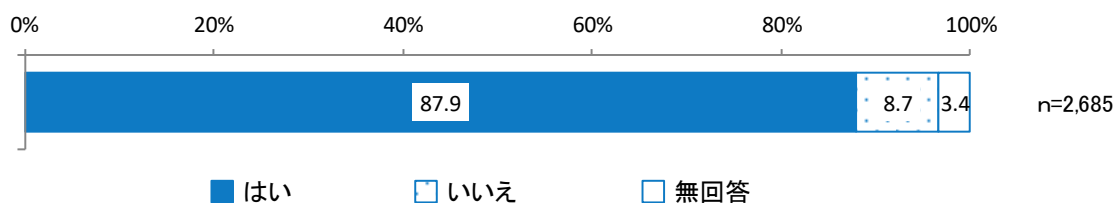
6か月間の2～3kg以上の体重減少の有無については、「はい」(あった)は13.0%となっています。



### 3-5 1日3食の摂取状況

問22 1日3食きちんと食べていますか。(○は1つ)

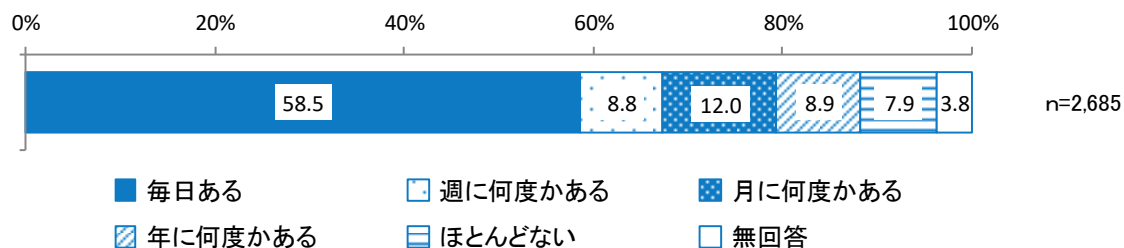
1日3食の摂取状況については、「はい」(食べている)は87.9%となっています。



### 3-6 共食の状況

問23 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

誰かと一緒に食事をする機会は、「毎日ある」が58.5%と最も高く、「ほとんどない」は7.9%となっています。



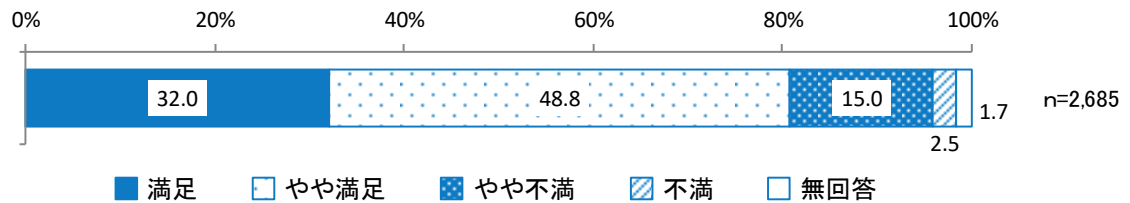
## 4 毎日の生活について

### 4-1 毎日の生活の満足度

問24 毎日の生活に満足していますか。(〇は1つ)

毎日の生活の満足度は、「やや満足」が 48.8%で最も高く、「満足」と合わせた『満足している』は 80.8%となっています。一方、『不満である』（「不満」「やや不満」の計）は 17.5%となっています。

年齢別でみると、『満足している』は 65～74 歳で 79.1%、75～84 歳で 83.9%、85 歳以上で 75.5%となっています。



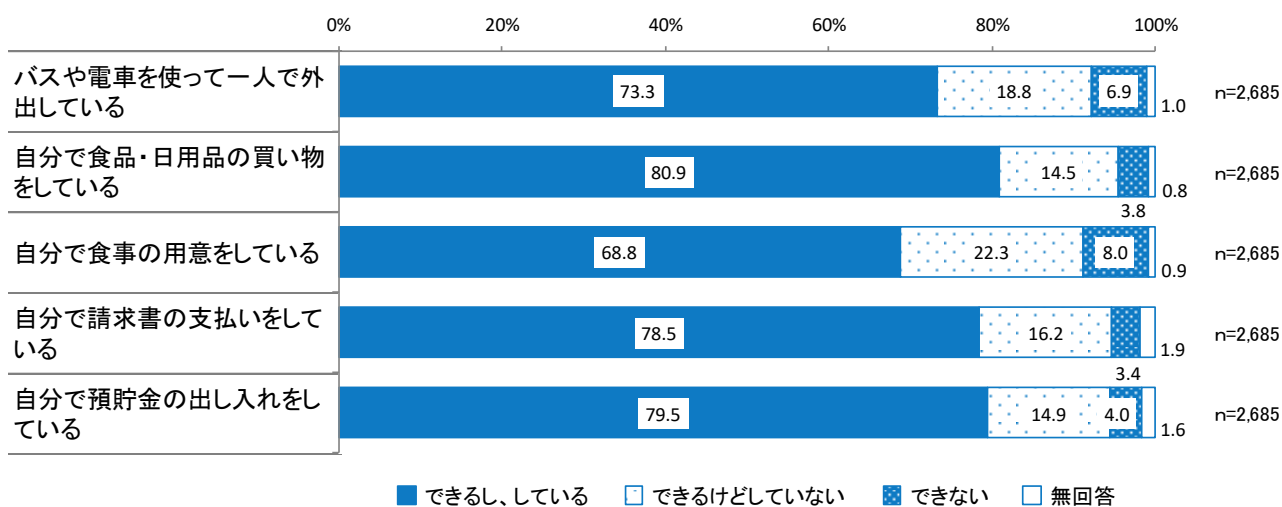
	件数	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全体	2,685	32.0	48.8	15.0	2.5	1.7
65～74歳	1,390	30.6	48.5	16.9	2.9	1.2
75～84歳	1,124	34.5	49.4	11.8	1.9	2.4
85歳以上	151	27.8	47.7	18.5	4.6	1.3

## 4-2 日常生活について

- 問25 バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）。（○は1つ）  
 問26 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。（○は1つ）  
 問27 自分で食事の用意をしていますか。（○は1つ）  
 問29 自分で請求書の支払いをしていますか。（○は1つ）  
 問30 自分で預貯金の出し入れをしていますか。（○は1つ）

日常生活についてたずねたところ、『していない』（「できない」「できるけどしていない」の計）は、「自分で食事の用意をしている」で30.3%と高く、次いで「バスや電車を使って一人で外出している」で25.7%となっています。

地区別でみると、すべての項目について、いずれの地区においても「できるし、している」が6～8割を占め最も高くなっています。



問25 バスや電車を使って一人で外出している

	件数	できるし、している (%)	できるけどしていない (%)	できない (%)	無回答 (%)
全体	2,685	73.3	18.8	6.9	1.0
西枇杷島地区	655	74.2	18.3	6.6	0.9
新川地区	757	74.5	17.0	7.4	1.1
清洲地区	869	72.6	21.3	5.4	0.7
春日地区	355	72.4	16.9	9.0	1.7

問26 自分で食品・日用品の買い物をしている

	件数	できるし、している (%)	できるけどしていない (%)	できない (%)	無回答 (%)
全体	2,685	80.9	14.5	3.8	0.8
西枇杷島地区	655	82.4	12.7	4.1	0.8
新川地区	757	78.2	16.1	4.6	1.1
清洲地区	869	83.3	13.9	2.4	0.3
春日地区	355	79.2	15.5	4.8	0.6

問27 自分で食事の用意をしている

	件数	できるし、している (%)	できるけどしていない (%)	できない (%)	無回答 (%)
全体	2,685	68.8	22.3	8.0	0.9
西枇杷島地区	655	69.5	22.1	7.5	0.9
新川地区	757	69.0	21.1	8.9	1.1
清洲地区	869	70.2	22.7	6.7	0.5
春日地区	355	64.8	25.1	9.3	0.8

問29 自分で請求書の支払いをしている

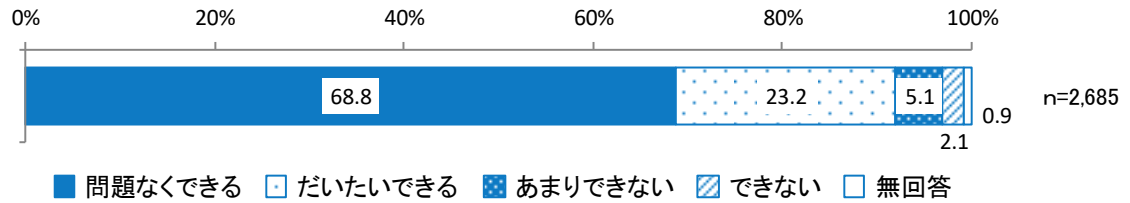
	件数	できるし、している (%)	できるけどしていない (%)	できない (%)	無回答 (%)
全体	2,685	78.5	16.2	3.4	1.9
西枇杷島地区	655	81.1	14.0	2.6	2.3
新川地区	757	75.6	19.2	4.1	1.2
清洲地区	869	79.6	15.3	2.8	2.3
春日地区	355	77.7	16.9	4.2	1.1

問30 自分で預貯金の出し入れをしている

	件数	できるし、している (%)	できるけどしていない (%)	できない (%)	無回答 (%)
全体	2,685	79.5	14.9	4.0	1.6
西枇杷島地区	655	84.1	11.0	3.4	1.5
新川地区	757	76.9	17.6	4.2	1.3
清洲地区	869	79.4	14.5	4.3	1.8
春日地区	355	77.5	17.5	3.9	1.1

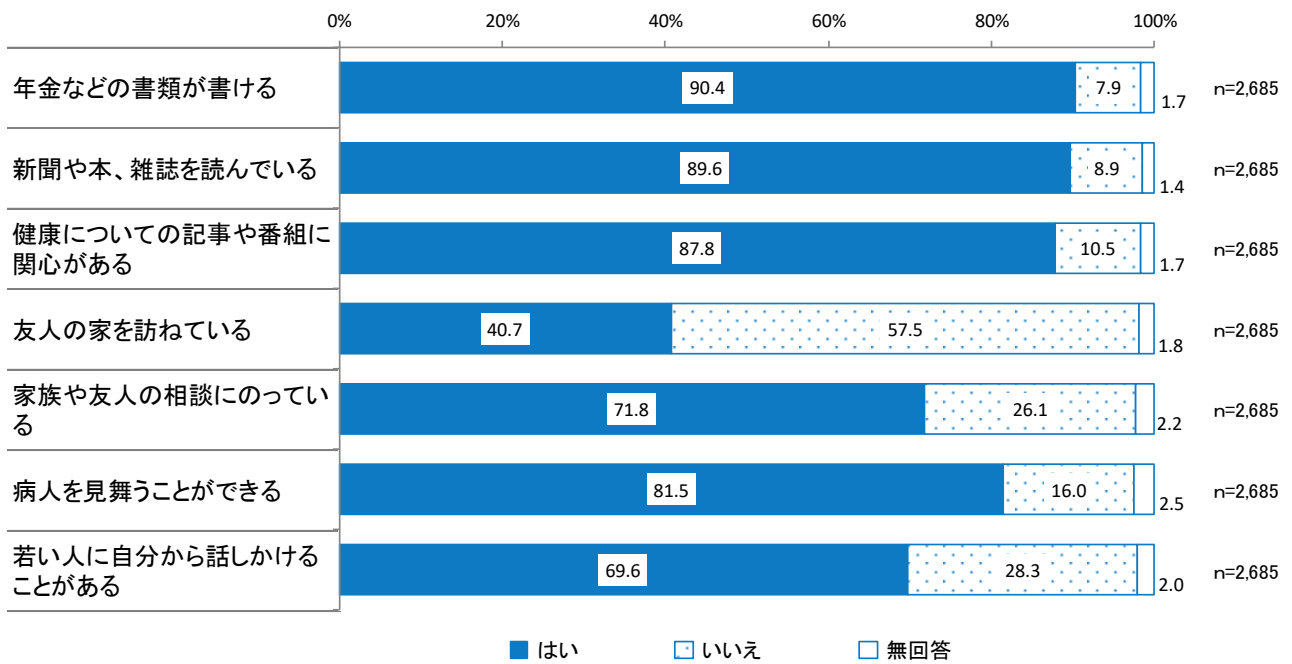
**問28 自分で掃除機やほうきを使って掃除ができますか。（○は1つ）**

自分で掃除ができるかどうかについては、「問題なくできる」が68.8%で最も高く、「だいたいできる」と合わせた『できる』は92.0%となっています。一方、『できない』（「できない」「あまりできない」の計）は7.2%となっています。



- 問31 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（○は1つ）
- 問32 新聞や本、雑誌を読んでいますか。（○は1つ）
- 問33 健康についての記事や番組に関心がありますか。（○は1つ）
- 問34 友人の家を訪ねていますか。（○は1つ）
- 問35 家族や友人の相談にのっていますか。（○は1つ）
- 問36 病人を見舞うことができますか。（○は1つ）
- 問37 若い人に自分から話しかけることがありますか。（○は1つ）

社会参加に関わる項目についてみると、「いいえ」は、「友人の家を訪ねている」で57.5%、「家族や友人の相談にのっている」で26.1%、「若い人に自分から話しかけることがある」で28.3%、「病人を見舞うことができる」で16.0%となっています。



### 4-3 趣味、生きがいについて

問38 趣味はありますか。(〇は1つ)  
 問39 生きがいはありますか。(〇は1つ)

趣味については、「趣味あり」が66.3%で、「思いつかない」が29.1%となっています。

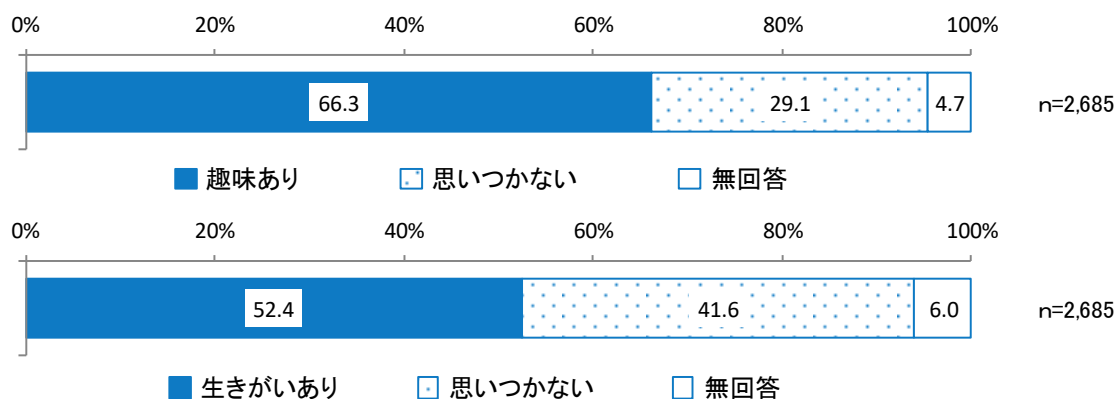
地区別でみると、いずれの地区においても「趣味あり」が6割以上となっています。

趣味の具体的な内容としては、「家庭菜園、ガーデニング等」「スポーツ」「音楽鑑賞、カラオケ等」「手芸」「読書」が多くあげられています。

生きがいについては、「生きがいあり」が52.4%で、「思いつかない」が41.6%となっています。

地区別でみると、いずれの地区においても「生きがいあり」が約5割で「思いつかない」を上回っています。

生きがいの具体的な内容としては、「趣味」「人との交流・関わり合い」「孫」「仕事」「毎日の生活の充実、楽しさ」が多くあげられています。



問38 趣味の有無

	件数	趣味あり	思いつかない	無回答
全体	2,685	66.3	29.1	4.7
西枇杷島地区	655	66.4	28.9	4.7
新川地区	757	64.1	31.7	4.2
清洲地区	869	68.1	26.8	5.1
春日地区	355	66.5	29.0	4.5

問39 生きがいの有無

	件数	生きがいあり	思いつかない	無回答
全体	2,685	52.4	41.6	6.0
西枇杷島地区	655	53.0	42.3	4.7
新川地区	757	49.3	45.3	5.4
清洲地区	869	54.8	38.8	6.4
春日地区	355	53.0	40.0	7.0

【趣味・生きがい(上位10位まで)】

順位	趣味	件数
1	家庭菜園、ガーデニング等	368
2	スポーツ	345
3	音楽鑑賞、カラオケ等	260
4	手芸	210
5	読書	142
6	ゲーム、パズル等	115
7	旅行、観光等	112
8	散歩、ストレッチ等	84
9	釣り、アウトドア	77
10	絵描き、絵手紙等	60
10	映画・演劇等鑑賞	60
	その他	640
	合計	2,473

順位	生きがい	件数
1	趣味	326
2	人との交流・関わり合い	324
3	孫	104
4	仕事	94
5	毎日の生活の充実、楽しさ	80
6	ペット	71
7	健康・元気・長生き	67
8	世の中や誰かの役に立つこと	56
9	家族・親族	38
10	運動・スポーツ	20
	その他	66
	合計	1,246



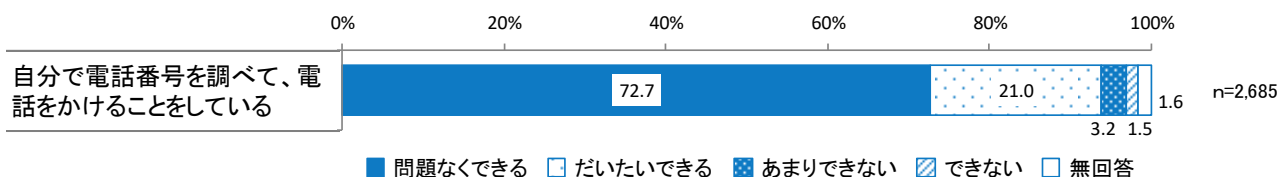
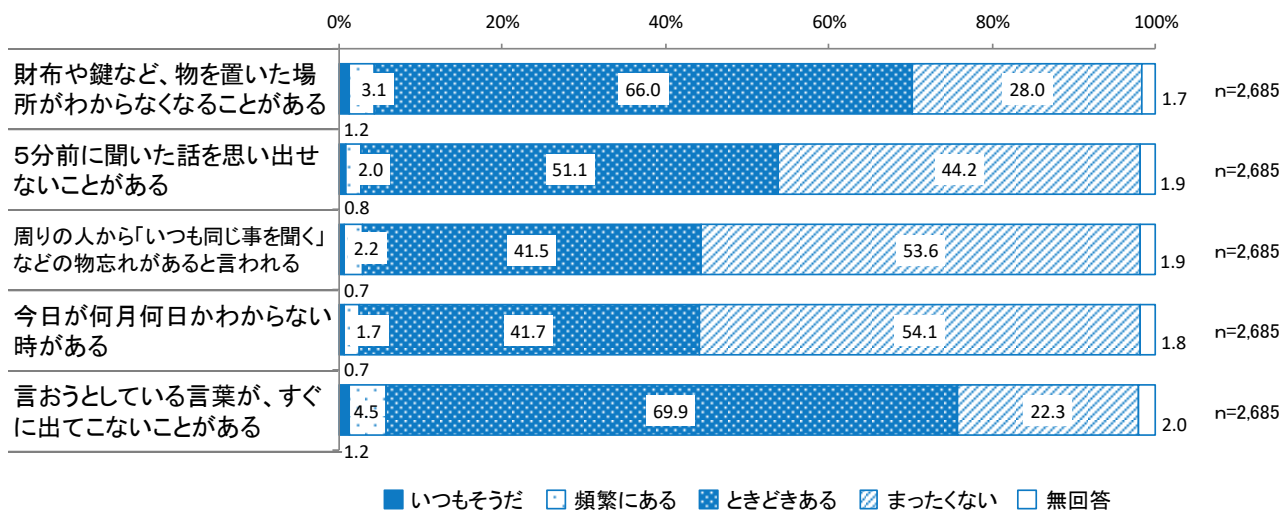
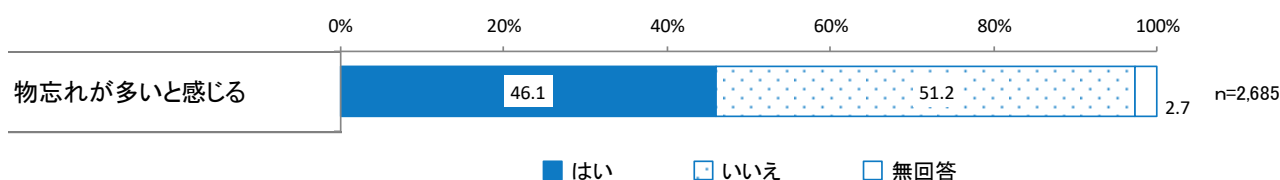
#### 4-4 物忘れ等について

- 問40 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)  
 問41 財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがありますか。(○は1つ)  
 問42 5分前に聞いた話を思い出せないことがありますか。(○は1つ)  
 問43 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。(○は1つ)  
 問44 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)  
 問45 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)  
 問46 言おうとしている言葉が、すぐに出てこないことがありますか。(○は1つ)

物忘れ等について、「物忘れが多いと感じる」で「はい」は46.1%となっています。

また、『よくある』（「いつもそうだ」「頻繁にある」の計）は「言おうとしている言葉が、すぐに出てこないことがある」で5.7%、「財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがある」で4.3%となっています。

また、「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしている」では『できない』（「できない」「あまりできない」の計）が4.7%となっています。



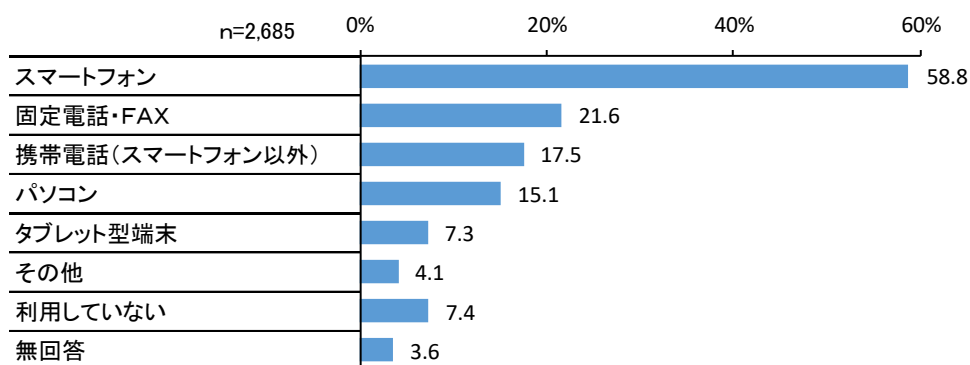
#### 4-5 情報通信機器の利用状況について

問47 あなたは、連絡や相談、情報を得るときなどに、どのような情報通信機器を利用していますか。(〇はいくつでも)

利用している情報通信機器については、「スマートフォン」が 58.8%と最も高く、次いで「固定電話・FAX」が 21.6%、「携帯電話（スマートフォン以外）」が 17.5%、「パソコン」が 15.1%、「タブレット型端末」が 7.3%となっています。

性別でみると、男女ともに「スマートフォン」が最も高く、次いで男性では「パソコン」が、女性では「固定電話・FAX」がそれぞれ高くなっています。

年齢別でみると、65～74歳では「スマートフォン」「パソコン」「固定電話・FAX」、75～84歳では「スマートフォン」「固定電話・FAX」「携帯電話（スマートフォン以外）」、85歳以上では「固定電話・FAX」「携帯電話（スマートフォン以外）」「スマートフォン」の順で高くなっています。また、「利用していない」は年齢があがるにつれて割合が高くなっており、85歳以上で 17.2%となっています。



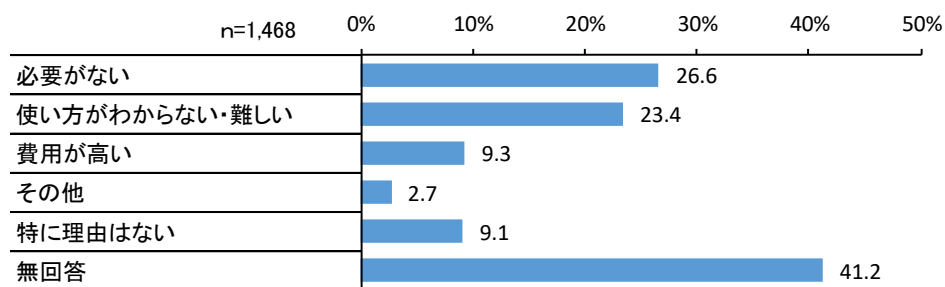
		件数	スマートフォン	固定電話・FAX	携帯電話(スマートフォン以外)	パソコン	タブレット型端末	その他	利用していない	無回答
全体		2,685	58.8	21.6	17.5	15.1	7.3	4.1	7.4	3.6
性別	男性	1,241	59.3	16.9	17.9	23.7	8.3	4.0	7.7	3.4
	女性	1,419	58.7	25.8	17.1	7.8	6.4	4.3	7.1	3.5
年齢	65～74歳	1,390	75.5	13.9	11.2	19.6	9.6	2.8	4.2	1.6
	75～84歳	1,124	43.2	29.6	23.3	10.9	5.1	5.7	9.9	5.2
	85歳以上	151	22.5	33.8	32.5	6.0	2.0	5.3	17.2	7.9

問 47で「1.スマートフォン」「2.タブレット型端末」以外にお答えの方

問47-1 スマートフォンやタブレット型端末を利用していない（持っていない）理由は何ですか。（〇はいくつでも）

スマートフォン等を利用していない（持っていない）理由については、「必要がない」が26.6%と最も高く、次いで「使い方がわからない・難しい」が23.4%、「費用が高い」が9.3%となっています。

年齢別でみると、85歳以上では「使い方がわからない・難しい」（39.0%）が最も高くなっています。



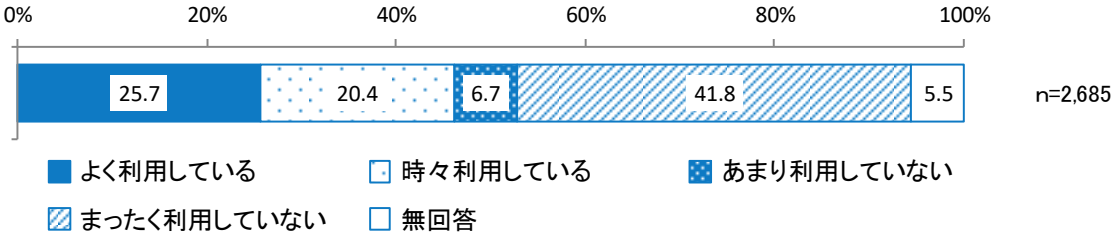
	件数	必要がない	使い方がわからない・難しい	費用が高い	その他	特に理由はない	無回答
全体	1,468	26.6	23.4	9.3	2.7	9.1	41.2
65～74歳	599	21.0	13.9	9.7	2.5	9.7	54.8
75～84歳	735	30.1	28.6	8.8	1.8	9.4	33.2
85歳以上	123	32.5	39.0	9.8	8.1	5.7	23.6

問48 あなたは、ふだんインターネットを利用していますか。（〇は1つ）

インターネットの日常の利用状況については、「まったく利用していない」が41.8%と最も高く、「あまり利用していない」と合わせた『利用していない』は48.5%となっています。一方、『利用している』（「よく利用している」「時々利用している」の計）は46.1%となっています。

性別でみると、『利用している』は男性で52.2%、女性で40.8%となっています。

年齢別でみると、『利用している』は年齢があがるにつれて割合が低くなっており、75～84歳では30.2%、85歳以上では11.9%となっています。



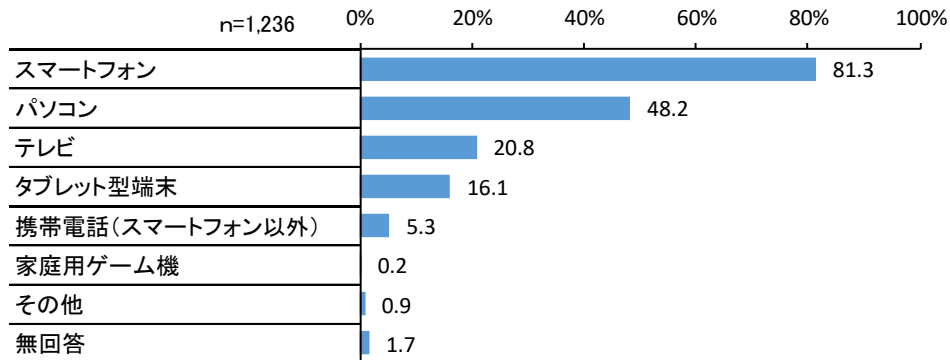
		件数	よく利用している	時々利用している	あまり利用していない	まったく利用していない	無回答
全体		2,685	25.7	20.4	6.7	41.8	5.5
性別	男性	1,241	32.4	19.8	7.7	35.2	4.8
	女性	1,419	19.9	20.9	5.8	47.6	5.7
年齢	65～74歳	1,390	37.4	25.3	6.9	27.4	3.0
	75～84歳	1,124	14.0	16.2	6.5	55.7	7.7
	85歳以上	151	5.3	6.6	6.6	70.9	10.6

問 48 で「1.よく利用している」または「2.時々利用している」とお答えの方

問48-1 インターネットをどのような情報通信機器で利用していますか。(〇はいくつでも)

インターネットを利用している情報通信機器については、「スマートフォン」が 81.3%と最も高く、次いで「パソコン」が 48.2%、「テレビ」が 20.8%、「タブレット型端末」が 16.1%となっています。

性別で見ると、「スマートフォン」は男性で 75.9%、女性で 87.0%と女性で高く、「パソコン」は男性で 65.1%、女性で 29.5%と男性で高くなっている。

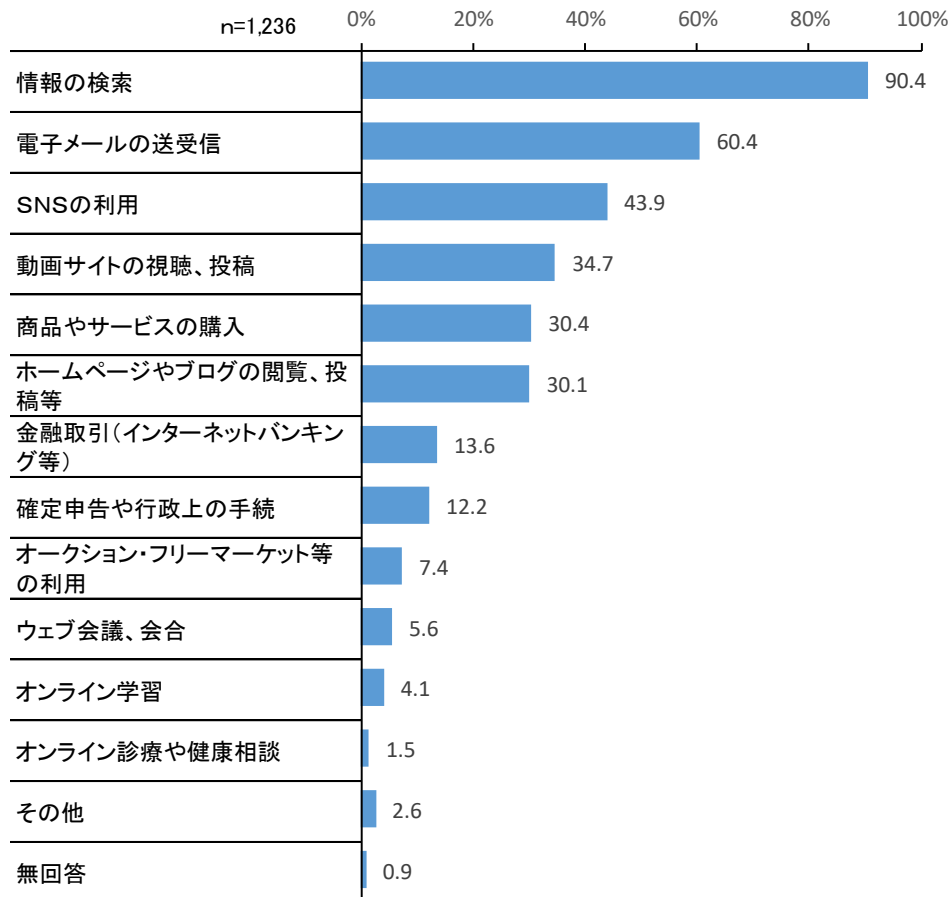


	件数	スマートフォン	パソコン	テレビ	タブレット型端末	携帯電話(スマートフォン以外)	家庭用ゲーム機	その他	無回答
全体	1,236	81.3	48.2	20.8	16.1	5.3	0.2	0.9	1.7
男性	648	75.9	65.1	19.8	17.0	5.4	0.5	0.9	2.0
女性	579	87.0	29.5	22.1	15.0	5.2	-	0.9	1.4

問 48 で「1.よく利用している」または「2.時々利用している」とお答えの方

問48-2 インターネットをどのような目的で利用していますか。(〇はいくつでも)

インターネットを利用している目的については、「情報の検索」が 90.4%と最も高く、次いで「電子メールの送受信」が60.4%、「SNSの利用」が43.9%、「動画サイトの視聴、投稿」が 34.7%、「商品やサービスの購入」が 30.4%、「ホームページやブログの閲覧、投稿等」が 30.1%となっています。

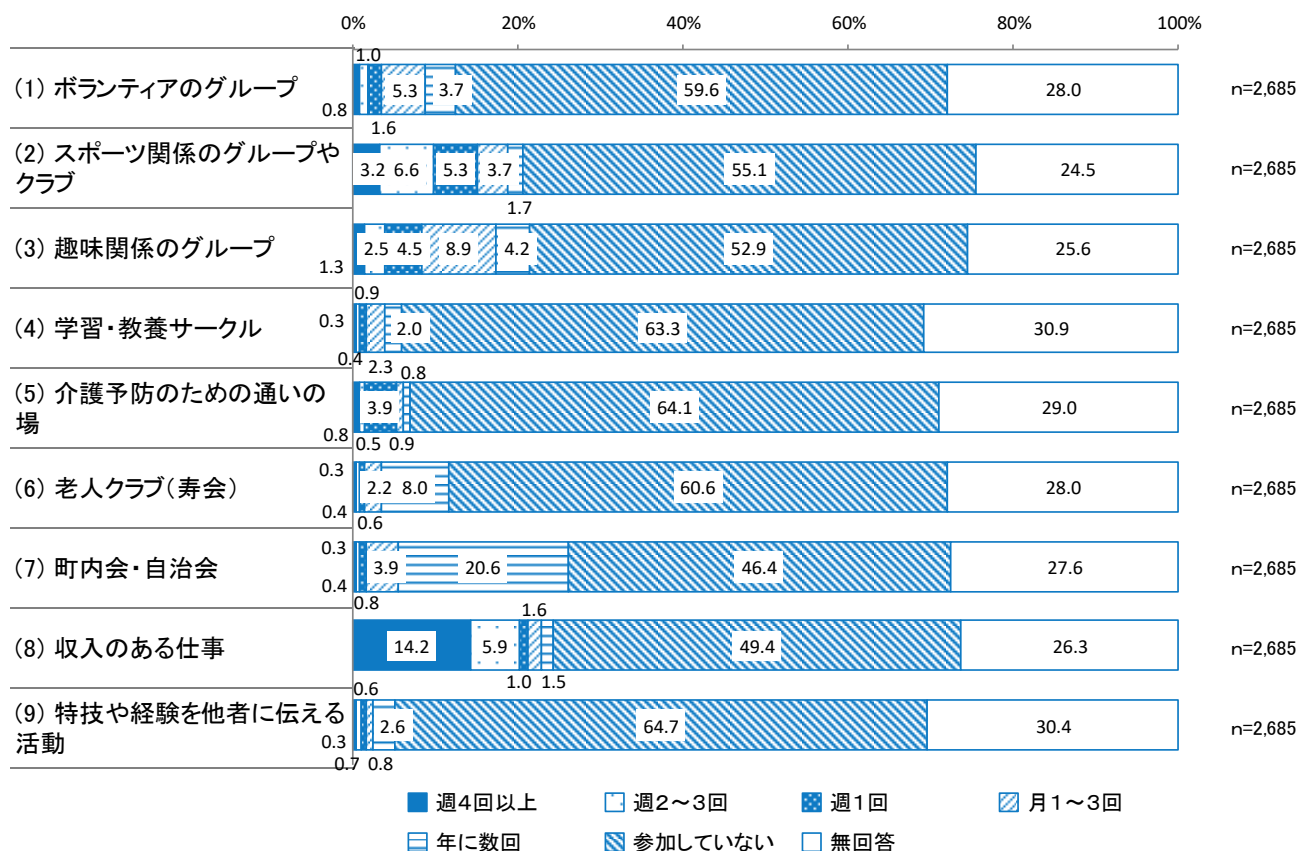


## 5 地域での活動について

### 5-1 活動への参加頻度

問49 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

地域活動への参加頻度についてみると、『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」の計）は「町内会・自治会」で25.9%と最も高く、次いで「収入のある仕事」（24.3%）、「趣味関係のグループ」（21.5%）、「スポーツ関係のグループやクラブ」（20.4%）となっています。一方、「介護予防のための通いの場」での『参加している』は6.9%となっています。



## 5-2 地域住民による健康づくり活動への参加意向

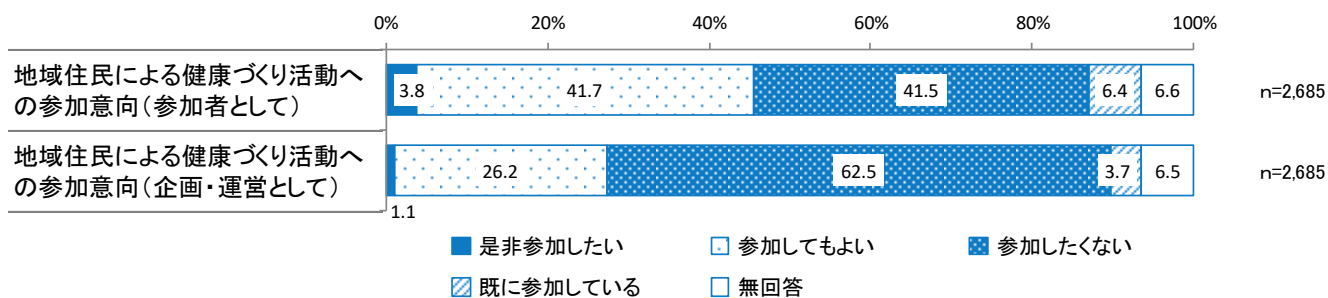
問50 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

問51 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

地域住民による健康づくり活動への参加者としての参加意向については、「参加してもよい」が41.7%と最も高く、「是非参加したい」(3.8%)、「既に参加している」(6.4%)と合わせた『参加意向がある』は51.9%となっています。一方で、「参加したくない」は41.5%となっています。

地域住民による健康づくり活動への企画・運営としての参加意向については、「参加したくない」が62.5%と最も高くなっています。一方で、「是非参加したい」(1.1%)、「参加してもよい」(26.2%)、「既に参加している」(3.7%)を合わせた『参加意向がある』は31.0%となっています。

性別でみると、『参加意向がある』は男性で34.7%、女性で27.8%と、男性の方がやや高くなっています。



【企画・運営としての参加意向】

	件数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体	2,685	1.1	26.2	62.5	3.7	6.5
男性	1,241	1.2	29.7	60.4	3.8	5.0
女性	1,419	1.0	23.1	64.4	3.7	7.8



### 5-3 ボランティア活動について

問52 ボランティア活動についておうかがいします。

(1) ボランティア活動を始めた（または始めようと思う）きっかけは何ですか。（〇はいくつでも）

(2) 介護施設等でのボランティア活動に対して、ポイントが付与され、ポイントに応じて換金又は寄付できるなどの制度があった場合、参加してみたいと思いますか。（〇は1つ）

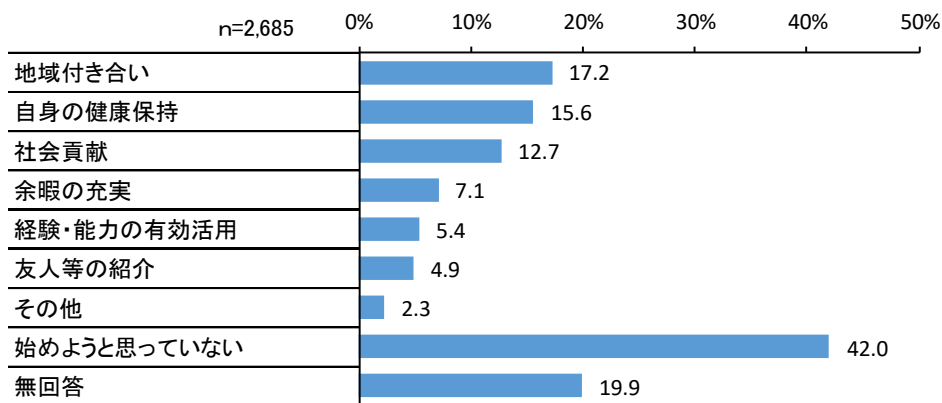
(3) ボランティア活動に対する報酬の考え方について適当だと思うのはどれですか。

ボランティア活動を始めた（または始めようと思う）きっかけは、「始めようと思っていない」（42.0%）及び無回答以外では、「地域付き合い」が17.2%と最も高く、次いで「自身の健康保持」（15.6%）、「社会貢献」（12.7%）、「余暇の充実」（7.1%）となっています。

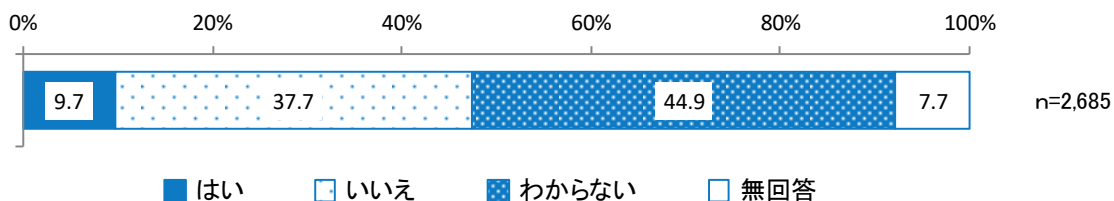
ボランティア活動に対するポイント制度があった場合の参加意向は、「わからない」が44.9%、「いいえ」が37.7%、「はい」が9.7%となっています。

ボランティア活動に対する報酬の考え方として適当だと思うものは、「実費（交通費・材料代）程度」が33.7%と最も高く、次いで「わからない」（33.2%）、「無報酬」（17.4%）となっています。

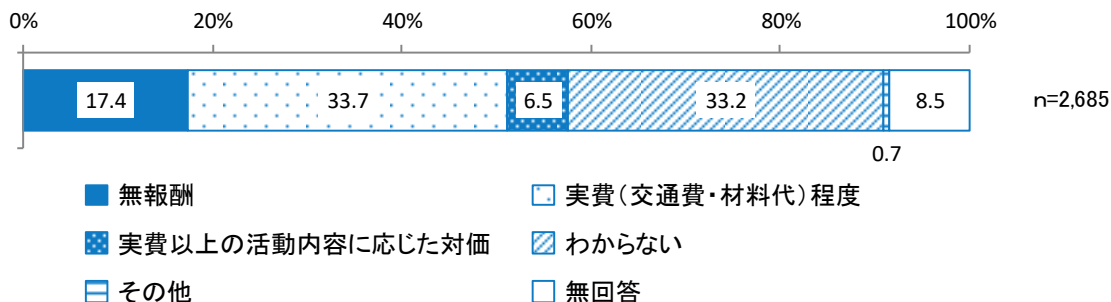
【ボランティア活動を始めたきっかけ】



【ボランティア活動ポイント制度への参加意向】



【ボランティア活動に対する報酬として適当だと思うもの】



#### 5-4 地域との関わりについて

問53 あなたの住んでいる地域についておうかがいします。

(1) あなたの地域の人々は、一般的に信用できると思いますか。(〇は1つ)

(2) あなたの地域の人々は、多くの場合、他の人の役に立とうとするとと思いますか。(〇は1つ)

(3) あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。(〇は1つ)

(4) あなたが考える地域とはどの範囲ですか。(〇は1つ)

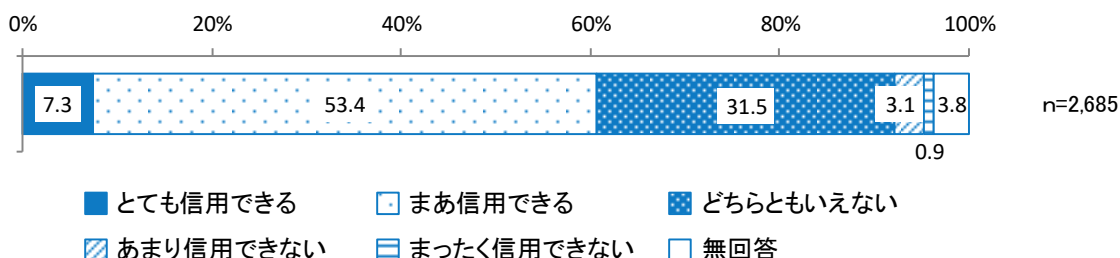
地域の人々が一般的に信用できるかについては、「まあ信用できる」が 53.4%と最も高く、「とても信用できる」(7.3%)と合わせた『信用できる』は 60.7%となっています。一方、「まったく信用できない」と「あまり信用できない」を合わせた『信用できない』は 4.0%となっています。

地域の人々が他の人の役に立とうと思うかについては、「どちらともいえない」が 45.0%と最も高く、「まあそう思う」(35.5%)と「とてもそう思う」(2.9%)と合わせた『そう思う』は 38.4%となっています。一方、「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『そう思わない』は 12.3%となっています。

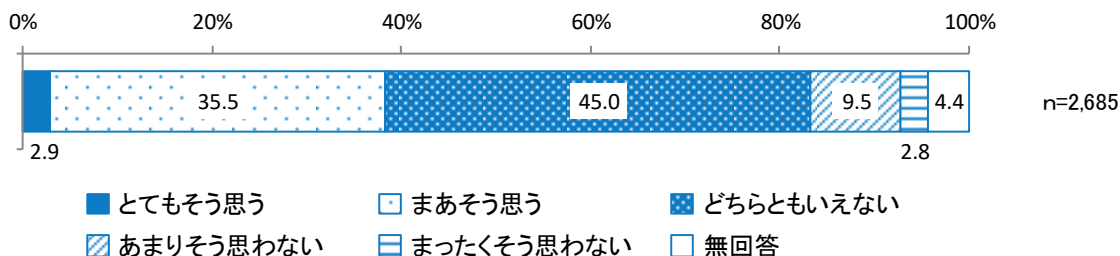
現在住んでいる地域への愛着については、「まあ愛着がある」が 55.2%と最も高く、「とても愛着がある」(13.0%)と合わせた『愛着がある』は 68.2%となっています。一方、「まったく愛着がない」と「あまり愛着がない」を合わせた『愛着がない』は 7.0%となっています。

自身が考える「地域」の範囲については、「町内会単位」が 45.9%と最も高く、次いで「旧町単位」(17.7%)、「ブロック単位」(10.1%)、「市内全域」(9.5%)となっています。また、「わからない」が 12.1%となっています。

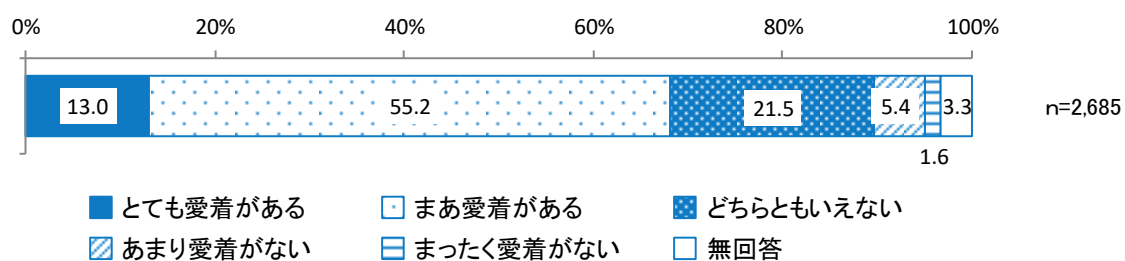
【地域の人々は一般的に信用できると思うか】



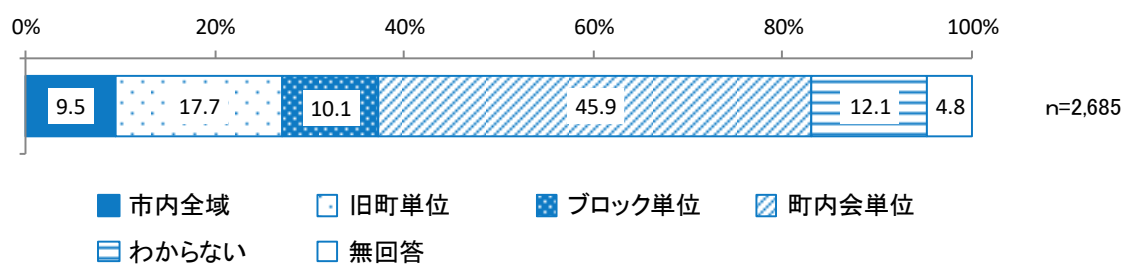
【地域の人々は多くの場合、他の人の役に立とうとするとと思うか】



【現在住んでいる地域への愛着】



【自身が考える「地域」の範囲】



## 6 たすけあいについて

### 6-1 情緒的サポートの受領状況

問54 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(〇はいくつでも)

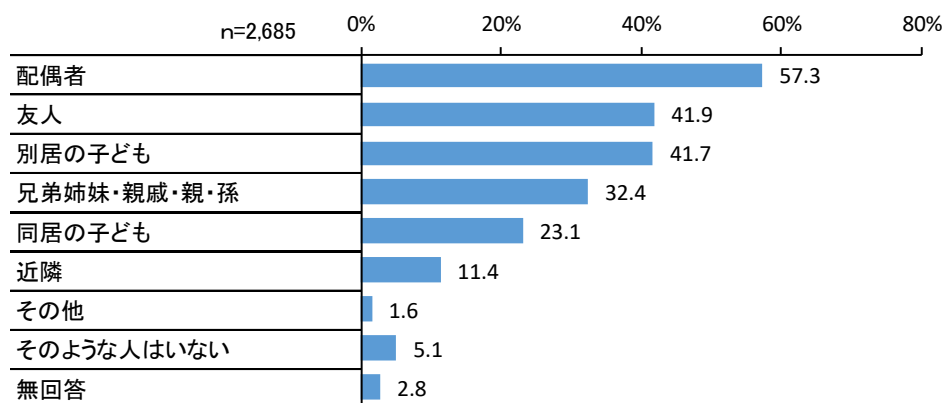
心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が57.3%と最も高く、次いで「友人」(41.9%)、「別居の子ども」(41.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(32.4%)となっています。情緒的サポート受領者※割合は92.1%となっています。

性別でみると、男性は「配偶者」(69.7%)が最も高く、女性は「友人」(52.0%)が最も高くなっています。

※「情緒的サポート」は、ストレス状態にある個人に対し、他者が共感的、受容的に接することで支えていこうとするような態度や行動のことを指します。ここでは「心配事や愚痴を聞いてくれる相手の割合」を「情緒的サポート受領者割合」と呼び、以下の割合とします。

・次の①～⑦のいずれかがいる人の割合

①配偶者 ②同居の子ども ③別居の子ども ④兄弟姉妹・親戚・親・孫 ⑤近隣 ⑥友人 ⑦その他



	件数	配偶者	友人	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	同居の子ども	近隣	その他	ない	そのような人はいない	無回答
全体	2,685	57.3	41.9	41.7	32.4	23.1	11.4	1.6	5.1	2.8	
男性	1,241	69.7	30.7	31.3	25.9	17.3	7.1	1.5	7.3	3.3	
女性	1,419	46.8	52.0	51.1	38.2	28.1	15.4	1.8	3.0	2.2	

## 6-2 情緒的サポートの提供状況

### (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（〇はいくつでも）

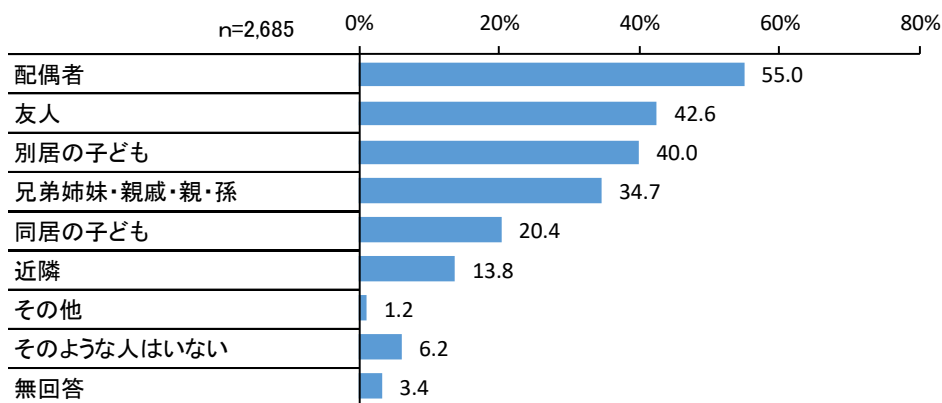
心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が 55.0%と最も高く、次いで「友人」(42.6%)、「別居の子ども」(40.0%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(34.7%)となっています。情緒的サポート提供者※割合は 90.4%となっています。

性別でみると、男性は「配偶者」(68.6%)が最も高く、女性は「友人」(52.3%)が最も高くなっています。

※「心配事や愚痴を聞いてあげる相手の割合」を「情緒的サポート提供者割合」と呼び、以下の割合とします。

・次の①～⑦のいずれかがいる人の割合

①配偶者 ②同居の子ども ③別居の子ども ④兄弟姉妹・親戚・親・孫 ⑤近隣 ⑥友人 ⑦その他



	件数	配偶者	友人	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	同居の子ども	近隣	その他	ない そのような人はい	無回答
全体	2,685	55.0	42.6	40.0	34.7	20.4	13.8	1.2	6.2	3.4
男性	1,241	68.6	31.7	32.1	28.6	16.8	9.6	1.3	7.1	3.5
女性	1,419	43.6	52.3	46.9	40.2	23.5	17.8	1.2	5.2	3.1

### 6-3 手段的サポートの受領状況

#### (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

病気で寝込んだときに看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が 62.6%と最も高く、次いで「別居の子ども」(35.9%)、「同居の子ども」(28.2%)となっています。

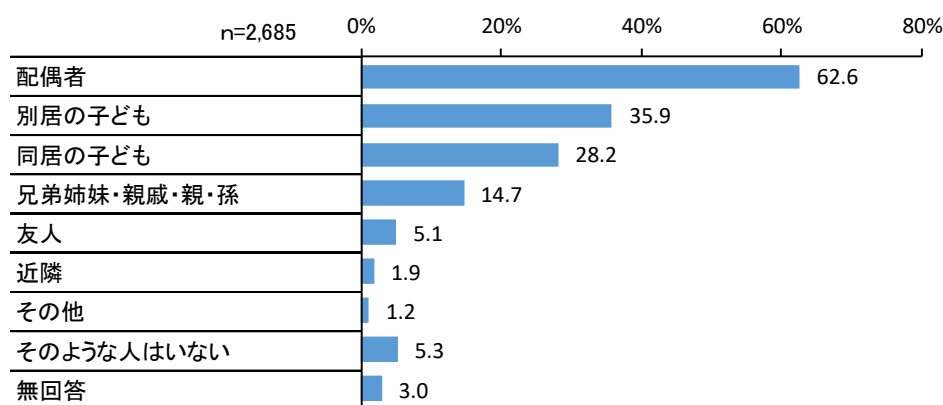
手段的サポート受領者\*割合は 91.7%となっています。

性別でみると、男女ともに「配偶者」が最も高く、男性で76.2%、女性で50.9%となっています。

※「手段的サポート」は、ストレス等の問題解決のために、必要な手段や情報を提供することを指します。ここでは「看病や世話をしてくれる相手の割合」を「手段的サポート受領者割合」と呼び、以下の割合とします。

・次の①～⑦のいずれかがいる人の割合

①配偶者 ②同居の子ども ③別居の子ども ④兄弟姉妹・親戚・親・孫 ⑤近隣 ⑥友人 ⑦その他



	件数	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	友人	近隣	その他	ない	そのような人はいない	無回答
全体	2,685	62.6	35.9	28.2	14.7	5.1	1.9	1.2	5.3	3.0	
男性	1,241	76.2	27.8	20.9	12.8	2.3	0.4	0.8	6.3	3.5	
女性	1,419	50.9	43.1	34.7	16.5	7.5	3.2	1.6	4.2	2.6	

## 6-4 手段的サポートの提供状況

### (4) 反対に、看病や世話をしあける人 (〇はいくつでも)

看病や世話をしあける人については、「配偶者」が 64.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」(31.4%)、「同居の子ども」(26.8%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(24.2%)となっています。

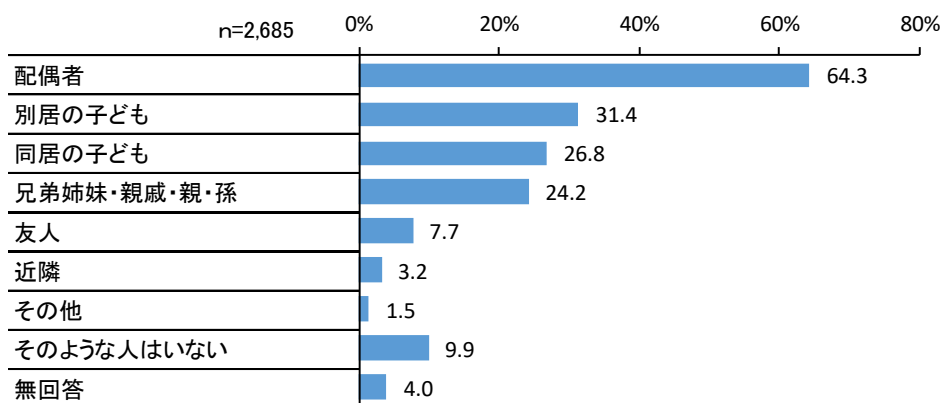
手段的サポート提供者\*割合は 86.1%となっています。

性別でみると、男女ともに「配偶者」が最も高く、男性で74.2%、女性で55.9%となっています。

※「看病や世話をしあける相手の割合」を「手段的サポート提供者割合」と呼び、以下の割合とします。

・次の①～⑦のいずれかがいる人の割合

①配偶者 ②同居の子ども ③別居のこども ④兄弟姉妹・親戚・親・孫 ⑤近隣 ⑥友人 ⑦その他



	件数	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	友人	近隣	その他	ない	そのような人はいない	無回答
全体	2,685	64.3	31.4	26.8	24.2	7.7	3.2	1.5	9.9	4.0	
男性	1,241	74.2	24.6	22.2	20.7	4.2	1.6	1.5	10.6	3.5	
女性	1,419	55.9	37.4	30.9	27.6	10.9	4.7	1.3	9.3	4.3	

## 6-5 ソーシャル・キャピタル得点

地域の社会的な特徴について、「ソーシャル・キャピタル<sup>※</sup>得点」を算出して分析しました。

※「ソーシャル・キャピタル」とは、人々の協調行動を活発にすることによって社会の効率性を高めることのできる「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴を指します。ソーシャル・キャピタルが豊かならば、市民活動への参加が促進される可能性があると考えられています（平成17年8月「コミュニティ機能再生とソーシャル・キャピタルに関する研究調査報告書」内閣府）。

ここでは＜社会参加＞＜連帯感＞＜助け合い＞について、それぞれアンケートの異なる設問の回答率を用いて、地区別の得点を算出しています。

### ＜社会参加＞

ソーシャルキャピタル得点＜社会参加＞<sup>※</sup>は、市全体では39.7点となっています。

地区別でみると、春日地区が44.0点と最も高く、次いで清洲地区が40.5点、新川地区が38.5点、西枇杷島地区が38.0点となっています。

※以下の①～⑤の割合を用いて次の計算式で得点化したもの

①ボランティア割合×0.6+②スポーツ割合×0.8+③趣味割合×0.9+④学習割合×0.7+⑤特技伝達×0.5

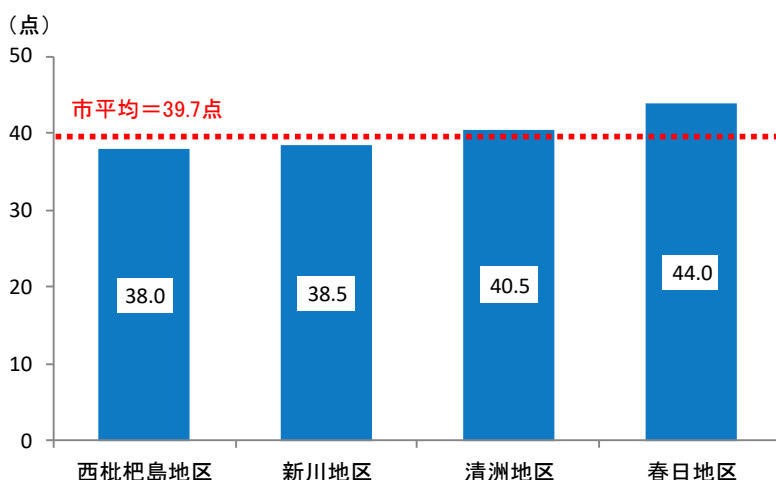
①ボランティアグループへの参加頻度（月1回以上）＜問49（1）＞

②スポーツグループへの参加頻度（月1回以上）＜問49（2）＞

③趣味関係グループへの参加頻度（月1回以上）＜問49（3）＞

④学習・教養グループへの参加頻度（月1回以上）＜問49（4）＞

⑤特技や経験を他者に伝える活動への参加頻度（月1回以上）＜問49（9）＞





### <連帯感>

ソーシャルキャピタル得点<連帯感>\*は、市全体では 133.1 点となっています。

地区別でみると、西枇杷島地区が 135.0 点と最も高く、次いで清洲地区が 133.9 点、新川地区が 133.6 点、春日地区が 130.0 点となっています。

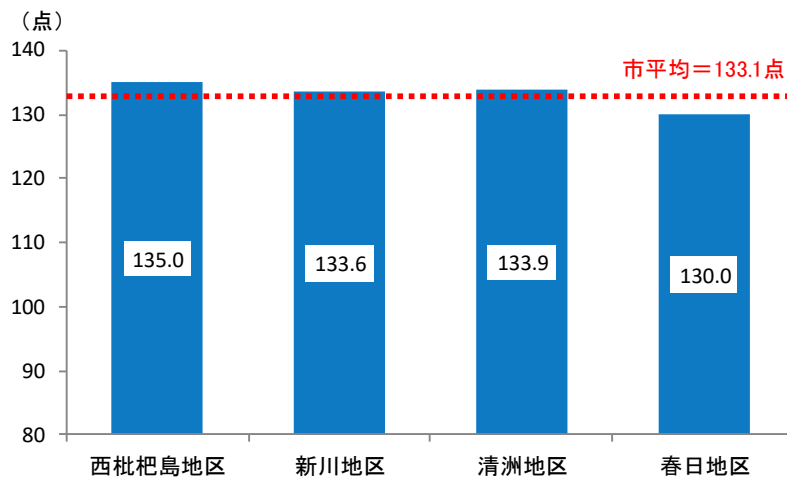
※以下の①～③の割合を用いて、次の計算式で得点化したもの

①信用割合×0.9+②互酬性割合×0.8+③愛着割合×0.7

①地域の人々は一般に信用できる <問 53 (1) >

②地域の人々は他の人の役に立とうとする <問 53 (2) >

③地域に愛着がある <問 53 (3) >



### <助け合い>

ソーシャルキャピタル得点<助け合い>\*は、市全体では 192.0 点となっています。

地区別でみると、清洲地区が 195.7 点と最も高く、次いで新川地区が 191.4 点、春日地区が 191.1 点、西枇杷島地区が 190.1 点となっています。

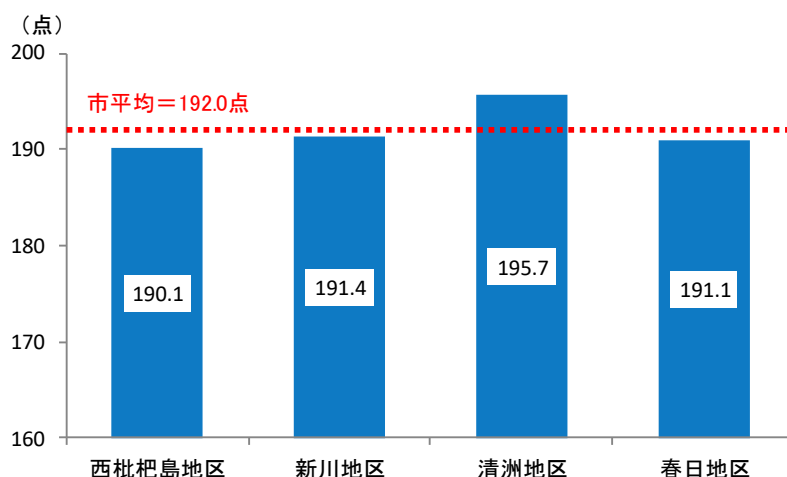
※以下の①～③の割合を用いて、次の計算式で得点化したもの

①情緒的サポート受領者割合×0.8+②情緒的サポート提供者割合×0.7+③手段的サポート受領者割合×0.6

①あなたの心配事や愚痴をきいてくれる人 <問 54 (1) >

②あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 <問 54 (2) >

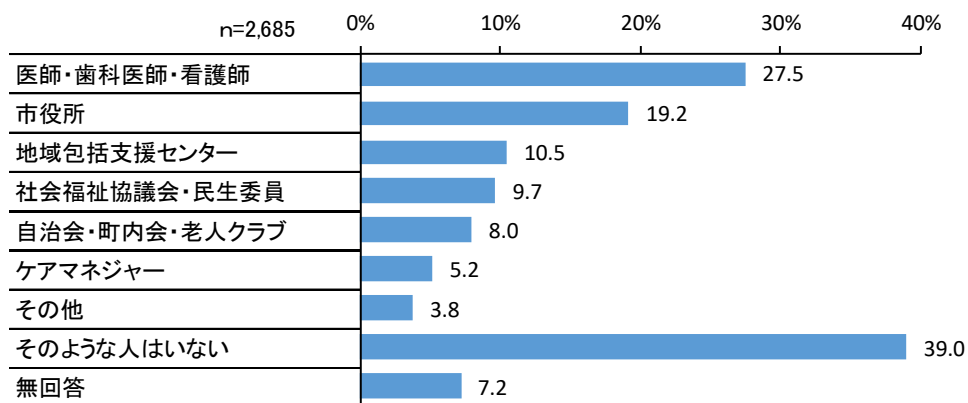
③あなたの看病や世話をしてくれる人 <問 54 (3) >



## 6-6 家族や友人・知人以外の相談相手

問55 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（〇はいくつでも）

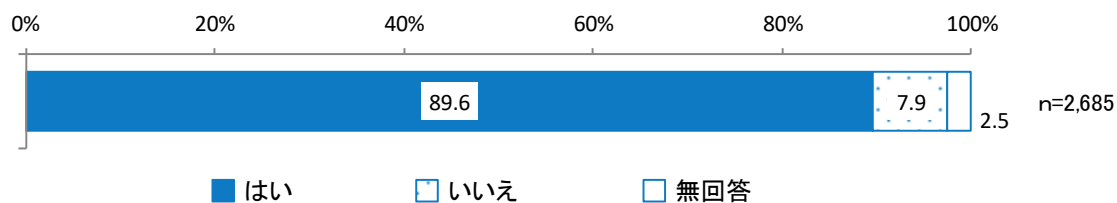
何かあったときに相談する相手については、「そのような人はいない」が 39.0%と最も高くなっています。相談相手がいる人では、「医師・歯科医師・看護師」が 27.5%と最も高く、次いで「市役所」（19.2%）、「地域包括支援センター」（10.5%）、「社会福祉協議会・民生委員」（9.7%）となっています。



## 6-7 家族や友人とのつきあいの有無

問56 ふだんから家族や友人とつきあいがありますか。（〇はいくつでも）

家族や友人とのつきあいの有無については、「はい」（ある）が 89.6%、「いいえ」（ない）が 7.9%となっています。



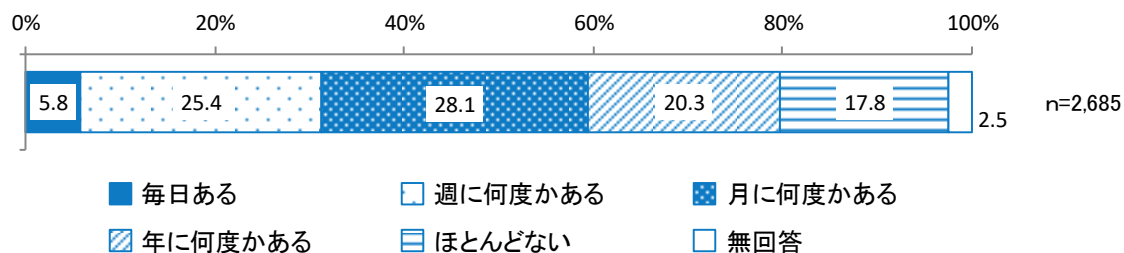
## 6-8 友人関係について

問57 友人関係についておうかがいします。

(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が28.1%と最も高く、次いで「週に何度かある」(25.4%)、「年に何度かある」(20.3%)となっています。一方、「ほとんどない」は17.8%となっています。

地区別でみると、いずれの地区においても「月に何度かある」が最も高くなっています。

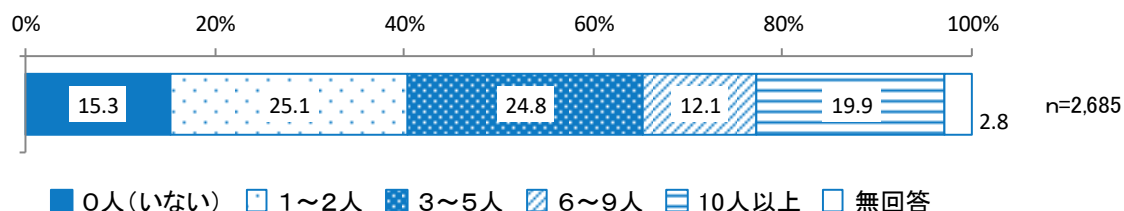


	件数	毎日ある	あ週に何度か	あ月に何度か	あ年に何度か	いほとんどない	無回答
全体	2,685	5.8	25.4	28.1	20.3	17.8	2.5
西枇杷島地区	655	5.5	25.2	25.6	21.2	20.5	2.0
新川地区	757	5.8	25.0	28.9	21.5	15.6	3.2
清洲地区	869	5.3	26.1	28.9	19.8	18.0	2.0
春日地区	355	7.9	26.2	29.3	18.0	15.5	3.1

(2) この1か月間で、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(〇は1つ)

1か月間に会った友人・知人の数については、「1~2人」が25.1%と最も高く、次いで「3~5人」(24.8%)、「10人以上」(19.9%)となっています。

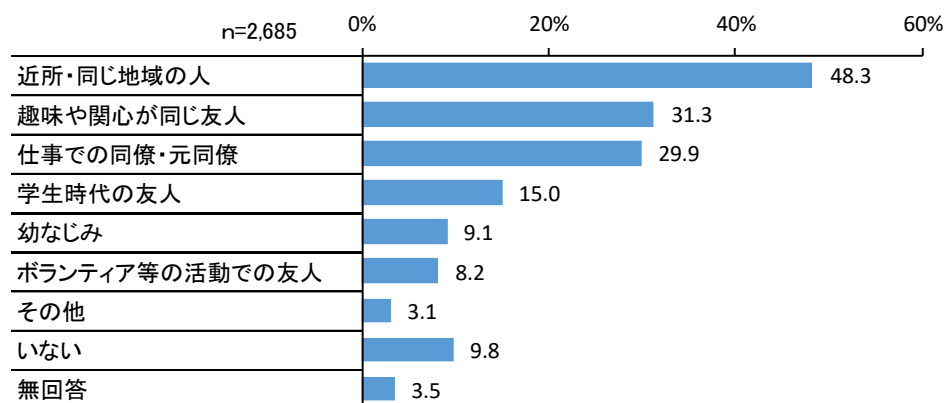
性別でみると、「0人(いない)」は男性で20.2%、女性で10.9%となっています。



	件数	い0~人(いない)	1~2人	3~5人	6~9人	10人以上	無回答
全体	2,685	15.3	25.1	24.8	12.1	19.9	2.8
男性	1,241	20.2	25.5	22.8	10.9	18.1	2.4
女性	1,419	10.9	24.3	27.0	13.1	21.6	3.1

(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

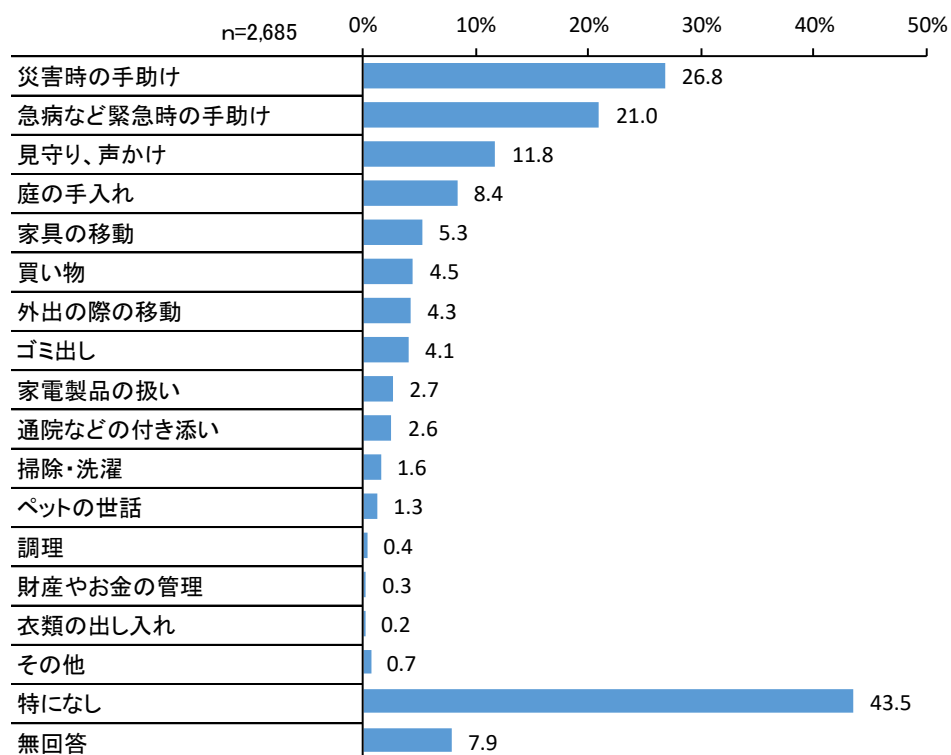
よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が48.3%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(31.3%)、「仕事での同僚・元同僚」(29.9%)となっています。



6-9 地域やボランティア活動に手伝ってほしいこと

問58 地域でのたすけあい活動やボランティア活動として、手伝ってもらったらたすかと思うことはありますか。(〇は3つまで)

地域やボランティア活動に手伝ってほしいことについては、「特になし」が43.5%と最も高くなっています。手伝ってほしいこととしては、「災害時の手助け」が26.8%と最も高く、次いで「急病など緊急時の手助け」(21.0%)、「見守り、声かけ」(11.8%)、「庭の手入れ」(8.4%)となっています。



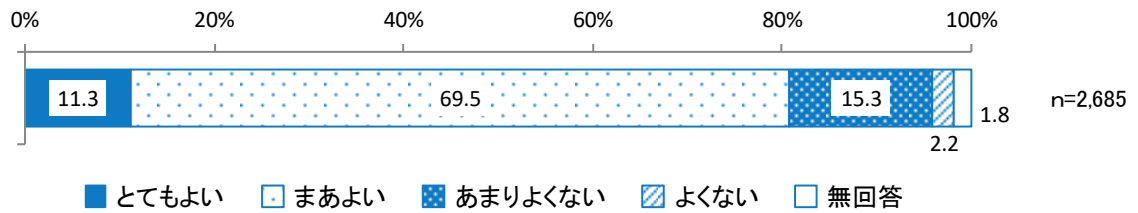
## 7 健康について

### 7-1 主観的健康観

問59 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つ）

主観的健康観は、「まあよい」が 69.5%と最も高く、「とてもよい」（11.3%）と合わせた『健康状態がよい』と回答した人は 80.8%となっています。一方、「よくない」と「あまりよくない」を合わせた『健康状態がよくない』人は 17.5%となっています。

年齢別でみると、『健康状態がよくない』は年齢があがるにつれて割合が高くなっており、75～84歳で 20.7%、85歳以上で 36.5%となっています。



	件数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体	2,685	11.3	69.5	15.3	2.2	1.8
65～74歳	1,390	13.3	72.8	11.2	1.4	1.3
75～84歳	1,124	9.2	67.9	18.2	2.5	2.2
85歳以上	151	9.3	52.3	30.5	6.0	2.0

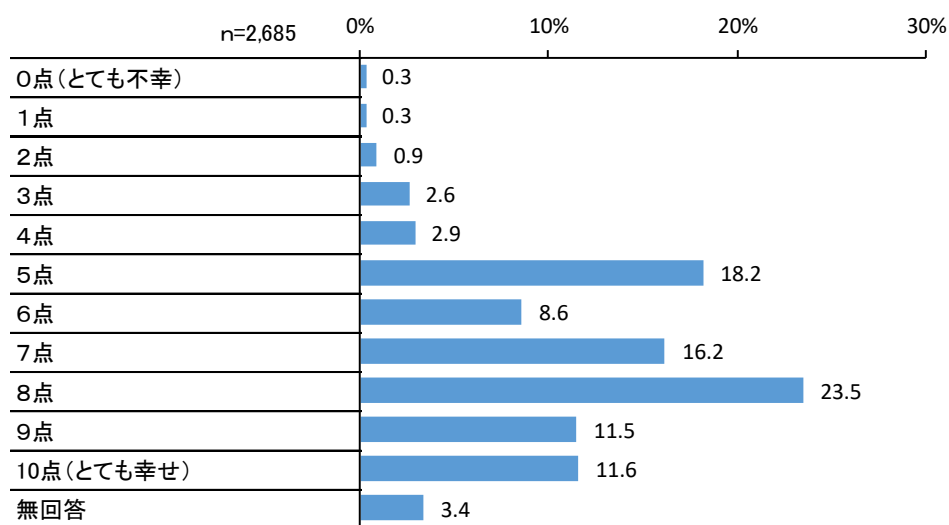
## 7-2 幸福度

問60 あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）。（点数に〇をつけてください。）

現在の幸福度について、0点（とても不幸）から10点（とても幸せ）で採点していただいたところ、「8点」が23.5%と最も高く、次いで「5点」（18.2%）、「7点」（16.2%）、「10点」（11.6%）となっています。また、「8点」以上と回答した人は合計46.6%となっており、全体の平均点は7.1点となっています。

性別で見ると、「8点」以上は、男性で40.1%、女性で52.3%となっています。

地区別で見ると、いずれの地区においても「8点」が最も高く、「8点」以上は、西枇杷島地区で48.0%、新川地区で43.8%、清洲地区で47.9%、春日地区で46.4%となっています。



		件数	0点(とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点(とても幸せ)	無回答
全体		2,685	0.3	0.3	0.9	2.6	2.9	18.2	8.6	16.2	23.5	11.5	11.6	3.4
性別	男性	1,241	0.2	0.5	1.2	2.8	3.8	20.9	10.9	16.5	21.9	8.9	9.3	3.1
	女性	1,419	0.3	0.2	0.6	2.2	2.0	16.2	6.5	15.9	24.8	13.9	13.6	3.7
地区	西枇杷島地区	655	0.2	0.2	0.8	2.7	3.8	18.6	7.2	15.4	22.9	13.0	12.1	3.2
	新川地区	757	0.3	0.4	1.5	2.6	3.2	17.4	10.2	16.4	23.4	10.4	10.0	4.2
	清洲地区	869	0.5	0.6	0.3	1.7	2.8	17.0	9.0	17.3	23.9	12.3	11.7	2.9
	春日地区	355	0.3	-	1.1	3.4	1.1	22.8	6.5	14.9	23.9	9.0	13.5	3.4

幸福度と主観的健康観についてみると、健康状態が「とてもよい」では「10点」が最も高く、とても幸せと感じている人の割合が高くなっています。

幸福度と趣味についてみると、「趣味あり」では「8点」が最も高く、「思いつかない」では「5点」が最も高くなっています。

幸福度と生きがいについてみると、「生きがいあり」では「8点」が最も高く、「思いつかない」では「5点」が最も高くなっています。

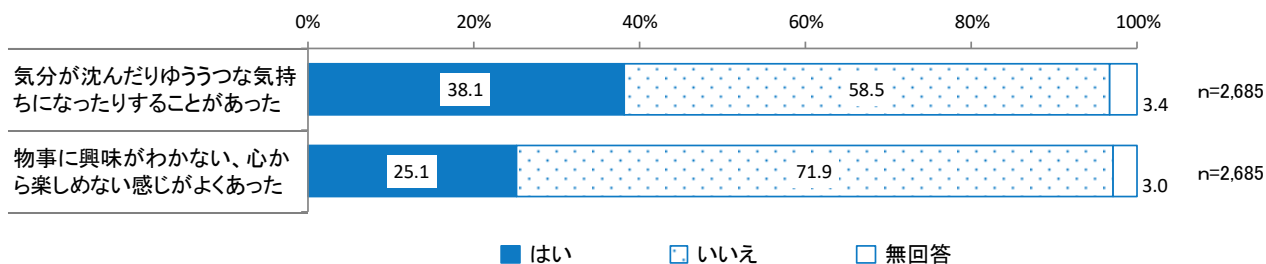
		件数	0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答
全体		2,685	0.3	0.3	0.9	2.6	2.9	18.2	8.6	16.2	23.5	11.5	11.6	3.4
主観的健康観	とてもよい	303	-	-	-	0.3	0.3	7.3	4.0	10.6	26.4	18.5	31.4	1.3
	まあよい	1,866	0.1	0.1	0.3	1.6	2.3	17.1	9.5	18.3	26.6	12.2	10.2	1.9
	あまりよくない	411	0.7	1.0	3.4	7.5	6.8	31.6	9.0	14.1	12.9	5.4	4.6	2.9
	よくない	58	6.9	5.2	6.9	13.8	10.3	29.3	5.2	6.9	1.7	-	6.9	6.9
趣味	趣味あり	1,779	-	0.2	0.3	1.6	2.0	14.7	7.3	16.3	26.6	14.4	13.8	2.8
	思いつかない	780	1.0	0.5	2.2	4.7	4.9	26.5	11.8	15.9	17.1	5.3	6.9	3.2
生きがい	生きがいあり	1,408	-	0.1	0.1	0.9	1.4	10.2	5.7	17.0	29.0	16.4	16.2	3.0
	思いつかない	1,117	0.7	0.6	1.9	4.7	4.7	28.0	12.4	15.7	17.1	5.3	5.8	3.0

### 7-3 心の健康について

問61 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(〇は1つ)

問62 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)

この1か月間で「気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあった」「どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった」かどうかについては、「はい」がそれぞれ38.1%、25.1%となっています。



## 7-4 飲酒・喫煙について

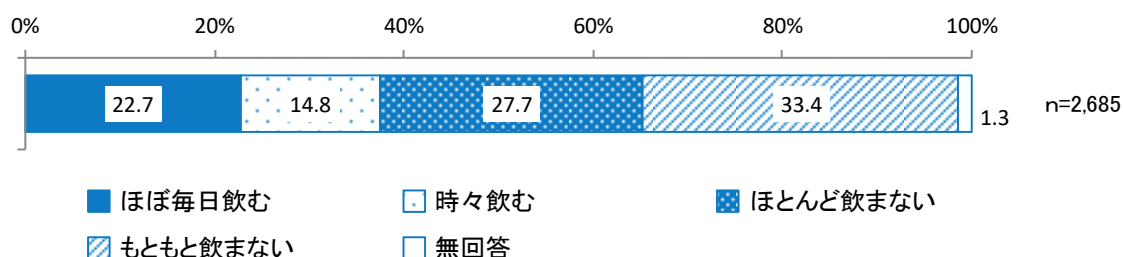
問63 お酒は飲みますか。(〇は1つ)  
 問64 タバコは吸っていますか。(〇は1つ)

飲酒の習慣については、「もともと飲まない」が33.4%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」(27.7%)となっています。一方、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた『飲酒している』は37.5%となっています。

性別でみると、男性は「ほぼ毎日飲む」が最も高く、女性は「もともと飲まない」が最も高くなっています。

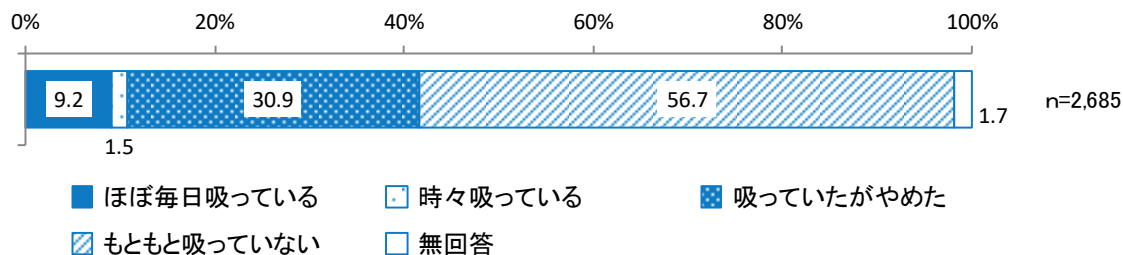
喫煙の習慣については、「もともと吸っていない」が56.7%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(30.9%)となっています。一方、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『喫煙している』は10.7%となっています。

【飲酒の習慣】



	件数	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答
全体	2,685	22.7	14.8	27.7	33.4	1.3
男性	1,241	39.3	15.8	24.0	19.1	1.8
女性	1,419	8.0	14.0	30.9	46.2	0.9

【喫煙の習慣】





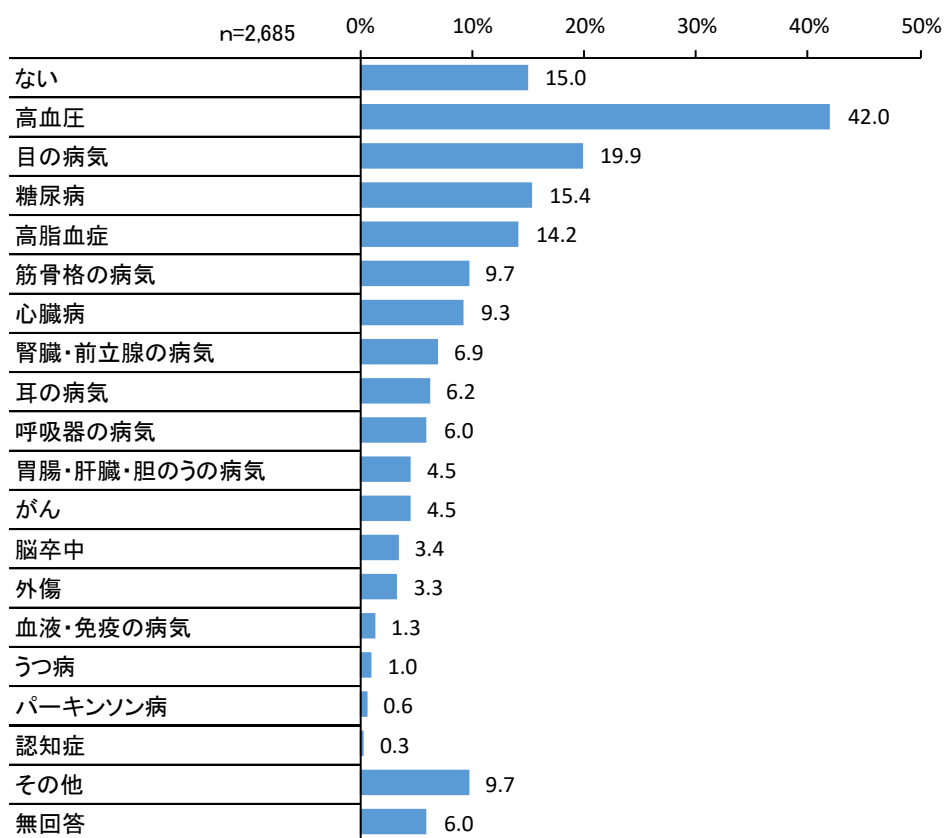
7-5 現在治療中、または後遺症のある病気

問65 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

現在治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」が42.0%と最も高く、次いで「目の病気」(19.9%)、「糖尿病」(15.4%)、「高脂血症(脂質異常)」(14.2%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(9.7%)となっています。また、「ない」は15.0%となっています。

性別でみると、「筋骨格の病気」は女性で高く、「腎臓・前立腺の病気」は男性で高くなっています。

年齢別でみると、多くの病気は年齢があがるにつれて割合が高くなっており、「高脂血症」「呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)」「血液・免疫の病気」「パーキンソン病」「認知症(アルツハイマー病等)」「その他」を除くすべての病気は85歳以上で最も高くなっています。



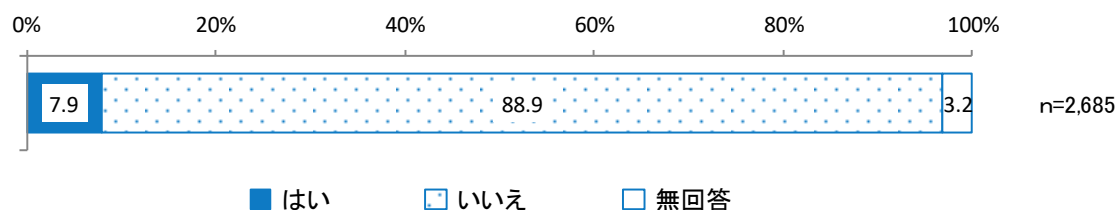
		件数	ない	高血圧	目の病気	糖尿病	高脂血症	筋骨格の病気	心臓病	腎臓・前立腺の病気	耳の病気	呼吸器の病気	腸・肝臓・胆のうの病気	がん	脳卒中	外傷	血液・免疫の病気	うつ病	パーキンソン病	認知症	その他	無回答
全体		2,685	15.0	42.0	19.9	15.4	14.2	9.7	9.3	6.9	6.2	6.0	4.5	4.5	3.4	3.3	1.3	1.0	0.6	0.3	9.7	6.0
性別	男性	1,241	15.0	44.5	18.5	18.4	11.2	4.1	11.8	12.2	6.5	7.0	5.2	5.0	4.7	1.6	0.9	0.6	0.6	0.5	8.0	5.3
	女性	1,419	14.9	39.9	21.1	12.5	16.9	14.5	7.2	1.8	5.9	5.0	3.8	4.1	2.4	4.7	1.6	1.4	0.5	0.2	11.1	6.4
年齢	65~74歳	1,390	18.3	37.8	17.2	13.8	16.5	7.1	6.5	4.8	5.0	4.9	3.5	4.4	3.0	1.5	1.0	0.9	0.2	-	10.6	5.6
	75~84歳	1,124	11.6	46.5	22.4	16.8	12.2	11.9	12.2	8.7	6.9	7.4	5.5	4.6	3.8	4.8	1.6	1.0	1.0	0.7	8.5	6.3
	85歳以上	151	9.3	47.7	26.5	17.2	7.9	17.2	14.6	9.9	11.3	5.3	6.0	4.6	4.6	7.9	1.3	2.0	0.7	-	9.9	7.3

## 8 認知症について

### 8-1 認知症について

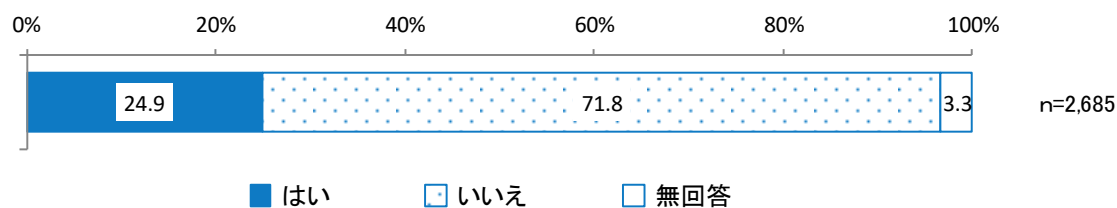
問66 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○は1つ）

自身または家族で認知症の症状がある人がいるかどうかについては、「はい」が7.9%となっています。



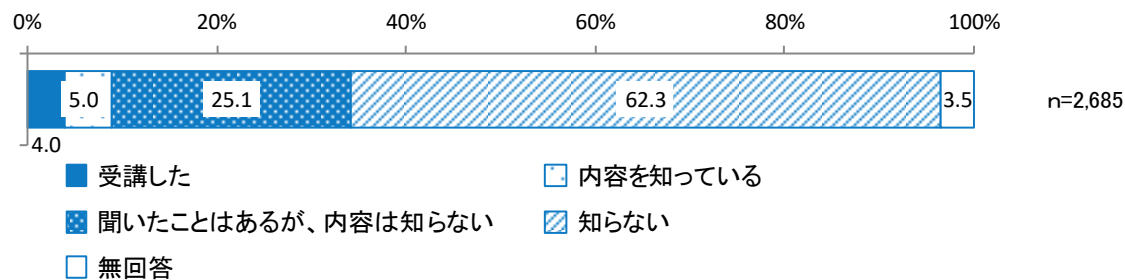
問67 認知症に関する相談窓口を知っていますか。（○は1つ）

認知症に関する相談窓口の認知度については、「はい」が24.9%となっています。



問68 認知症サポーターについてご存知ですか。（○は1つ）

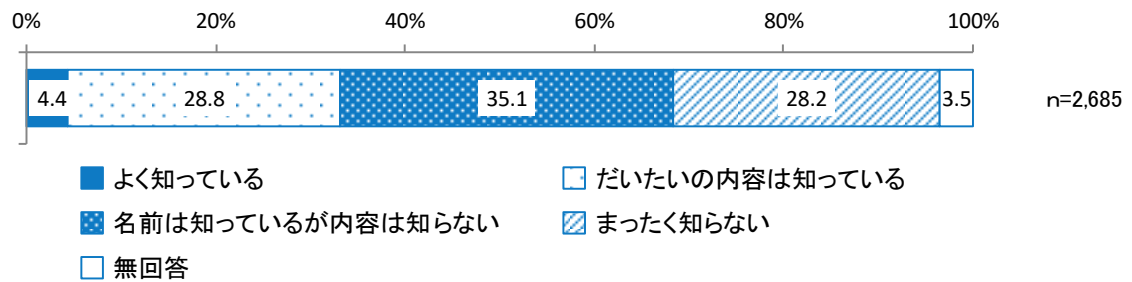
認知症サポーターの認知度については、「知らない」が62.3%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(25.1%)となっています。また、「内容を知っている」は5.0%、「受講した」は4.0%となっています。



## 8-2 成年後見制度について

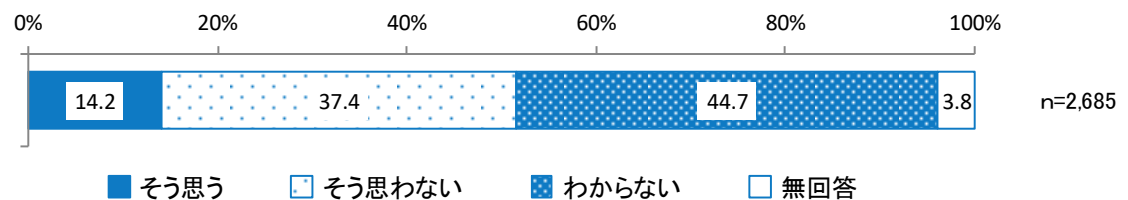
### 問69 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(〇は1つ)

成年後見制度の認知度については、「名前は知っているが内容は知らない」が 35.1%と最も高く、次いで「だいたいの内容は知っている」(28.8%)、「まったく知らない」(28.2%)となっています。「よく知っている」は 4.4%となっており、「だいたいの内容は知っている」と合わせた“内容の理解度”は 33.2%、さらに「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた“名称の認知度”は 68.3%となっています。



### 問70 成年後見制度は、今後自分に必要な制度だと思いますか。(〇は1つ)

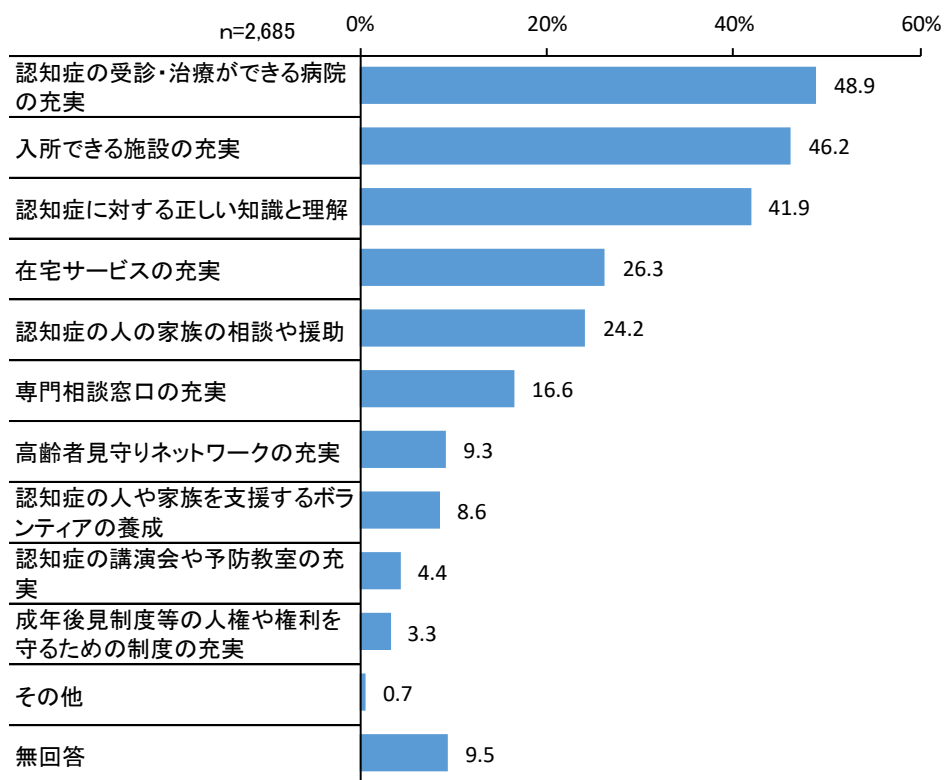
成年後見制度が今後自分に必要かどうかについては、「わからない」が 44.7%、「そう思わない」が 37.4%、「そう思う」が 14.2%となっています。



### 8-3 認知症になっても安心して暮らしていくために必要なこと

問71 認知症になっても安心して暮らしていくために、あなたが必要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

認知症になっても安心して暮らしていくために必要なことは、「認知症の受診・治療ができる病院の充実」が48.9%と最も高く、次いで「入所できる施設の充実」(46.2%)、「認知症に対する正しい知識と理解」(41.9%)、「在宅サービスの充実」(26.3%)、「認知症の人の家族の相談や援助」(24.2%)となっています。

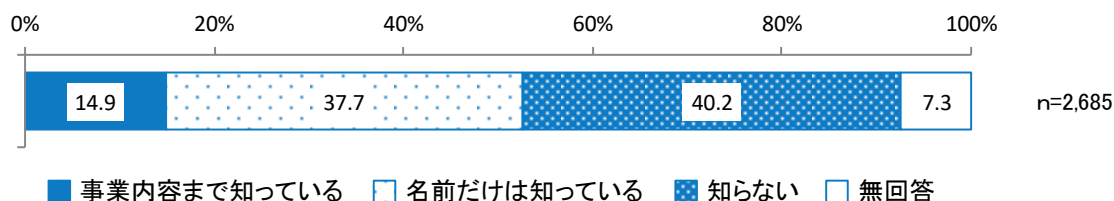


## 9 介護保険制度および高齢者福祉施策について

### 9-1 地域包括支援センターの認知度

問72 あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。（〇は1つ）

地域包括支援センターの認知度については、「知らない」が40.2%と最も高く、「事業内容まで知っている」(14.9%)と「名前だけは知っている」(37.7%)を合わせた“名称の認知度”は52.6%となっています。

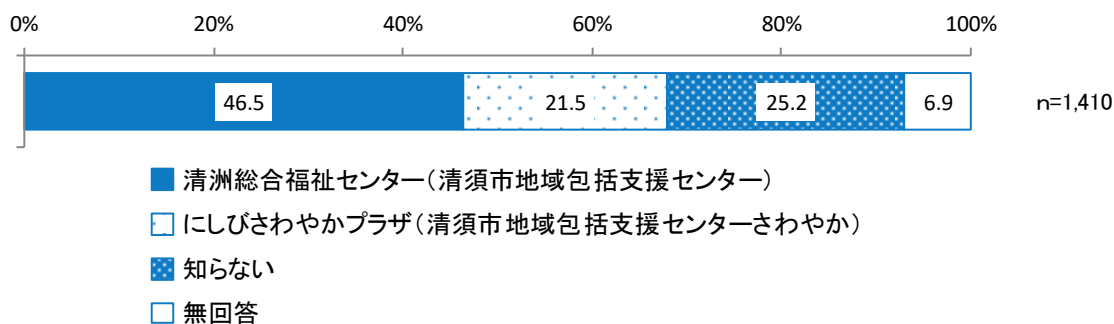


問72で「1. 事業内容まで知っている」または「2. 名前だけは知っている」とお答えの方

問72-1 令和4年6月から地域包括支援センターが2か所になりましたが、相談する地域包括支援センターの場所を知っていますか。（〇は1つ）

相談する地域包括支援センターの場所の認知度については、全体から「知らない」(25.2%)と無回答を除いた『場所を知っている』人は67.9%となっており、その内訳は「清洲総合福祉センター(清須市地域包括支援センター)」が46.5%、「にしびさわやかプラザ(清須市地域包括支援センターさわやか)」が21.5%となっています。

地区別でみると、西枇杷島地区では「にしびさわやかプラザ」(担当：西枇杷島地区・新川地区)が67.4%で「知らない」が18.2%、新川地区では「にしびさわやかプラザ」が17.3%で「知らない」が31.6%となっています。一方、清洲地区では「清洲総合福祉センター」(担当：清洲地区・春日地区)が77.0%で「知らない」が15.5%、春日地区では「清洲総合福祉センター」が50.3%で「知らない」が46.6%となっています。

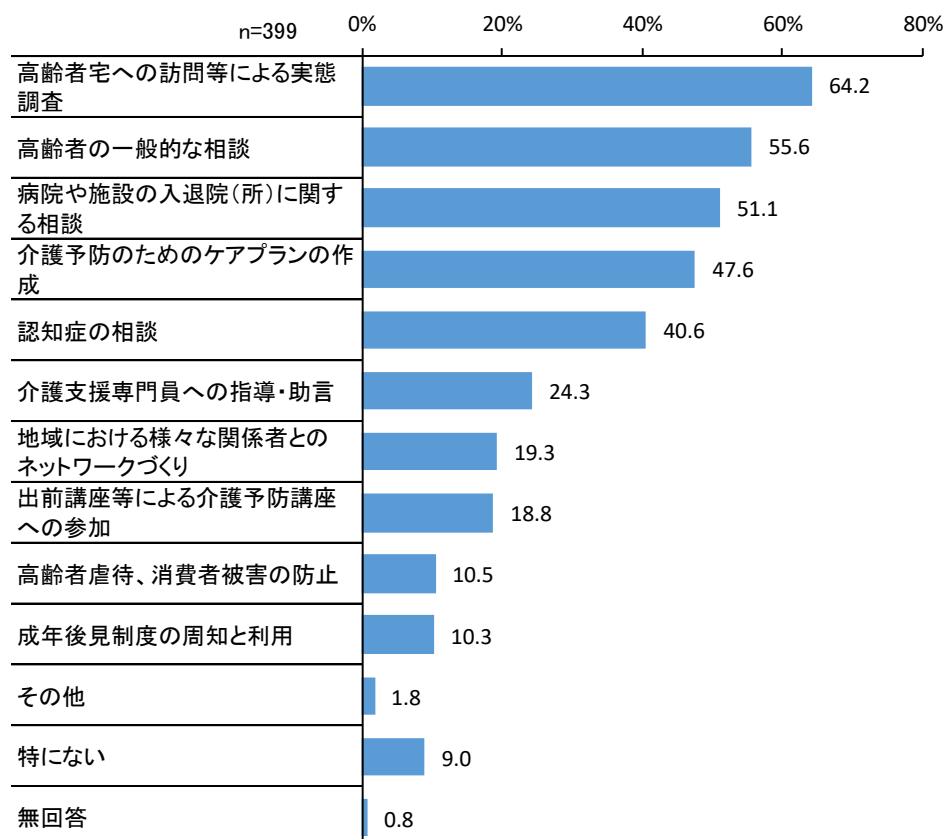


	件数	セ(清洲総合福祉センター)	セ(にしびさわやかプラザ)	知らない	無回答
全体	1,410	46.5	21.5	25.2	6.9
西枇杷島地区	340	7.4	67.4	18.2	7.1
新川地区	392	42.6	17.3	31.6	8.4
清洲地区	470	77.0	0.4	15.5	7.0
春日地区	189	50.3	0.5	46.6	2.6

問 72 で「1. 事業内容まで知っている」とお答えの方

問72-2 地域包括支援センターでは、さまざまな事業を行っています。あなたは地域包括支援センターが行っている事業の中で、知っているものは何ですか。（〇はいくつでも）

地域包括支援センターの事業で知っているものは、「高齢者宅への訪問等による実態調査」が 64.2%と最も高く、次いで「高齢者の一般的な相談」（55.6%）、「病院や施設の入退院（所）に関する相談」（51.1%）、「介護予防のためのケアプランの作成」（47.6%）、「認知症の相談」（40.6%）となっています。

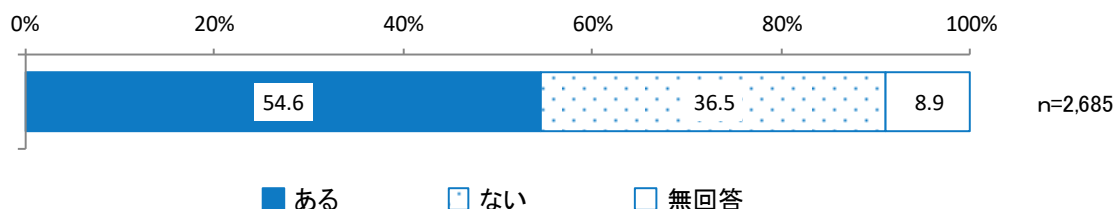


## 9-2 介護予防教室について

問73 介護予防教室（できるだけ介護が必要な状態にならないようにするための教室等）に関心がありますか。（〇は1つ）

介護予防への関心については、「ある」が54.6%となっています。

性別でみると、「ある」は男性で48.0%、女性で60.6%となっています。

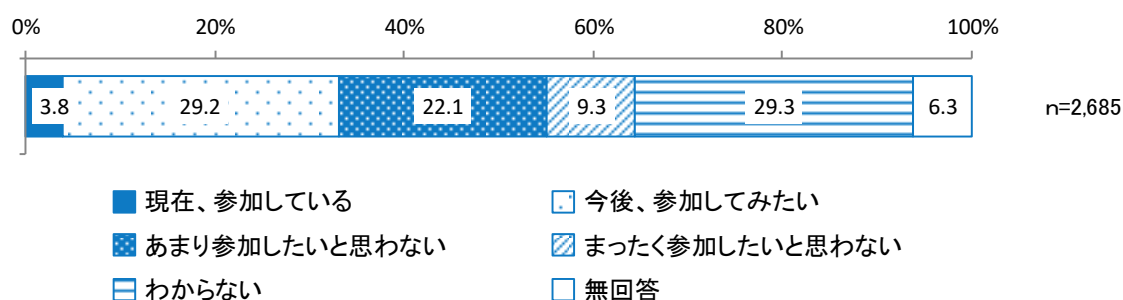


	件数	ある	ない	無回答
全体	2,685	54.6	36.5	8.9
男性	1,241	48.0	45.0	6.9
女性	1,419	60.6	29.0	10.4

問74 介護予防のためのさまざまな講習やトレーニングに参加してみたいと思いますか。（〇は1つ）

介護予防のための講習等への参加については、「わからない」が29.3%と最も高く、「現在、参加している」と「今後、参加してみたい」を合わせた『参加意向がある』は33.0%となっています。一方、「まったく参加したいと思わない」と「あまり参加したいと思わない」を合わせた『参加意向はない』は31.4%となっています。

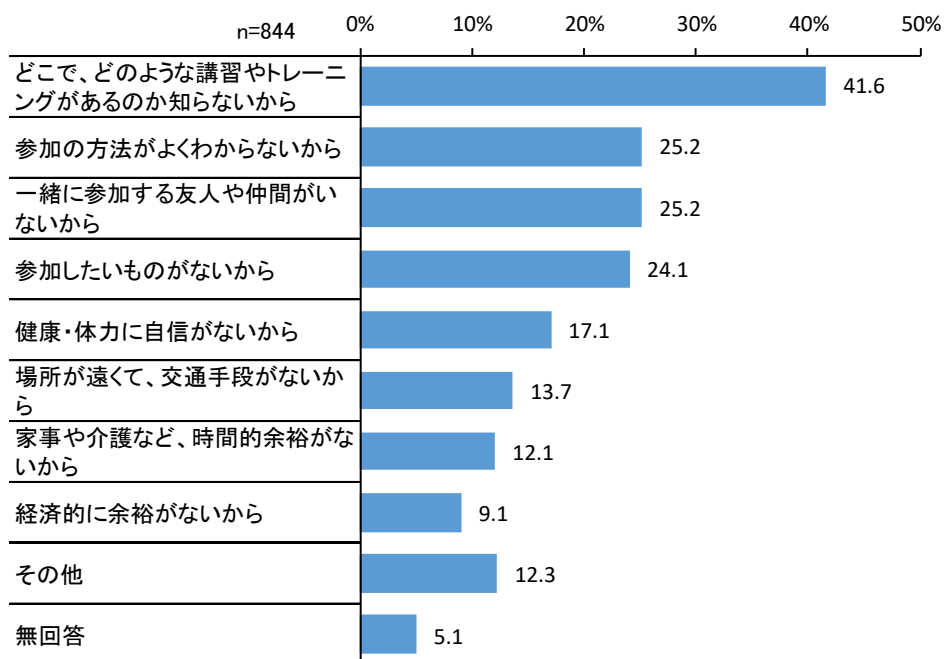
地区別でみると、西枇杷島地区と清洲地区では「今後、参加してみたい」が最も高く、新川地区と春日地区では「わからない」が最も高くなっています。



	件数	現在、参加している	今後、参加してみたい	あまり参加したいと思わない	まったく参加したいと思わない	わからない	無回答
全体	2,685	3.8	29.2	22.1	9.3	29.3	6.3
西枇杷島地区	655	3.8	29.8	20.9	11.1	29.6	4.7
新川地区	757	4.2	26.2	21.4	9.6	30.3	8.3
清洲地区	869	3.1	32.5	23.8	8.6	26.4	5.6
春日地区	355	4.5	28.2	20.3	7.6	34.4	5.1

問74で「3. あまり参加したいと思わない」または「4. まったく参加したいと思わない」とお答えの方  
 問74-1 それはなぜですか。(〇はいくつでも)

講習等に参加したくない理由は、「どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから」が41.6%と最も高く、次いで「参加の方法がよくわからないから」「一緒に参加する友人や仲間がいないから」(ともに25.2%)、「参加したいものがないから」(24.1%)、「健康・体力に自信がないから」(17.1%)となっています。

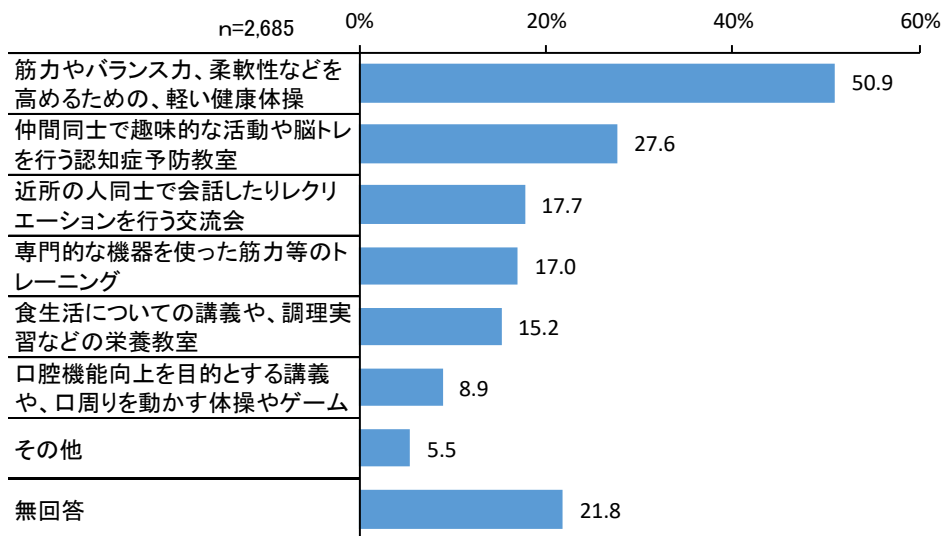




問75 あなたは、どのような介護予防の事業だったら積極的に参加したいと思いますか。（〇はいくつでも）

積極的に参加したい介護予防事業については、「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための、軽い健康体操」が50.9%と最も高く、次いで「仲間同士で趣味的な活動や脳トレを行う認知症予防教室」（27.6%）、「近所の人同士で会話したりレクリエーションを行う交流会」（17.7%）となっています。

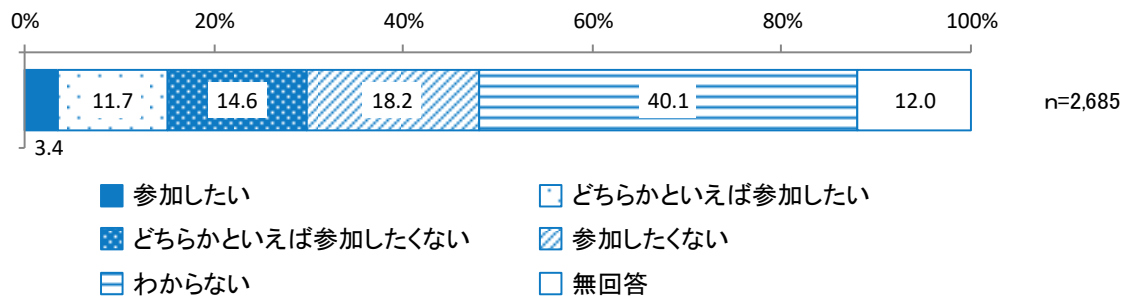
性別でみると、「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための、軽い健康体操」「仲間同士で趣味的な活動や脳トレを行う認知症予防教室」に次いで、男性は「専門的な機器を使った筋力等のトレーニング」が、女性は「近所の人同士で会話したりレクリエーションを行う交流会」が、それぞれ高くなっています。



	件数	筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための軽い健康体操	認知症予防教室	仲間同士で趣味的な活動	近所の人同士で会話したりレクリエーションを行う交流会	専門的な機器を使ったトレーニング	栄養教室	食生活についての講義や、調理実習などの講義	動かす体操やゲーム	口腔機能向上を目的とする講義や、口周りを動かす体操やゲーム	その他	無回答
全体	2,685	50.9	27.6	17.7	17.0	15.2	8.9	5.5	21.8			
男性	1,241	47.6	26.4	14.8	21.8	12.7	5.7	7.6	20.6			
女性	1,419	53.9	29.0	20.4	13.0	17.7	11.8	3.8	22.3			

問76 オンラインでの介護予防教室があった場合、参加したいと思いますか。(〇は1つ)

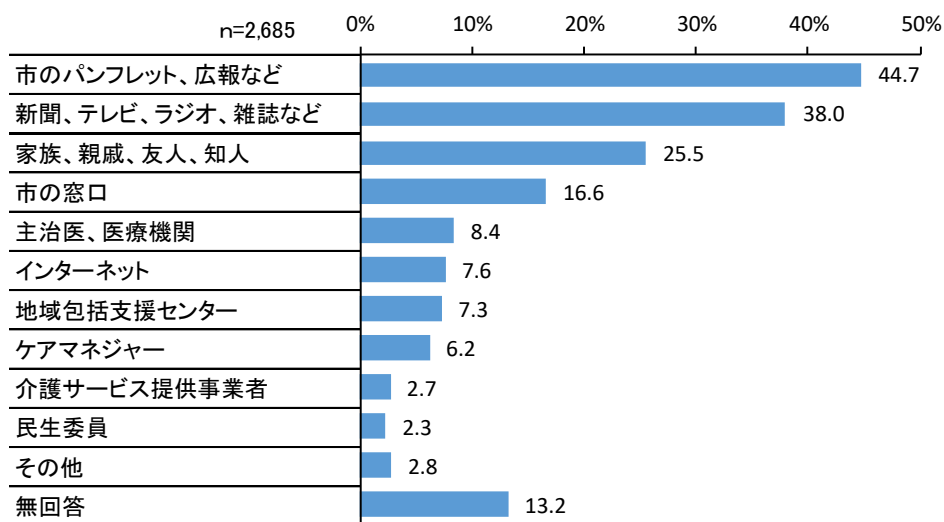
オンライン介護予防教室への参加意向については、「わからない」が40.1%と最も高く、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせた『参加意向がある』は15.1%となっています。一方、「参加したくない」と「どちらかといえば参加したくない」を合わせた『参加意向はない』は32.8%となっています。



9-3 介護保険制度や高齢者サービスについての情報源

問77 介護保険制度や高齢者に対するサービスなどに関する情報をどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

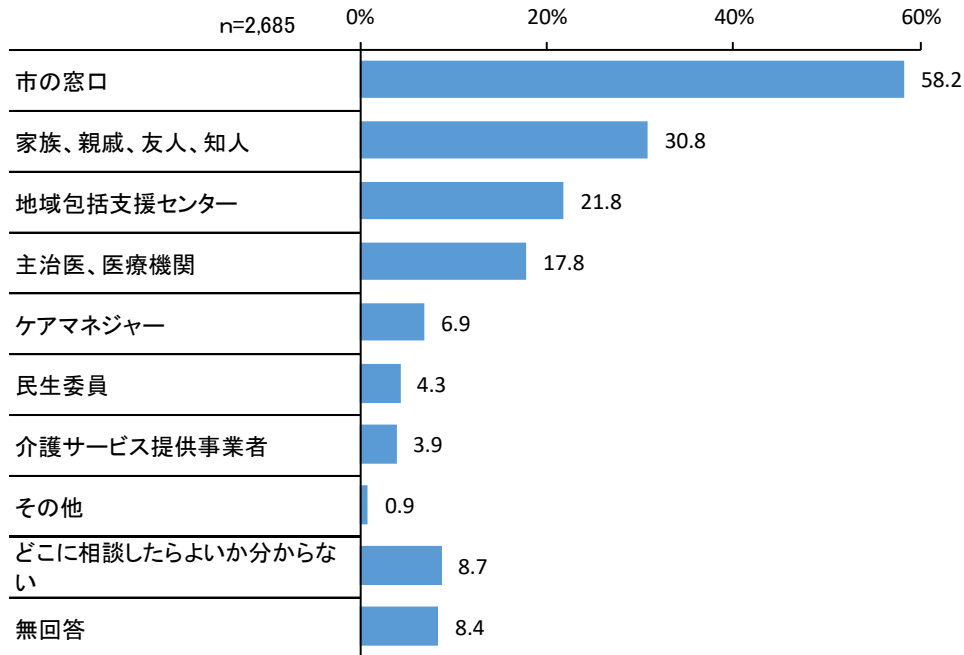
介護保険制度や高齢者サービス等に関する情報源は、「市のパンフレット、広報など」が44.7%と最も高く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌など」(38.0%)、「家族、親戚、友人、知人」(25.5%)、「市の窓口」(16.6%)となっています。



#### 9-4 介護保険制度や高齢者サービスについての相談先

問78 介護保険制度や高齢者に対するサービスなどについて困ったとき、よく分からないことがあったときは、どこに相談しますか。(〇はいくつでも)

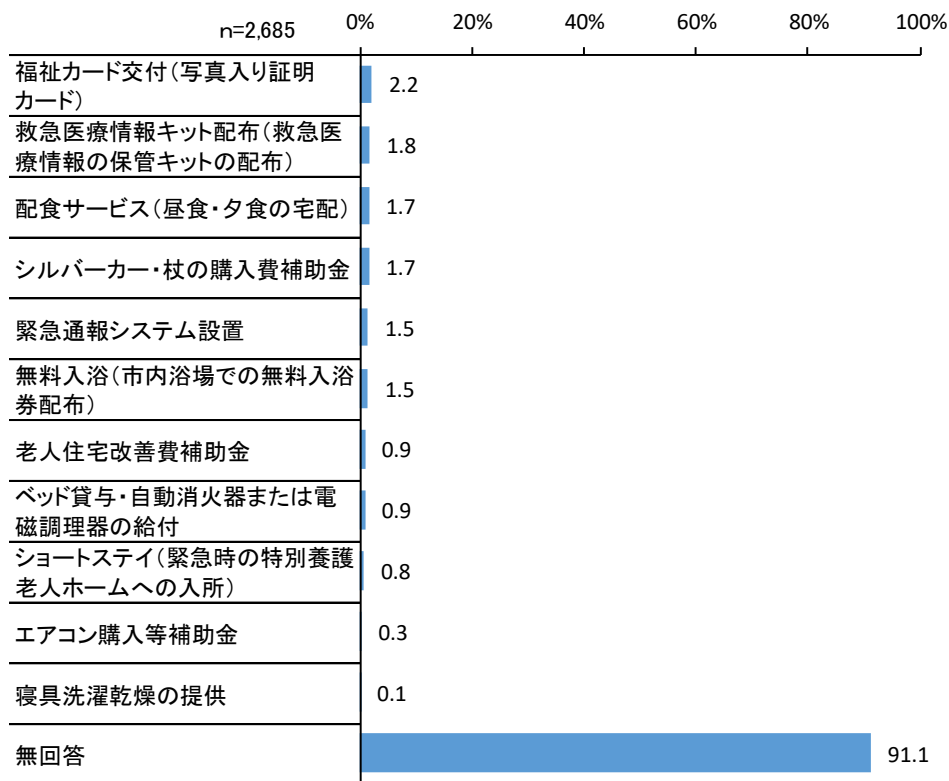
介護保険制度や高齢者サービス等についての相談先は、「市の窓口」が 58.2%と最も高く、次いで「家族、親戚、友人、知人」(30.8%)、「地域包括支援センター」(21.8%)、「主治医、医療機関」(17.8%) となっています。



9-5 高齢者福祉サービスの利用状況・利用意向

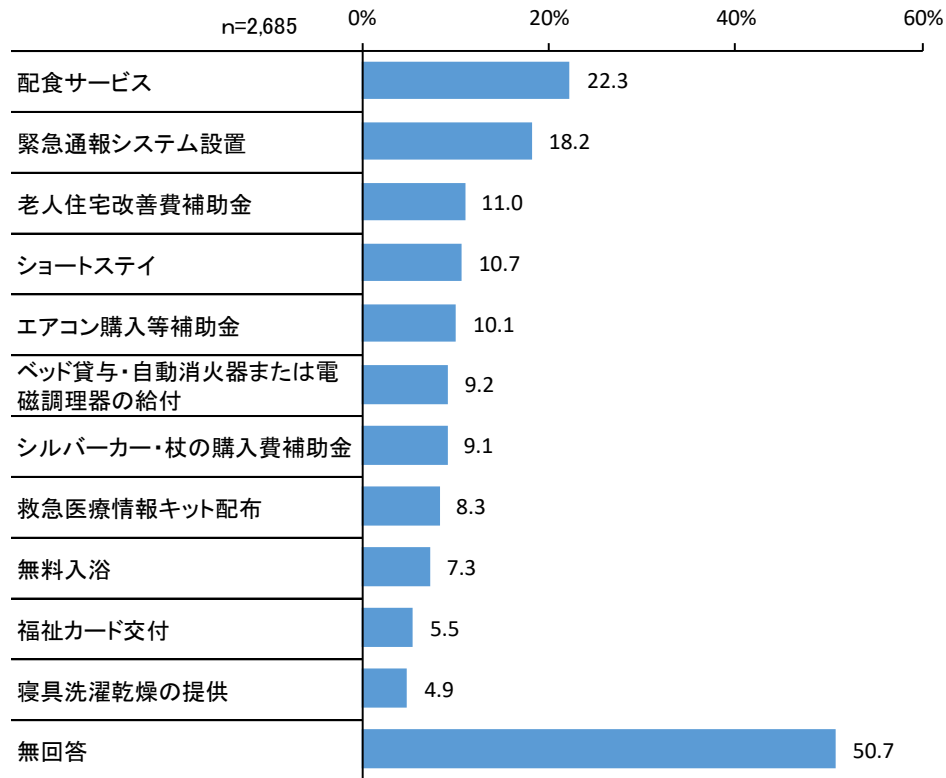
問79 現在、高齢者福祉サービスを利用していますか。(〇はいくつでも)

高齢者福祉サービスの利用については、全体から無回答を除いた『高齢者福祉サービスを利用している』人は8.9%となっています。現在利用しているサービスとしては、「福祉カード交付(写真入り証明カード)」が2.2%と最も高く、次いで「救急医療情報キット配布(救急医療情報の保管キットの配布)」(1.8%)、「配食サービス(昼食・夕食の宅配)」「シルバーカー・杖の購入費補助金」(ともに1.7%)となっています。



問80 高齢者福祉サービスの中で、今後利用したいものはありますか。(〇はいくつでも)

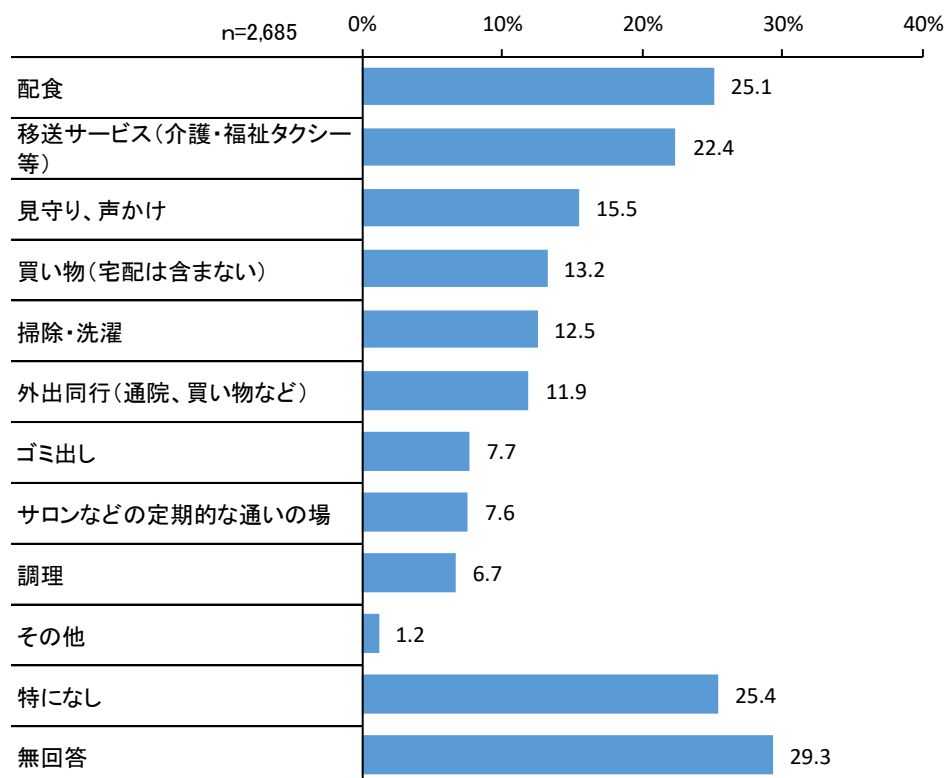
高齢者福祉サービスの利用意向については、全体から無回答を除いた『高齢者福祉サービスを利用したい』人は 49.3%となっています。今後利用したいサービスとしては、「配食サービス」が 22.3%と最も高く、次いで「緊急通報システム設置」(18.2%)、「老人住宅改善費補助金」(11.0%)、「ショートステイ」(10.7%)となっています。



## 9-6 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

問81 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも） ※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含まれます。

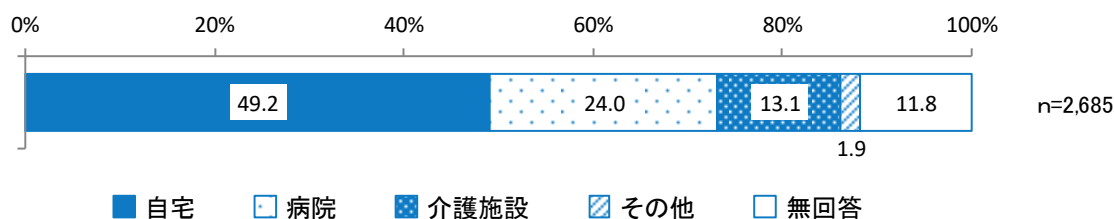
在宅生活の継続に必要な支援・サービスについては、全体から「特になし」（25.4%）と無回答を除いた『支援・サービスを必要としている』人は45.3%となっています。必要な支援・サービスとしては、「配食」が25.1%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（22.4%）、「見守り、声かけ」（15.5%）、「買い物（宅配は含まない）」（13.2%）、「掃除・洗濯」（12.5%）となっています。



## 9-7 終末期を迎える場所について

問82 老後の終末期を迎える場所についてあなたのお考えに最も近いものはどこですか。（〇は1つ）

終末期を迎える場所として考えている場所は、「自宅」が49.2%と最も高く、次いで「病院」（24.0%）、「介護施設」（13.1%）となっています。

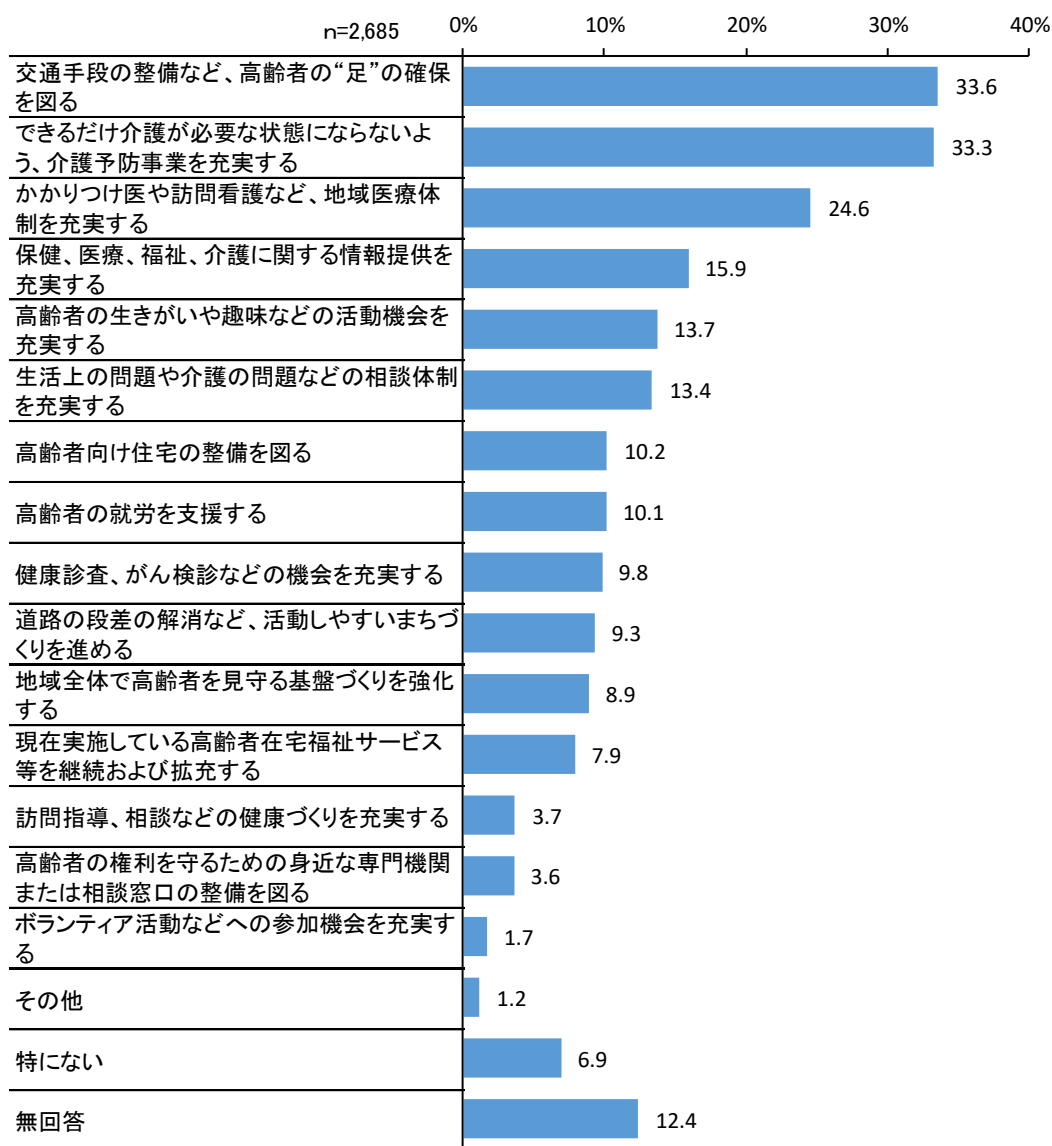


## 9-8 市の高齢者施策について望むこと

問83 市の高齢者施策に関して、どのようなことを望みますか。（〇は3つまで）

市に高齢者施策について望むことは、「交通手段の整備など、高齢者の“足”の確保を図る」が33.6%と最も高く、次いで「できるだけ介護が必要な状態にならないよう、介護予防事業を充実する」(33.3%)、「かかりつけ医や訪問看護など、地域医療体制を充実する」(24.6%)、「保健、医療、福祉、介護に関する情報提供を充実する」(15.9%)、「高齢者の生きがいや趣味などの活動機会を充実する」(13.7%)となっています。

地区別でみると、西枇杷島地区と清洲地区では「できるだけ介護が必要な状態にならないよう、介護予防事業を充実する」が最も高く、新川地区と春日地区では「交通手段の整備など、高齢者の“足”の確保を図る」が最も高くなっています。



件数	“足”の確保を図る	交通手段の整備など、高齢者の	できないだけ介護が必要な状態にならないよう、介護予防事業を充実する	医療体制を充実する	かかりつけ医や訪問看護など、地域	報提供を充実する	保健、医療、福祉、介護に関する情報提供を充実する	高齢者の生きがいや趣味などの活動機会を充実する	高齢者向け住宅の整備を図る	生活上の問題や介護の問題などの相談体制を充実する	高齢者の就労を支援する	健康調査、がん検診などの機会を充実する	いまちづくりを進める	道路の段差の解消など、活動しやすさを強化する	地域全体で高齢者を見守る基盤づくりを強化する	現在実施している高齢者在宅福祉サービス等を継続および拡充する	訪問指導、相談などの健康づくりを充実する	高齢者の権利を守るための身近な専門機関または相談窓口の整備を図る	ボランティア活動などへの参加機会を充実する	その他	特になし	無回答
全体	2,685	33.6	33.3	24.6	15.9	13.7	13.4	10.2	10.1	9.8	9.3	8.2	8.5	8.4	3.7	3.6	3.5	1.7	1.2	6.9	12.4	
西枇杷島地区	655	27.9	34.7	26.1	16.5	15.7	14.7	10.7	10.2	10.5	8.2	8.5	8.4	3.8	3.5	1.8	1.2	8.4	10.5			
新川地区	757	36.6	32.8	23.1	15.5	11.8	12.0	9.4	11.1	10.0	9.6	9.6	7.7	3.2	4.4	1.5	1.5	6.1	14.7			
清洲地区	869	33.4	33.5	25.1	16.7	14.3	14.3	11.9	10.2	9.3	10.7	8.1	8.5	3.9	2.2	1.7	0.6	6.3	11.3			
春日地区	355	40.0	32.7	25.1	13.8	12.7	11.8	6.8	7.9	9.3	7.6	9.6	6.2	4.2	5.4	2.0	2.0	7.0	11.3			

### 9-9 高齢者の福祉・介護・医療についての意見・要望

問84 高齢者の福祉・介護・医療について、ご意見・要望がありましたらご自由にお書きください。

高齢者の福祉・介護・医療については、下記のような内容で、376人から416件のご意見・ご要望をいただきました。

	内容	件数
1	施設福祉サービスについて	32
2	情報提供、相談、啓発等について	32
3	介護保険制度について	32
4	移動、交通について	29
5	健康、介護予防等について	25
6	保健、医療について	20
7	各種割引、税制優遇等について	20
8	在宅福祉サービスについて	20
9	生活環境について	19
10	地域活動、ボランティア等について	19
11	スポーツ、文化活動、集いの場等について	17
12	福祉行政全般について	24
13	自身の現状、将来の不安等	65
14	アンケートに関すること	14
15	その他	48
	合計	416



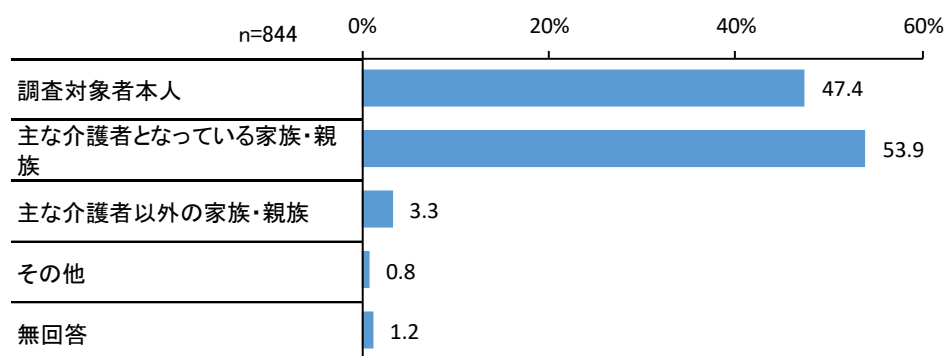
## (2) 在宅介護実態調査

### 1 対象者の属性

#### 1-1 調査票の回答者

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(〇はいくつでも)

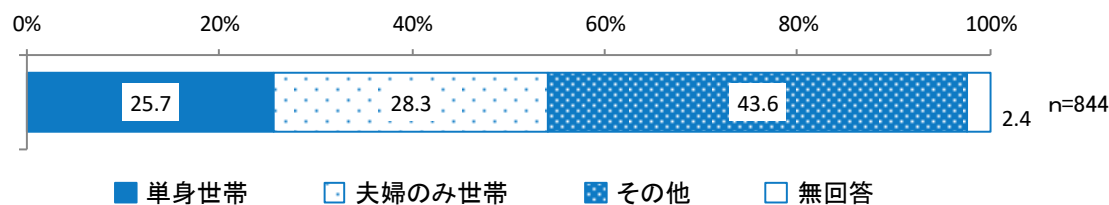
調査票の回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」が53.9%、「調査対象者本人」が47.4%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.3%となっています。



#### 1-2 家族構成

問2 家族構成について、ご回答ください。(〇は1つ)

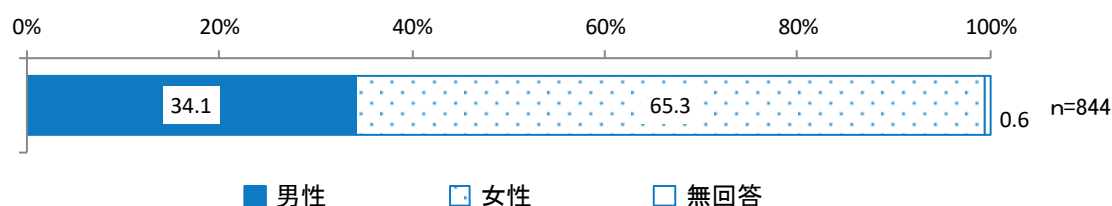
家族構成は、「単身世帯」が25.7%、「夫婦のみ世帯」が28.3%、「その他」が43.6%となっています。



#### 1-3 対象者の性別

問3 ご本人の性別について、ご回答ください。(〇は1つ)

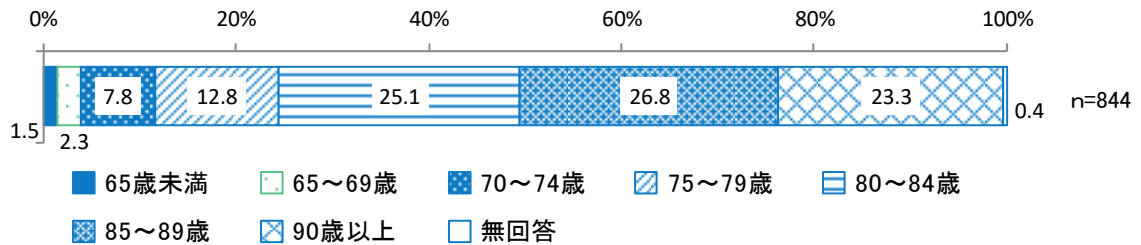
対象者の性別は、「男性」が34.1%、「女性」が65.3%となっています。



### 1-4 対象者の年齢

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

対象者の年齢は、「85～89歳」が26.8%と最も高く、次いで「80～84歳」(25.1%)、「90歳以上」(23.3%)、「75～79歳」(12.8%)となっており、これらを合計した『75歳以上』が88.0%となっています。また、「65歳未満」、「65～69歳」、「70～74歳」を合わせた『75歳未満』は11.6%となっています。

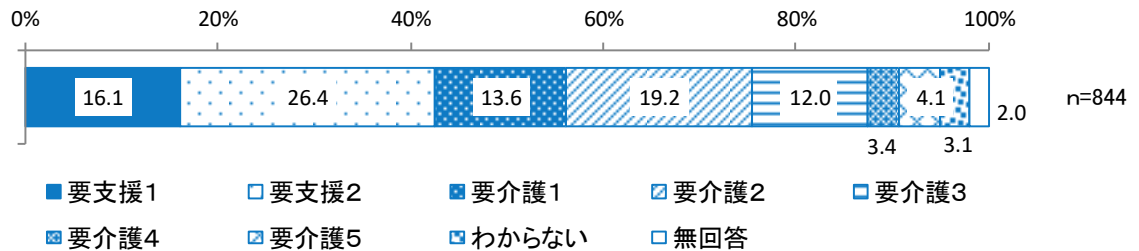


### 1-5 対象者の要介護度

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(○は1つ)

対象者の要介護度は、「要支援2」が26.4%と最も高く、次いで「要介護2」(19.2%)、「要支援1」(16.1%)、「要介護1」(13.6%)となっています。

3区分別でみると、『要支援者』が42.5%、『軽度(要介護1・2)要介護者』が32.8%、『中・重度(要介護3～5)要介護者』が19.5%となっています。



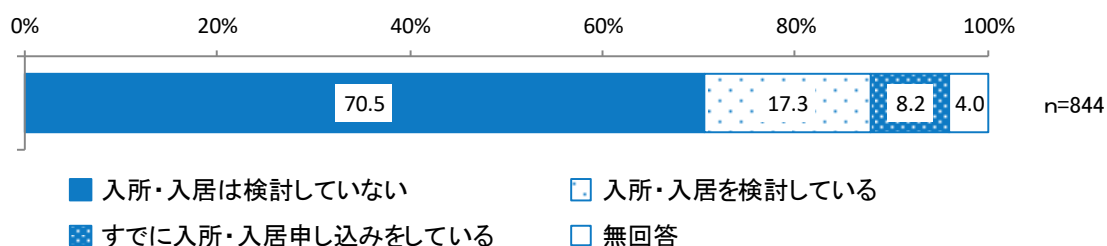
## 2 対象者の生活状況について

### 2-1 施設等への入所・入居の検討状況

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（〇は1つ）

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が70.5%と最も高くなっています。「入所・入居を検討している」は17.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は8.2%となっており、これらを合わせた『施設等への入所・入居を検討した』人の割合は25.5%となっています。

要介護度別でみると、『施設等への入所・入居を検討した』は要支援1・2で18.4%、要介護1・2で27.8%、要介護3～5で40.0%となっています。



	件数	し入 て所 い・ な入 居は 検討	し入 て所 い・ る入 居を 検討	る申 しで 込みに 入所し て入居	無 回 答
全体	844	70.5	17.3	8.2	4.0
要支援1・2	359	76.3	14.5	3.9	5.3
要介護1・2	277	69.7	22.0	5.8	2.5
要介護3～5	165	58.8	17.0	23.0	1.2

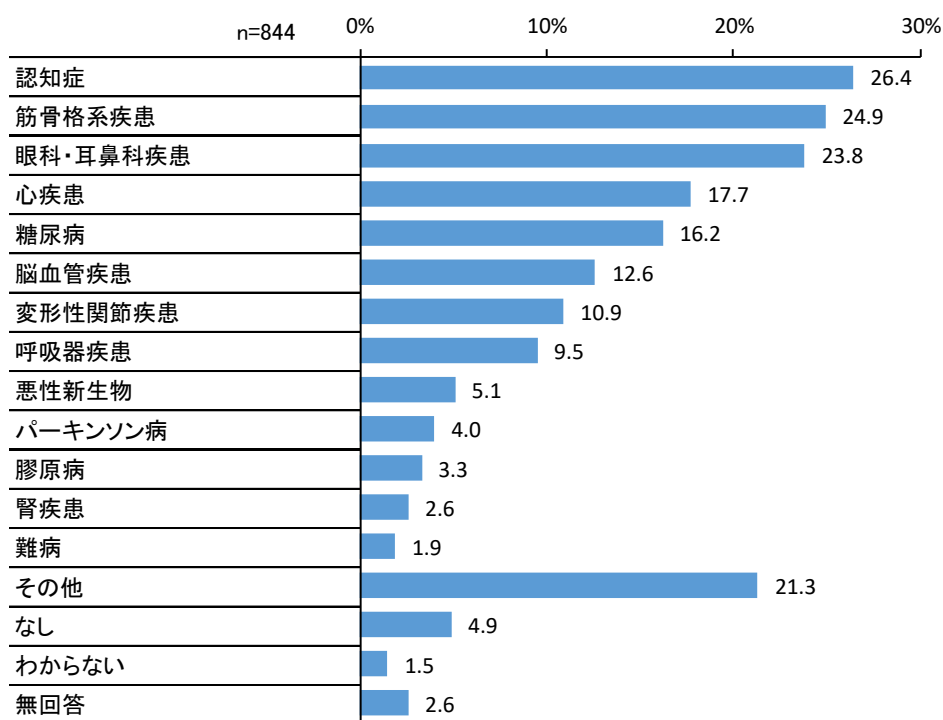
## 2-2 現在抱えている傷病

問7 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

対象者が現在抱えている傷病については、「認知症」が26.4%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（24.9%）、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」（23.8%）、「心疾患（心臓病）」（17.7%）となっています。

性別でみると、男性では「認知症」が最も高く、女性では「筋骨格系疾患」が最も高くなっています。また、「脳血管疾患（脳卒中）」は男性で高く、「筋骨格系疾患」は女性で高くなっています。

年齢別でみると、75歳未満では「その他」以外では「脳血管疾患」が最も高く、75歳以上では「認知症」が最も高くなっています。また、「脳血管疾患」は75歳未満で高く、「認知症」「筋骨格系疾患」「眼科・耳鼻科疾患」は75歳以上で高くなっています。

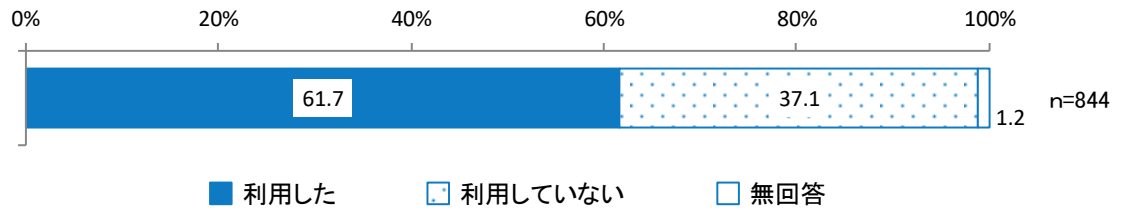


		件数	認知症	筋骨格系疾患	眼科・耳鼻科疾患	心疾患	糖尿病	脳血管疾患	変形性関節疾患	呼吸器疾患	悪性新生物	パーキンソン病	膠原病	腎疾患	難病（パーキンソン病を除く）	その他	なし	わからない	無回答
全体		844	26.4	24.9	23.8	17.7	16.2	12.6	10.9	9.5	5.1	4.0	3.3	2.6	1.9	21.3	4.9	1.5	2.6
性別	男性	288	27.1	15.6	22.6	19.4	18.8	20.5	5.2	13.9	8.0	2.8	1.7	3.8	2.1	21.9	4.9	1.7	2.1
	女性	551	26.3	29.8	24.3	16.9	15.1	8.5	14.0	7.3	3.6	4.7	4.2	2.0	1.8	21.1	4.9	1.5	2.5
年齢	75歳未満	98	15.3	10.2	11.2	11.2	15.3	23.5	5.1	11.2	7.1	12.2	5.1	3.1	2.0	28.6	6.1	1.0	3.1
	75歳以上	743	28.0	26.8	25.6	18.6	16.4	11.2	11.6	9.3	4.8	3.0	3.1	2.6	1.9	20.5	4.7	1.6	2.3

### 2-3 介護保険サービスの利用状況

問8 令和4年10月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（○は1つ）

1か月間の介護保険サービス利用の有無については、「利用した」は61.7%、「利用していない」は37.1%となっています。



問8で「1. 利用した」と回答した方

問8-1 以下の介護保険サービスについて、令和4年10月の1か月の間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1. 利用していない)」を選択してください。(それぞれ1つに〇)

介護保険サービスの利用状況については、『利用した』(利用回数・日数のある選択肢の回答率の合計)が最も高いのは「通所介護」で54.6%となっています。次いで「通所リハビリテーション」(20.9%)、「訪問介護」(16.5%)、「ショートステイ」(12.6%)となっています。

サービスの利用頻度は、訪問介護・訪問看護は「週1回程度」、訪問入浴介護・訪問リハビリテーション・通所介護・通所リハビリテーションは「週2回程度」、夜間対応型訪問介護は「週1回程度」と「週5回以上」、ショートステイは「月1～7日程度」、居宅療養管理指導は「月1回程度」がそれぞれ最も高くなっています。

(%)

	件数	利用していない	利用した	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
訪問介護	521	26.5	16.5	5.0	4.6	2.3	1.5	3.1	57.0
訪問入浴介護	521	30.1	8.9	2.5	3.3	1.5	1.0	0.6	61.0
訪問看護	521	28.6	12.0	7.1	1.7	1.3	0.6	1.3	59.3
訪問リハビリテーション	521	28.2	10.1	3.8	4.2	1.3	0.4	0.4	61.6
通所介護	521	15.5	54.6	9.2	17.9	13.1	6.0	8.4	29.9
通所リハビリテーション	521	25.7	20.9	6.1	7.9	3.1	1.9	1.9	53.4
夜間対応型訪問介護	521	34.2	0.4	0.2	-	-	-	0.2	65.5

	件数	利用していない	利用した	無回答
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	521	67.8	7.5	24.8
小規模多機能型居宅介護	521	66.0	2.1	31.9
看護小規模多機能型居宅介護	521	66.6	0.6	32.8

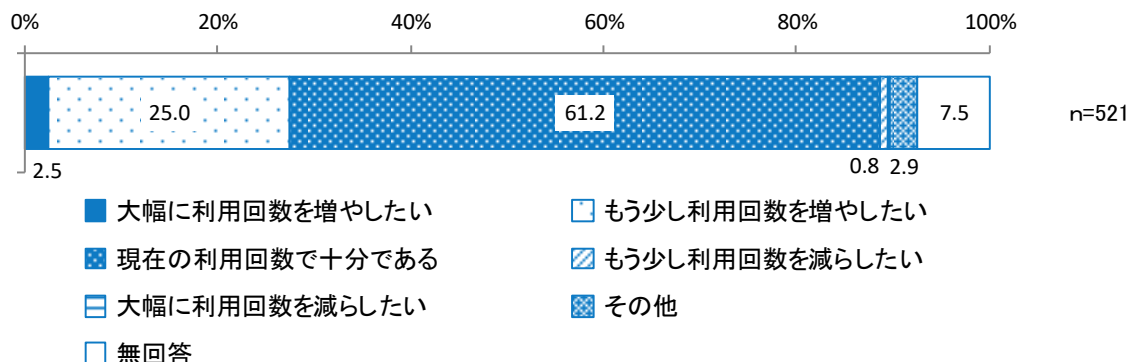
	件数	利用していない	利用した	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上	無回答
ショートステイ	521	63.5	12.6	7.3	3.5	1.0	0.8	24.0

	件数	利用していない	利用した	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度	無回答
居宅療養管理指導	521	65.8	7.9	3.8	2.5	0.6	1.0	26.3

## 2-4 介護保険サービスの利用意向

問8-2 現在利用している介護保険サービスの利用回数について、どのようにお考えですか。  
(〇は1つ)

介護保険サービスの利用意向については、「現在の利用回数で十分である」が 61.2%と最も高く、次いで「もう少し利用回数を増やしたい」(25.0%)となっています。



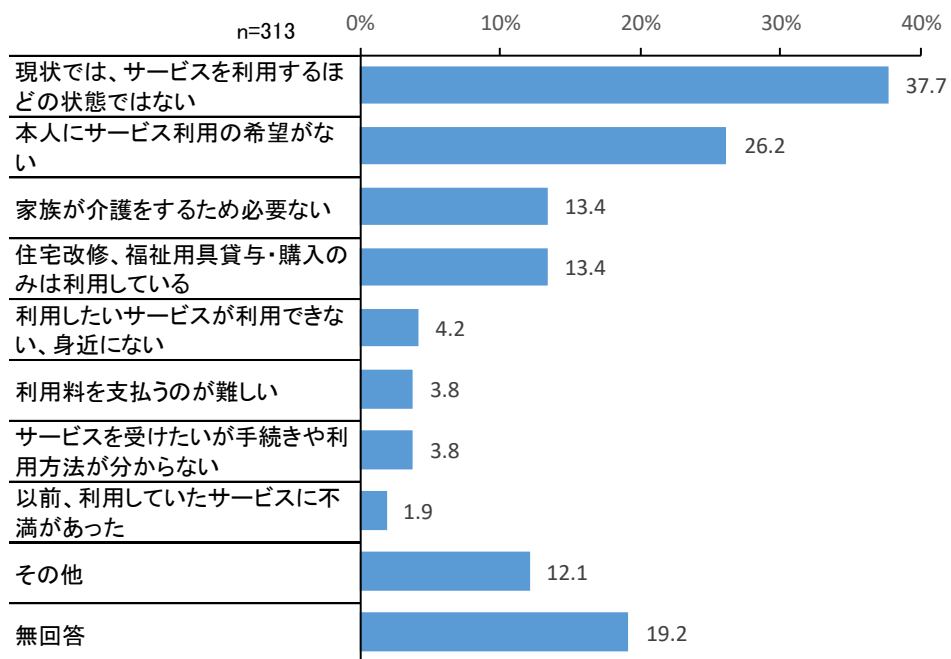
## 2-5 介護保険サービスを利用していない理由

問8で「2. 利用していない」と回答した方

問8-3 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 37.7%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(26.2%)、「家族が介護をするため必要ない」「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみは利用している」(ともに 13.4%) となっています。

「その他」(12.1%)の内訳は、「入院している」(3.8%)が多くなっています。

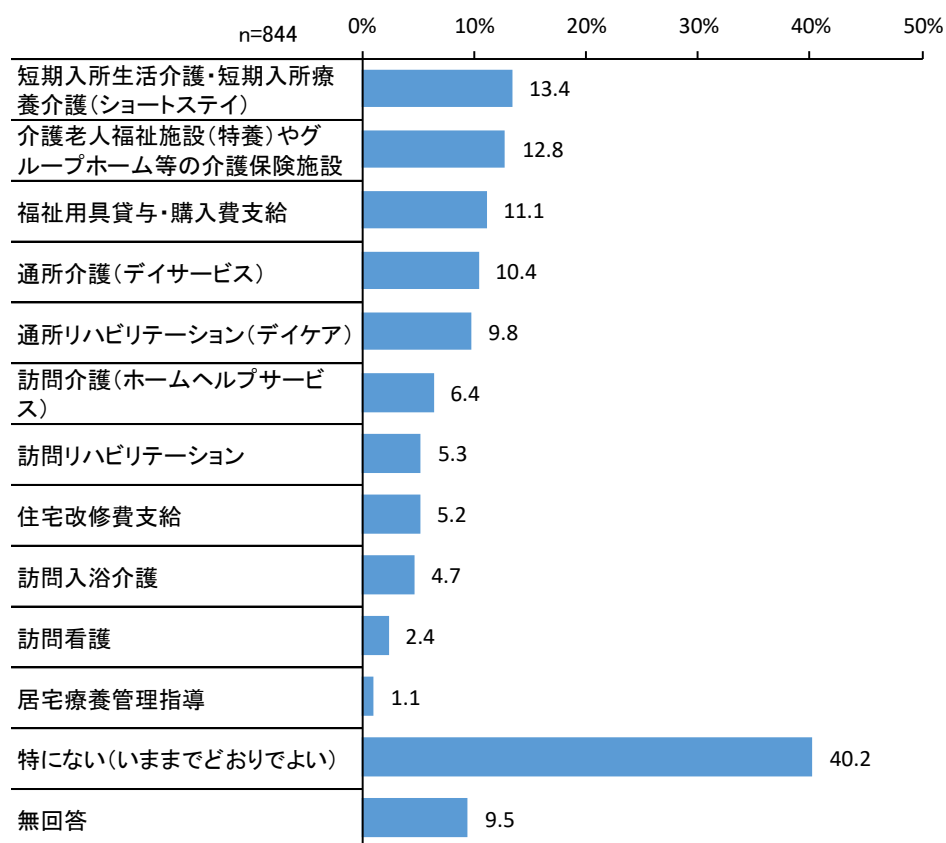


## 2-6 新たに利用したい介護保険サービス

問9 今後、新たに利用したいと思う介護保険サービスはありますか。(〇は3つまで)

新たに利用したい介護保険サービスについては、「特にない(いままでどおりでよい)」が40.2%と最も高くなっています。利用したいサービスとしては、「短期入所生活介護・短期入所療養介護(ショートステイ)」が13.4%と最も高く、次いで「介護老人福祉施設(特養)やグループホームなどの介護保険施設」(12.8%)、「福祉用具貸与・購入費支給」(11.1%)、「通所介護(デイサービス)」(10.4%)となっています。

介護者の有無(問18)別でみると、介護者なしでは「介護老人福祉施設やグループホームなどの介護保険施設」が最も高く、介護者ありでは「短期入所生活介護・短期入所療養介護」が最も高くなっています。



	件数	短期入所生活介護・短期入所療養介護	グループホームなど	介護老人福祉施設や	費支給	福祉用具貸与・購入	通所介護	通所リハビリテーション	訪問介護	訪問リハビリテーション	住宅改修費支給	訪問入浴介護	訪問看護	居宅療養管理指導	どおりでよい(いままで)	特にない(いままで)	無回答
全体	844	13.4	12.8	11.1	10.4	9.8	6.4	5.3	5.2	4.7	2.4	1.1	40.2	9.5			
介護者なし	263	6.5	12.9	9.9	9.5	8.0	6.5	4.6	3.8	2.7	1.1	0.8	52.1	8.0			
介護者あり	485	19.0	14.0	12.4	10.9	11.1	6.4	5.6	6.6	6.2	3.3	1.2	34.6	6.8			

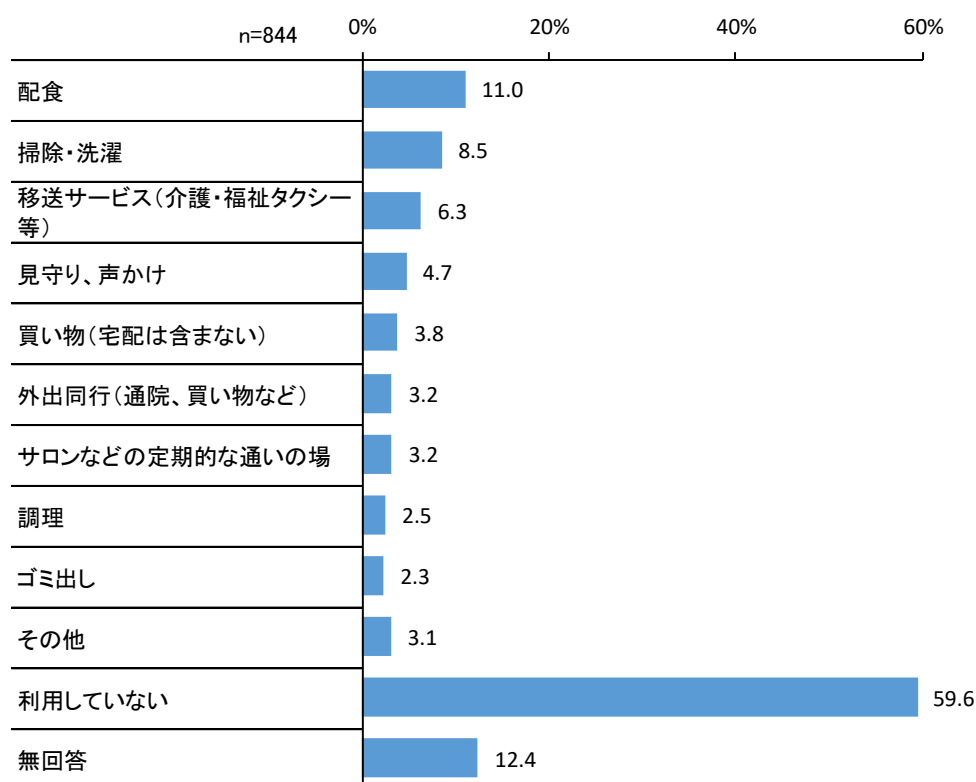


## 2-7 現在利用している高齢者福祉サービス

問10 現在、利用している、「高齢者福祉サービス」の支援・サービスについて、ご回答ください。(〇はいくつでも)

現在利用している高齢者福祉サービスについては、「利用していない」が59.6%と最も高く、全体から「利用していない」と無回答を除いた『高齢者福祉サービスを利用している』人は28.0%となっています。利用しているサービスとしては、「配食」が11.0%と最も高く、次いで「掃除・洗濯」(8.5%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(6.3%)、「見守り、声かけ」(4.7%)、「買い物(宅配は含まない)」(3.8%)となっています。

介護者の有無別で見ると、介護者なしでは「掃除・洗濯」が最も高く、介護者ありでは「配食」が最も高くなっています。



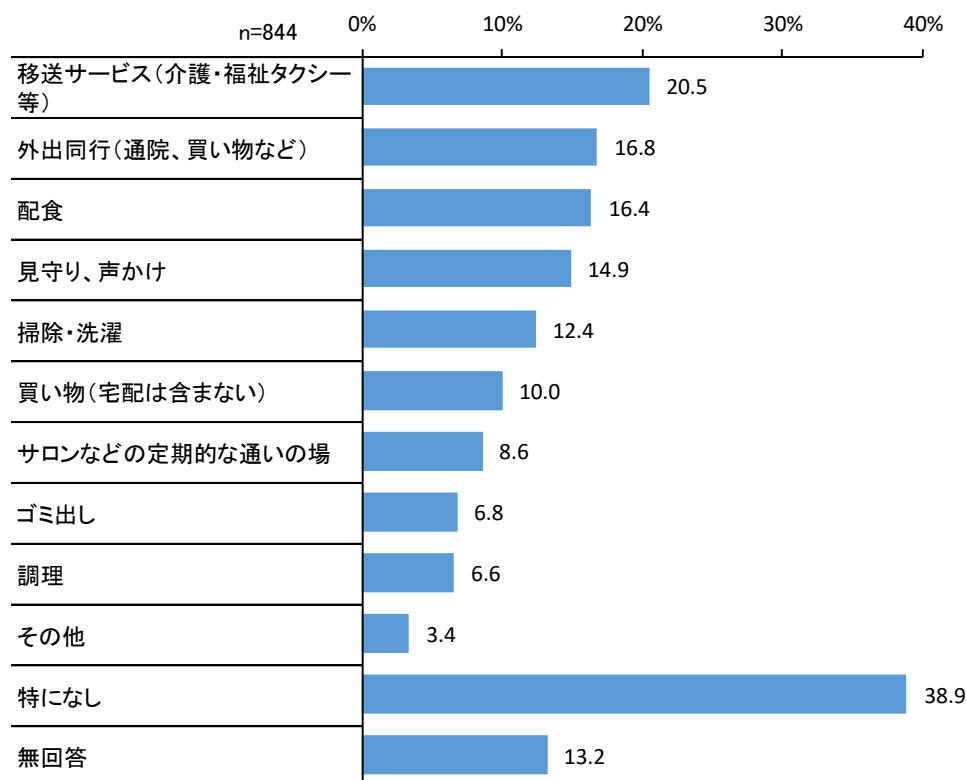
	件数	配食	掃除・洗濯	・移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	買い物(宅配は含まない)	外出同行(通院、買い物など)	サロンなどの定期的な通いの場	調理	ゴミ出し	その他	利用していない	無回答
全体	844	11.0	8.5	6.3	4.7	3.8	3.2	3.2	2.5	2.3	3.1	59.6	12.4
介護者なし	263	10.3	13.3	5.7	5.7	6.8	4.2	3.4	3.8	2.7	4.2	54.8	15.2
介護者あり	485	12.2	6.0	7.2	4.5	1.9	3.1	3.3	1.6	1.9	2.5	65.2	6.6

## 2-8 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

問11 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

在宅生活の継続に必要な支援・サービスについては、全体から「特になし」（38.9%）と無回答を除いた『支援・サービスを必要としている』人は47.9%となっています。必要な支援・サービスとしては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.5%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（16.8%）、「配食」（16.4%）、「見守り、声かけ」（14.9%）、「掃除・洗濯」（12.4%）となっています。

介護者の有無別で見ると、介護者なしでは「移送サービス」に次いで「配食」が高くなっています。



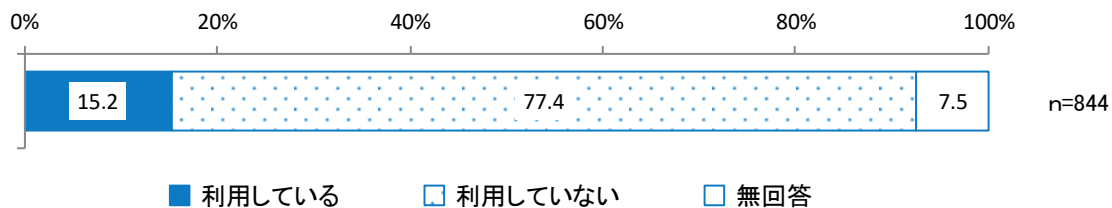
	件数	・移送サービス(介護)	い外出同行(通院、買い物)	配食	見守り、声かけ	掃除・洗濯	ない買い物(宅配は含まない)	な通いの場の定期的	ゴミ出し	調理	その他	特になし	無回答
全体	844	20.5	16.8	16.4	14.9	12.4	10.0	8.6	6.8	6.6	3.4	38.9	13.2
介護者なし	263	19.0	16.0	16.3	15.2	14.4	12.2	8.0	6.8	8.4	3.4	39.2	16.0
介護者あり	485	22.7	19.0	17.9	16.1	12.4	9.1	10.1	7.2	6.2	3.7	40.2	7.8

## 2-9 訪問診療の利用の有無

問12 ご本人（本調査対象者）は、現在、訪問診療（医療保険）を利用していますか。（○は1つ）

訪問診療の利用については、「利用している」が15.2%、「利用していない」が77.4%となっています。

要介護度でみると、「利用している」は要介護度があがるにつれて割合が高くなっており、要介護1・2で13.0%、要介護3～5で32.7%となっています。

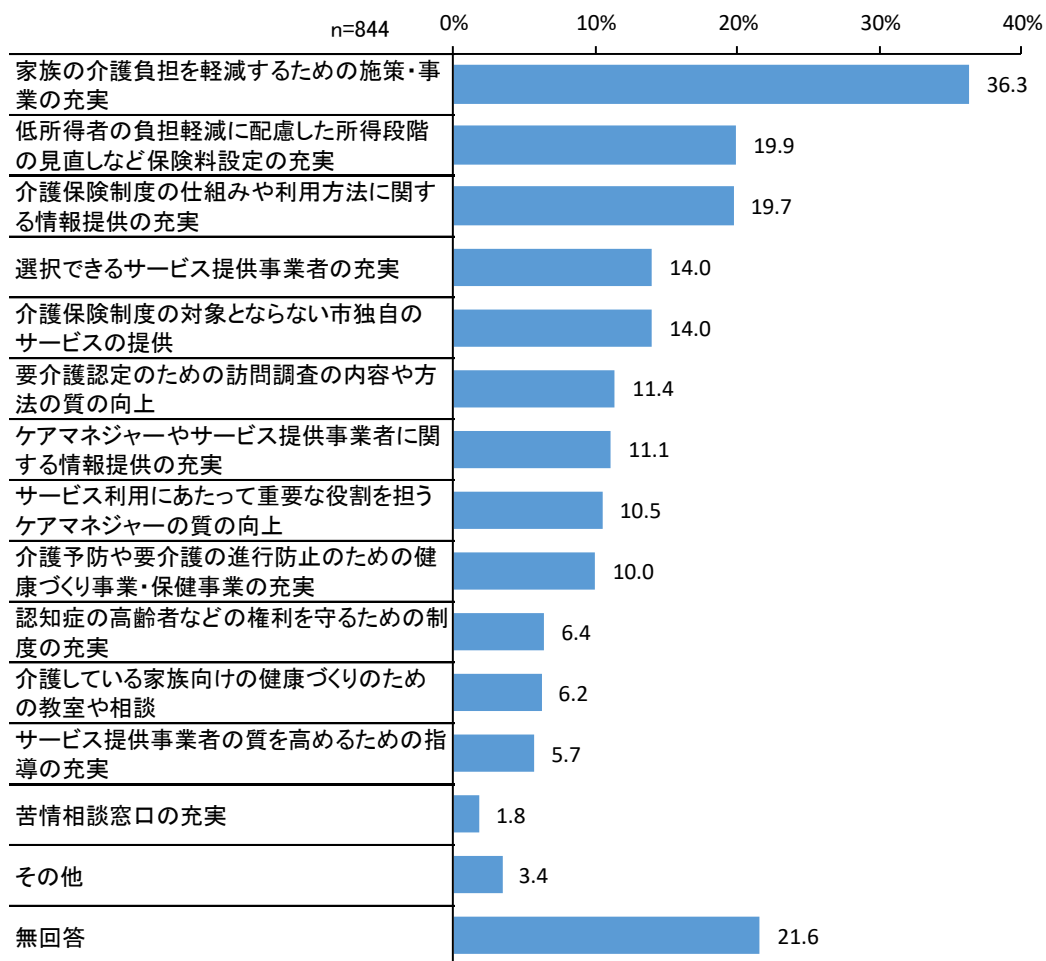


	件数	利用している	利用していない	無回答
全体	844	15.2	77.4	7.5
要支援1・2	359	10.0	81.3	8.6
要介護1・2	277	13.0	83.0	4.0
要介護3～5	165	32.7	61.2	6.1

## 2-10 注力してほしい介護関連施策

問13 介護保険制度をはじめ、介護にかかわるこれからの施策のあり方について、特に力を入れてほしいことは何ですか。（〇は3つまで）

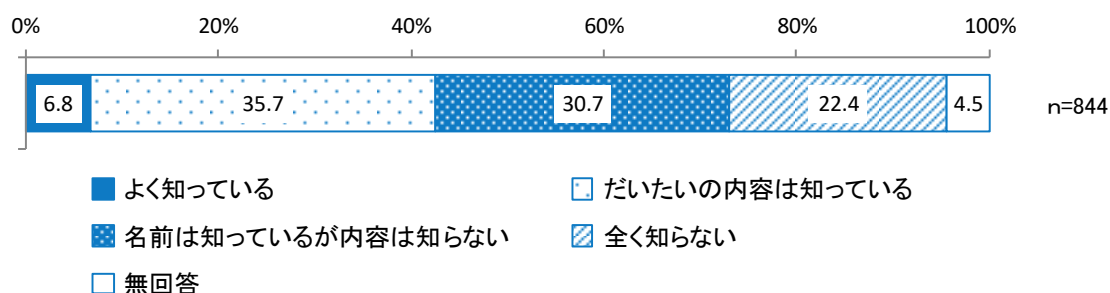
注力してほしい介護関連施策は、「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が36.3%と最も高く、次いで「低所得者の負担軽減に配慮した所得段階の見直しなど保険料設定の充実」(19.9%)、「介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実」(19.7%)、「選択できるサービス提供事業者の充実」「介護保険制度の対象とならない市独自のサービスの提供」(ともに14.0%)、「要介護認定のための訪問調査の内容や方法の質の向上」(11.4%)となっています。



## 2-11 成年後見制度について

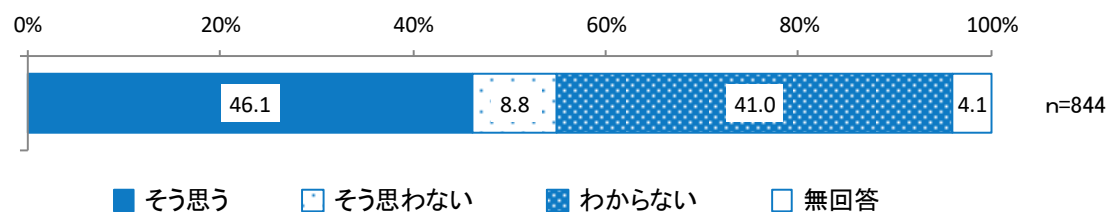
### 問14 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(〇は1つ)

成年後見制度の認知度については、「だいたいの内容は知っている」が 35.7%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らない」(30.7%)、「全く知らない」(22.4%) となっています。「よく知っている」は 6.8%となっており、「だいたいの内容は知っている」と合わせた“内容の理解度”は 42.5%、さらに「名前は知っているが内容は知らない」を合わせた“名称の認知度”は 73.2%となっています。



### 問15 成年後見制度は、今後必要な制度だと思いますか。(〇は1つ)

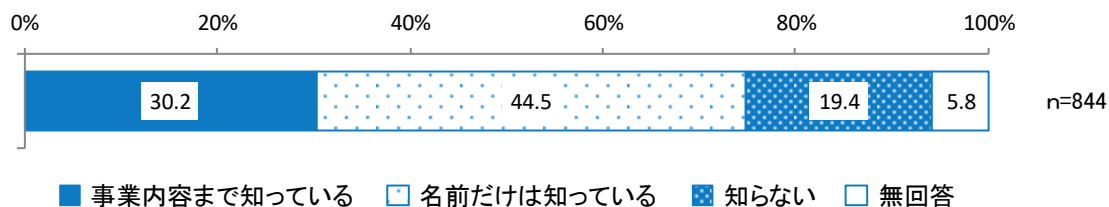
成年後見制度が今後自分に必要かどうかについては、「そう思う」が 46.1%、「わからない」が 41.0%、「そう思わない」が 8.8%となっています。



## 2-12 地域包括支援センターの認知度

問16 あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。（〇は1つ）

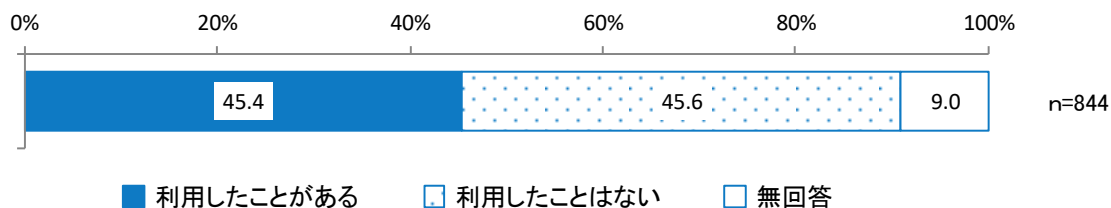
地域包括支援センターの認知度については、「名前だけは知っている」が44.5%で、「事業内容まで知っている」(30.2%)と合わせた“名称の認知度”は74.7%となっています。一方、「知らない」は19.4%となっています。



## 2-13 地域包括支援センターの利用状況

問17 あなたは、地域包括支援センターを利用したことがありますか。（〇は1つ）

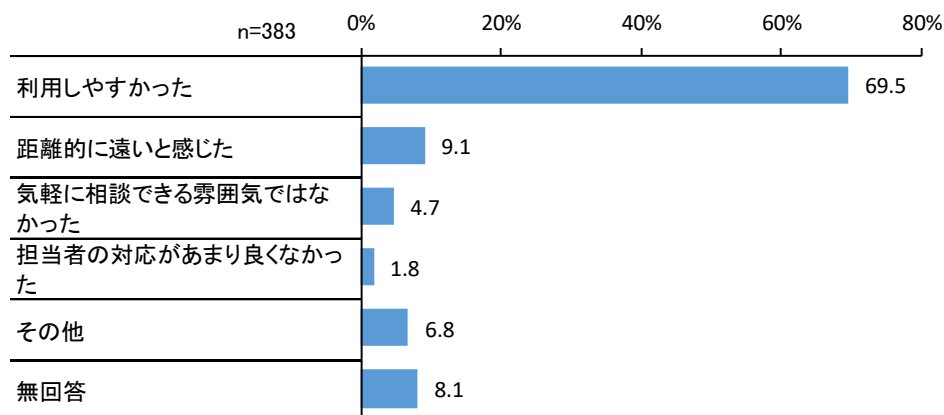
地域包括支援センター利用の有無は、「利用したことがある」が45.4%、「利用したことはない」が45.6%となっています。



問17で「1. 利用したことがある」とお答えの方

問17-1 地域包括支援センターの印象はいかがでしたか。（〇は1つ）

地域包括支援センターを利用した際の印象については、「利用しやすかった」が69.5%と最も高く、次いで「距離的に遠いと感じた」(9.1%)となっています。

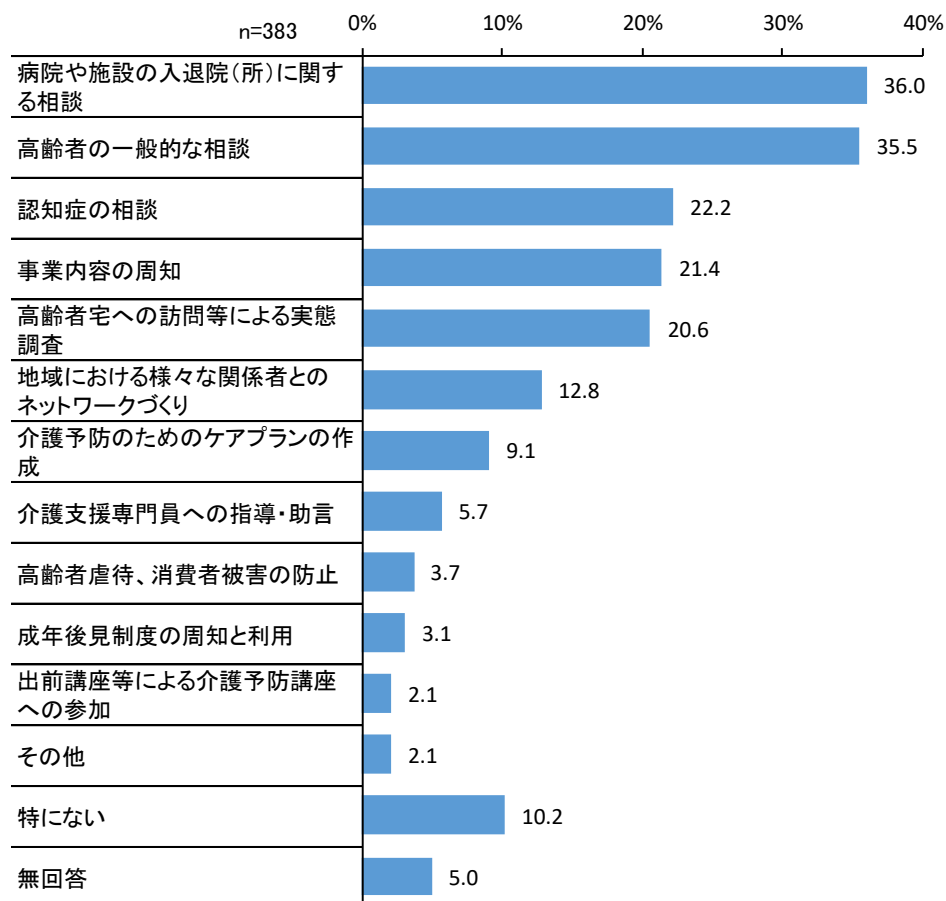


## 2-14 注力してほしい地域包括支援センターの事業

問17で「1. 利用したことがある」とお答えの方

問17-2 今後、地域包括支援センターに特に力を入れてほしい事業は何ですか。（〇は3つまで）

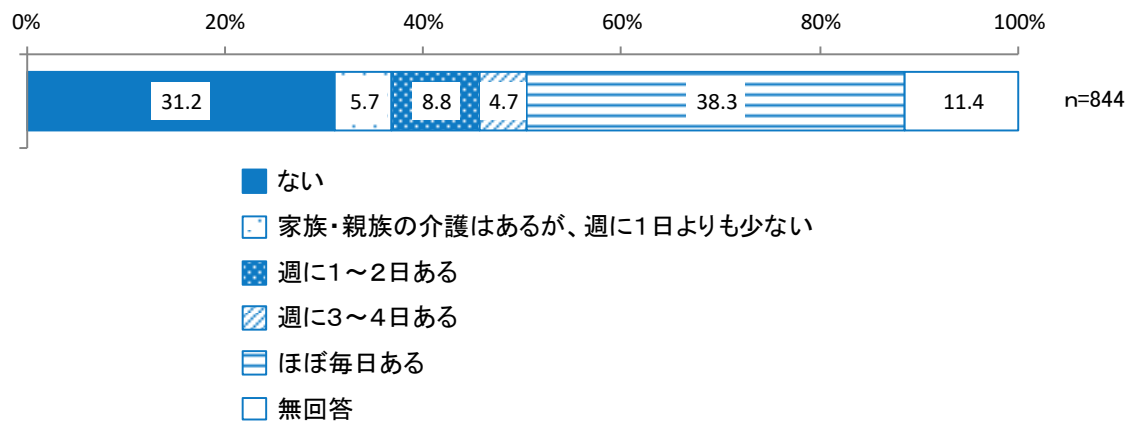
注力してほしい地域包括支援センターの事業は、「病院や施設の入退院（所）に関する相談」が36.0%と最も高く、次いで「高齢者の一般的な相談」（35.5%）、「認知症の相談」（22.2%）、「事業内容の周知」（21.4%）、「高齢者宅への訪問等による実態調査」（20.6%）となっています。また、「特にない」が10.2%となっています。



## 2-15 家族等による介護の頻度

問18 家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つ）

家族等による介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が38.3%と最も高く、「ない」が31.2%となっています。全体から「ない」と無回答を除いた『介護者あり』は57.5%となっています。





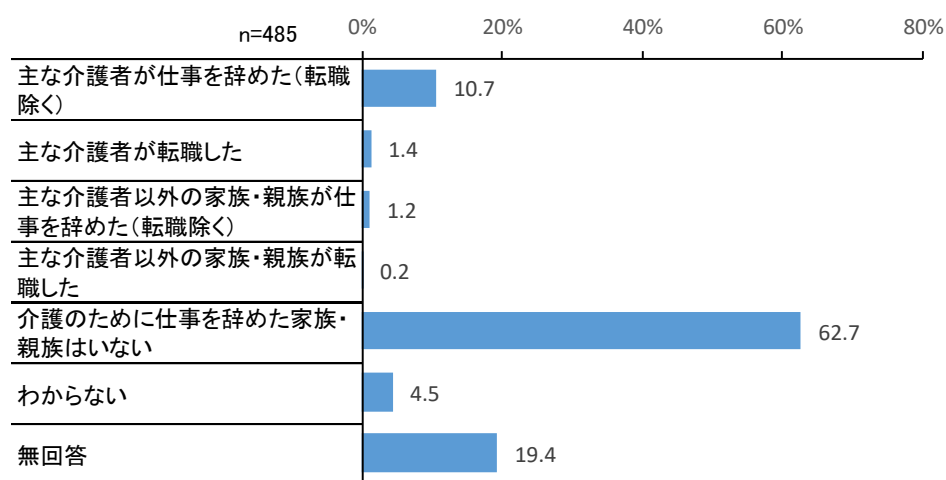
### 3 主な介護者について

問 18 で「2」～「5」とお答えの方

#### 3-1 介護のための離職の有無

問19 ご家族やご親族の中で、ご本人（本調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（〇はいくつでも）

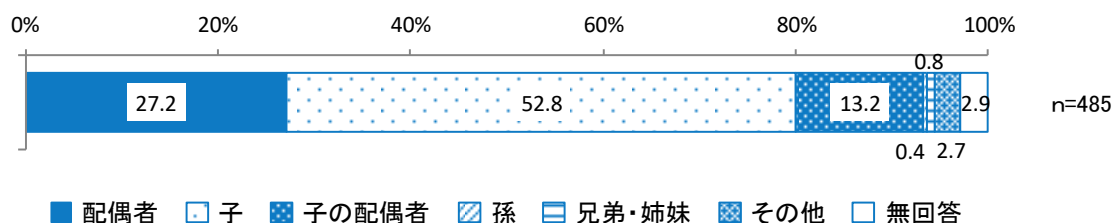
家族や親族で介護のための離職があったかどうかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 62.7%となっています。また、「主な介護者が仕事を辞めた」は 10.7%となっています。全体から「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と「わからない」と無回答を除いた『家族等が介護のために離職した』人は 13.4%となっています。



#### 3-2 主な介護者の本人との関係

問20 主な介護者の方は、ご本人（本調査対象者）から見てどなたですか。（〇は1つ）

主な介護者は、「子」が 52.8%と最も高く、次いで「配偶者」(27.2%)、「子の配偶者」(13.2%)となっています。

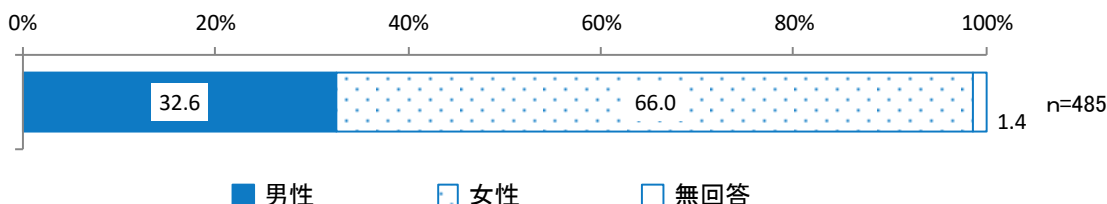


### 3-3 主な介護者の性別、年齢

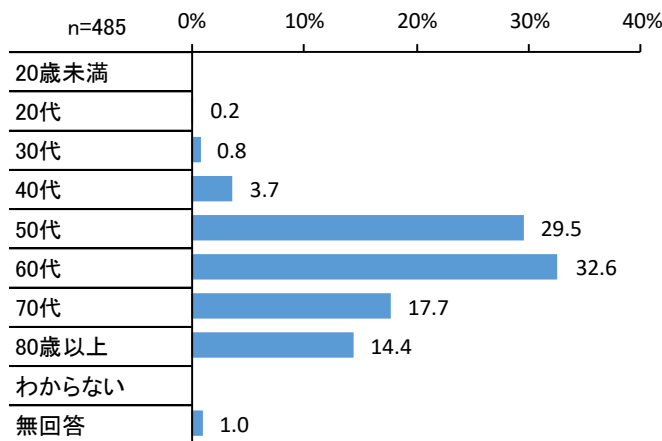
問21 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(〇は1つ)  
 問22 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(〇は1つ)

主な介護者の性別は、「男性」が32.6%、「女性」が66.0%となっています。  
 主な介護者の年齢は、「60代」が32.6%と最も高く、次いで「50代」(29.5%)、「70代」(17.7%)、「80歳以上」(14.4%)となっています

【主な介護者の性別】



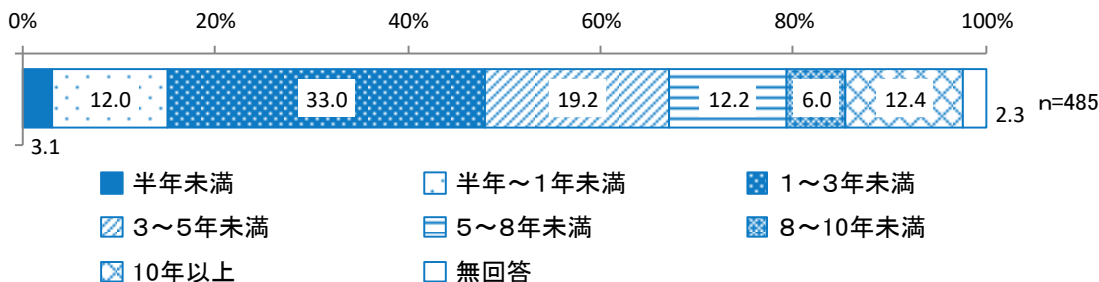
【主な介護者の年齢】



### 3-4 介護の継続年数

問23 ご本人への介護を、どのくらい続けていますか。(〇は1つ)

介護の継続年数は、「1～3年未満」が33.0%と最も高く、次いで「3～5年未満」(19.2%)、「10年以上」(12.4%)、「5～8年未満」(12.2%)、「10年以上」(12.4%)となっています。

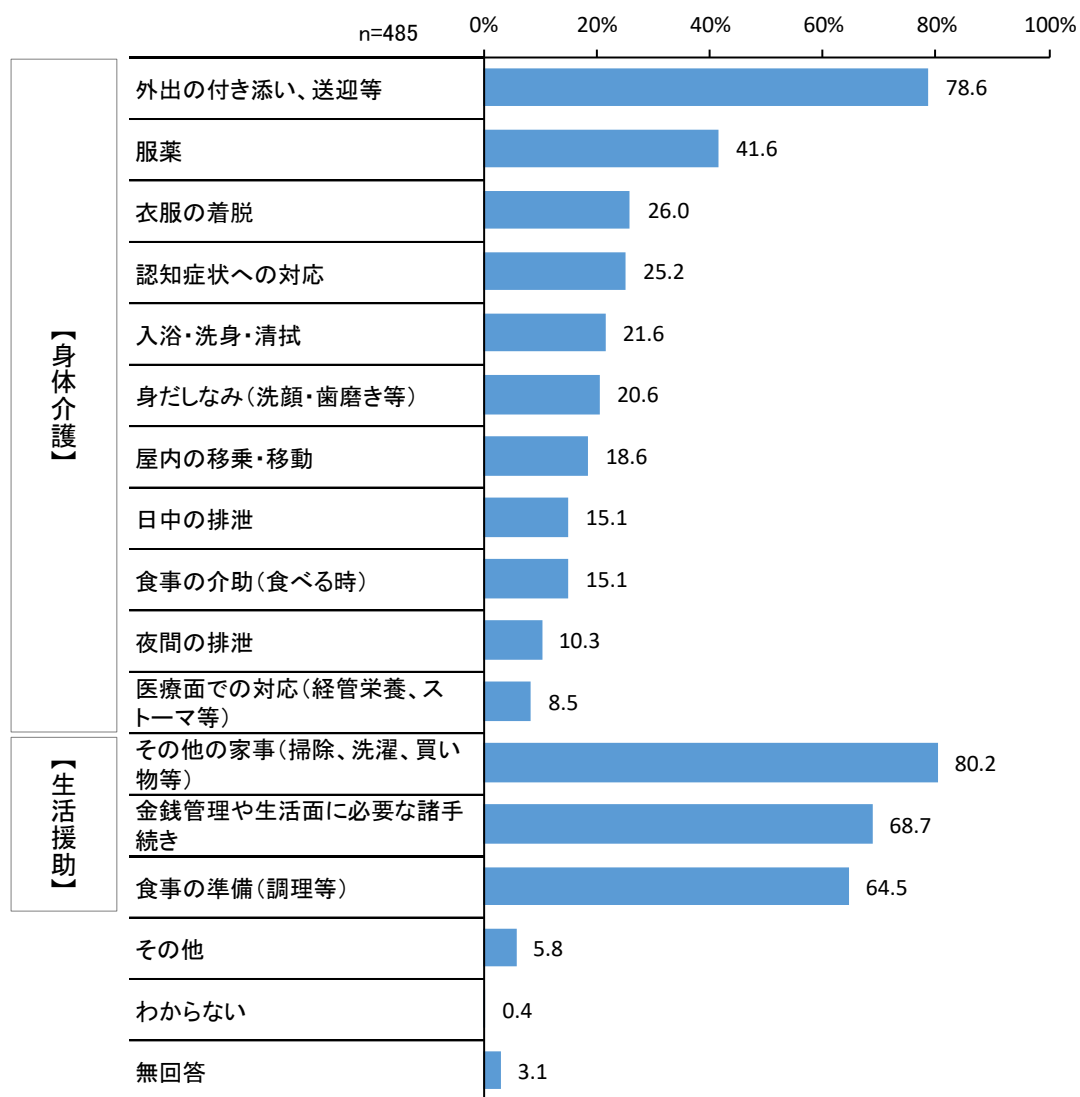


### 3-5 現在行っている介護

問24 現在、主な介護者の方が行っている介護の内容について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

現在行っている介護は、【身体介護】では「外出の付き添い、送迎等」（78.6%）が最も高く、次いで「服薬」（41.6%）、「衣服の着脱」（26.0%）、「認知症状への対応」（25.2%）、「入浴・洗身・清拭」（21.6%）となっています。

一方、【生活援助】では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（80.2%）が最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（68.7%）、「食事の準備（調理等）」（64.5%）と、いずれも6割以上となっています。

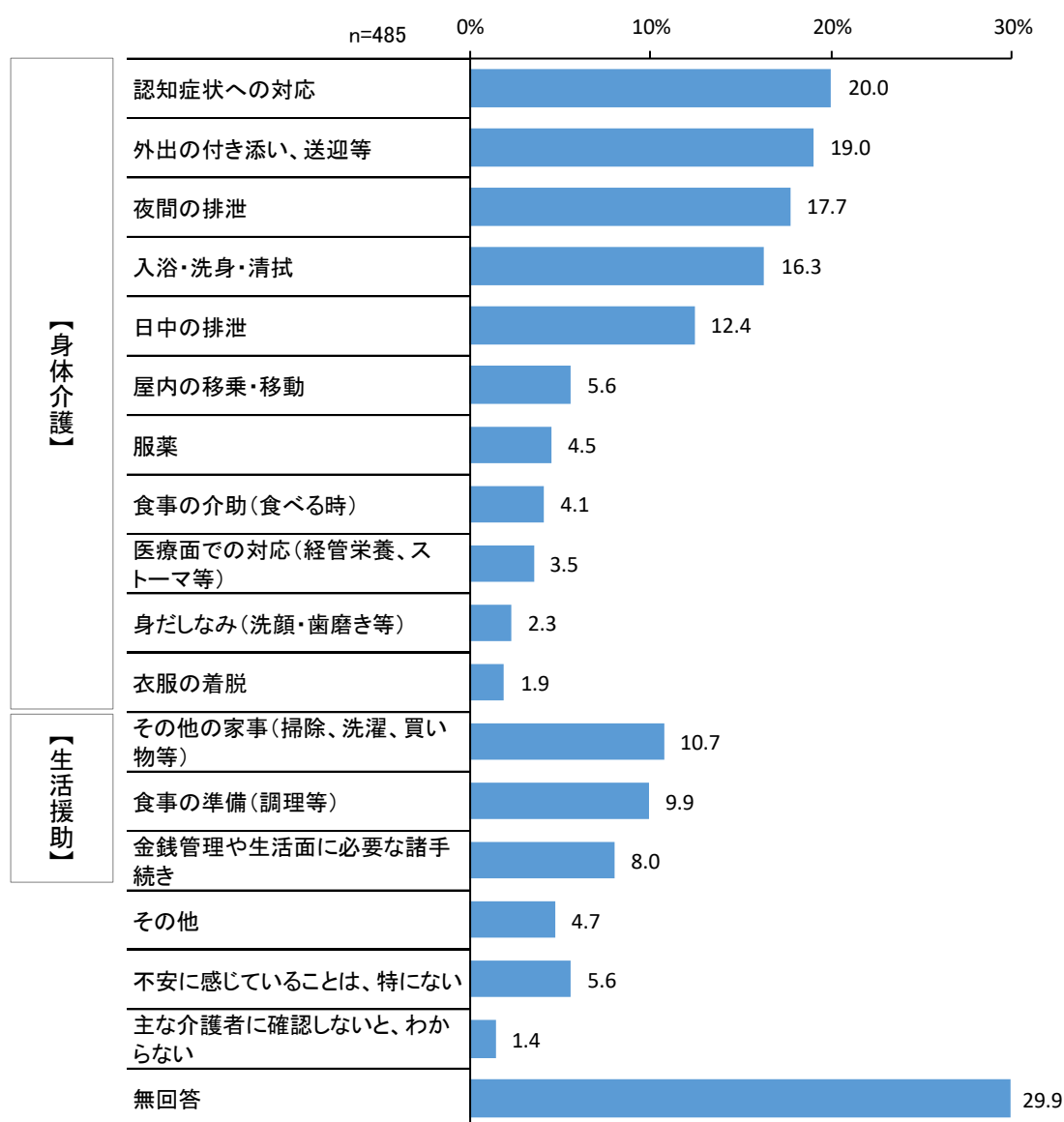


### 3-6 在宅生活の継続にあたり不安を感じる介護

問25 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護の内容について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（〇は3つまで）

在宅生活の継続にあたり不安を感じる介護は、【身体介護】では「認知症状への対応」（20.0%）が最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」（19.0%）、「夜間の排泄」（17.7%）、「入浴・洗身・清拭」（16.3%）、「日中の排泄」（12.4%）となっています。

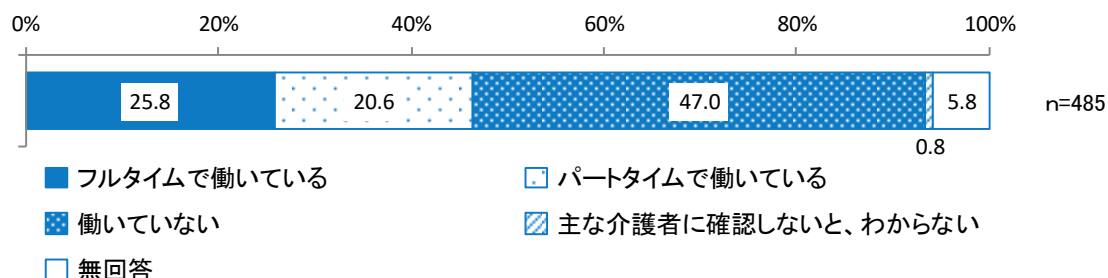
一方、【生活援助】では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（10.7%）が最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」（9.9%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（8.0%）と、いずれも【身体介護】の上位5項目より低い割合となっています。



### 3-7 介護者の勤務形態

問26 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（〇は1つ）

主な介護者の現在の勤務形態については、「働いていない」が47.0%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」（25.8%）、「パートタイムで働いている」（20.6%）となっています。

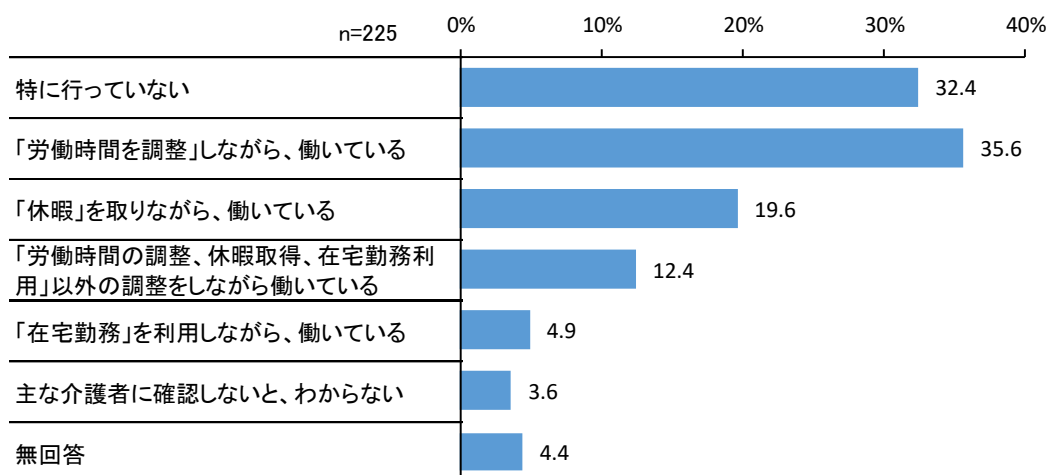


### 3-8 介護のための働き方の調整の状況

問26で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

問27 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（〇はいくつでも）

介護のための働き方の調整の状況については、全体から「特に行っていない」（32.4%）と「主な介護者に確認しないと、わからない」と無回答を除いた『介護のために働き方を調整している』人は59.6%となっています。調整方法としては、「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が35.6%と最も高く、次いで「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」（19.6%）、「介護のために、『労働時間の調整、休暇取得、在宅勤務利用』以外の調整をしながら、働いている」（12.4%）、「介護のために、『在宅勤務』を利用しながら、働いている」（4.9%）となっています。

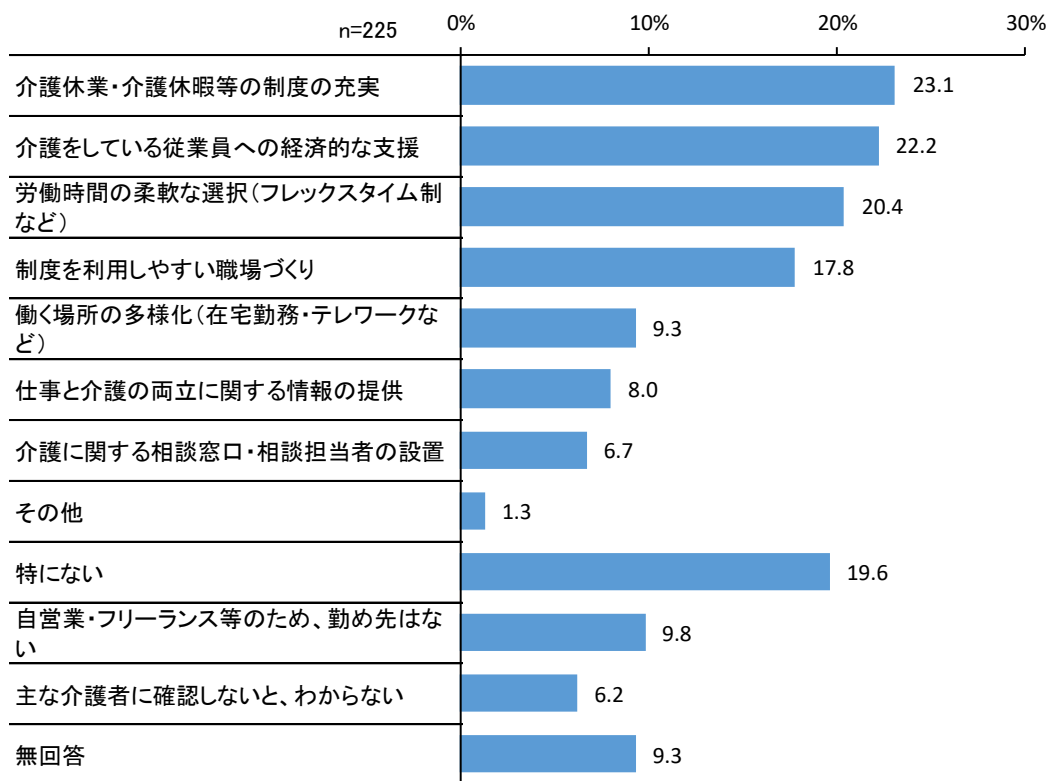


### 3-9 仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援

問26で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

問28 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（〇は3つまで）

仕事と介護の両立に必要な勤務先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が23.1%と最も高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」（22.2%）、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（20.4%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（17.8%）となっています。

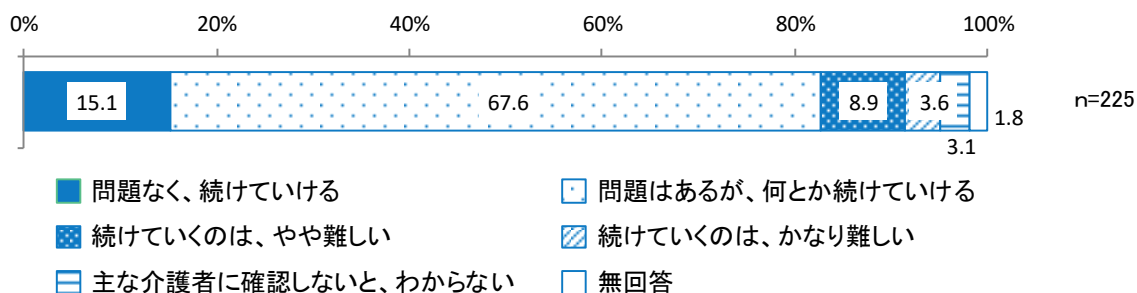


### 3-10 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

問26で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

問29 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（〇は1つ）

主な介護者の今後の就労継続の可否については、「問題なく、続けていける」（15.1%）と「問題はあるが、何とか続けていける」（67.6%）を合わせた『続けていける』人は82.7%となっています。一方、「続けていくのは、かなり難しい」（3.6%）と「続けていくのは、やや難しい」（8.9%）を合わせた『続けていくのは難しい』人は12.5%となっています。



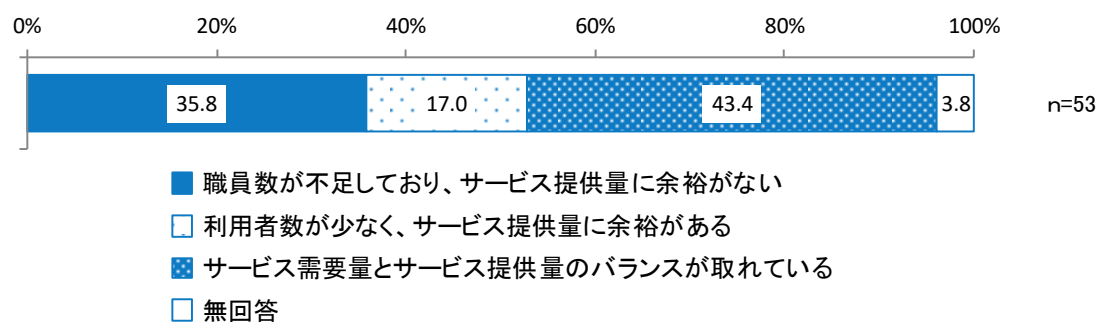
### (3) サービス事業者調査

#### 1 介護サービスの実施状況

##### 1-1 サービス提供の状況

問2 現在、貴事務所におけるサービス提供はどのような状況ですか。(〇は1つだけ)

サービス提供の状況については、「職員数が不足しており、サービス提供量に余裕がない」(35.8%)が「利用者数が少なく、サービス提供量に余裕がある」(17.0%)を上回っています。また、「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」は43.4%と最も高くなっています。



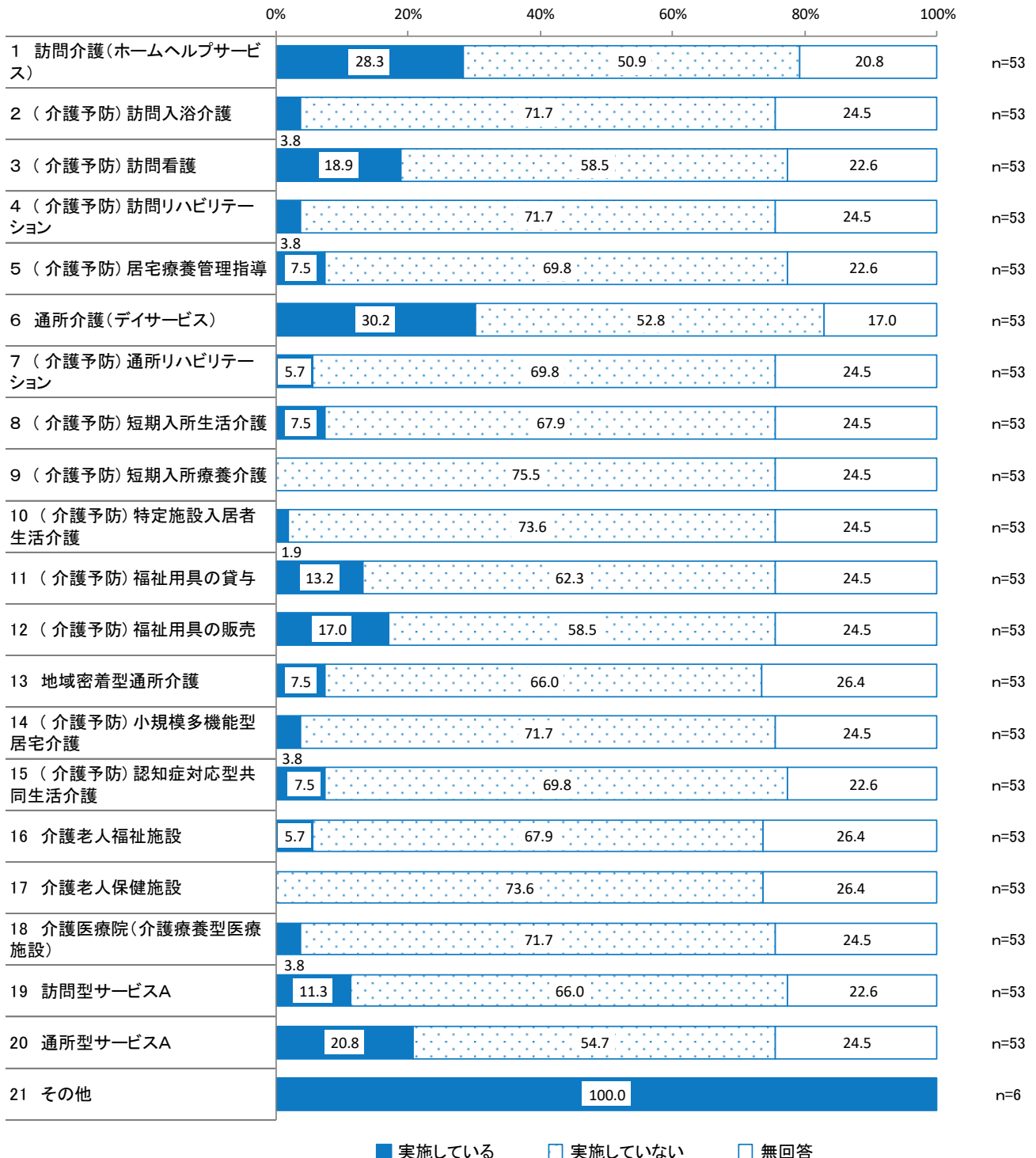
## 1-2 介護サービスの実施状況と実施予定

問3 貴事務所における介護サービスの現在の実施状況と今後の実施予定について、各項目で該当するものに○をつけてください。

(「現在」実施していない場合「今後」もお答えください)

介護サービスの現在の実施状況をみると、現在「実施している」サービスとしては、通所介護(30.2%)、訪問介護(28.3%)、通所型サービスA(20.8%)、(介護予防)訪問看護(18.9%)、(介護予防)福祉用具の販売(17.0%)が高くなっています。

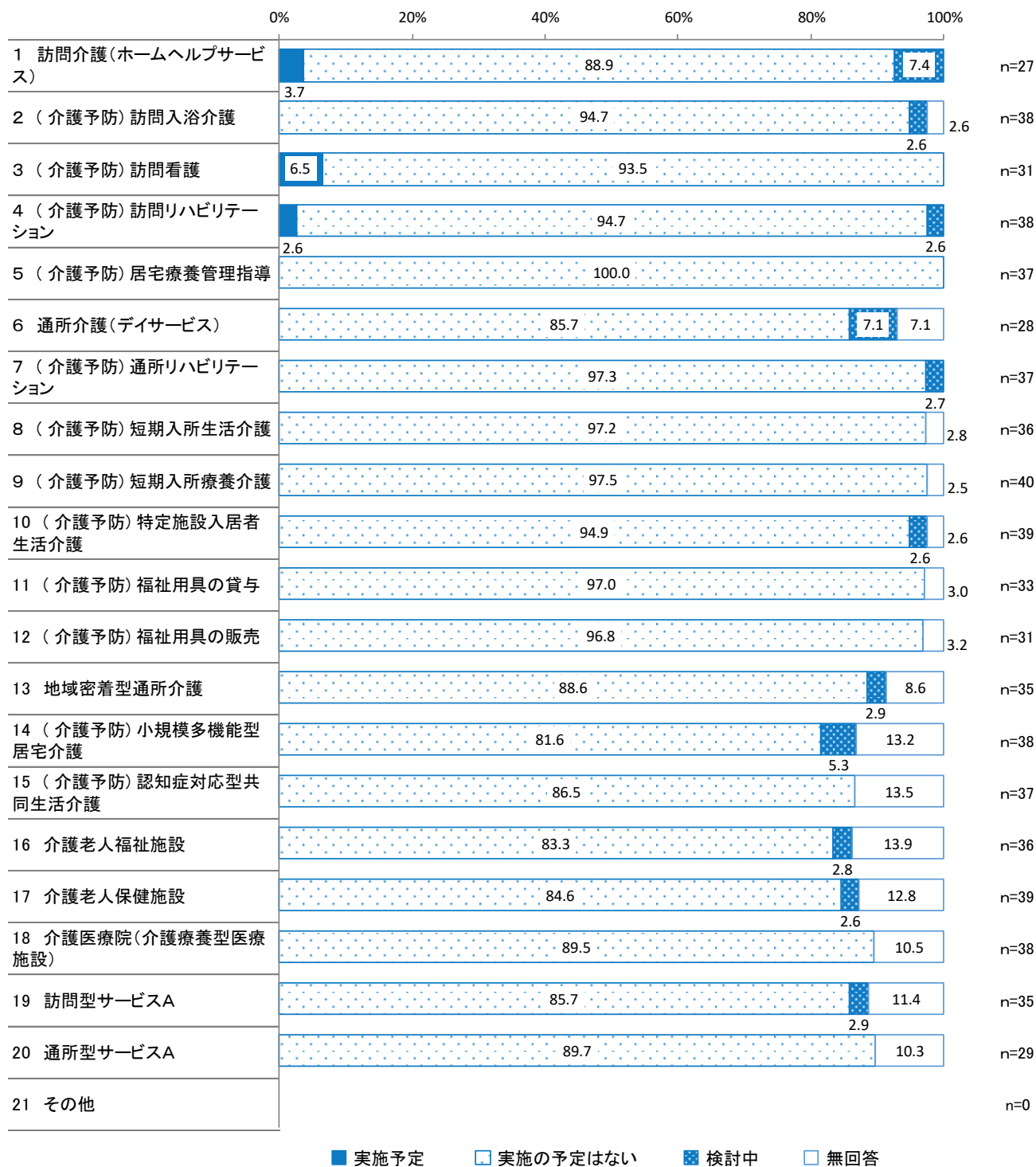
### 【現在の実施状況】





今後の実施予定をみると、「実施予定」のあるサービスとしては、(介護予防)訪問看護、訪問介護、(介護予防)訪問リハビリテーションが回答されています。また、実施を「検討中」のサービスとしては、訪問介護、通所介護、(介護予防)小規模多機能型居宅介護等が回答されています。

【今後の実施予定】



### 1-3 介護サービスの利用者数及び利用回数の状況

問4 貴事務所で実施している事業について、利用者数及び利用回数の状況について、各項目で該当するものに○をつけてください。

現在実施している事業の利用者数の状況をみると、「増加傾向」が「減少傾向」を複数件上回っているサービスは、訪問介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)福祉用具の貸与、(介護予防)福祉用具の販売となっています。一方、「減少傾向」が「増加傾向」を上回っているサービスは、通所介護、(介護予防)特定施設入居者生活介護、地域密着型通所介護、介護老人福祉施設となっています。

#### 【利用者数の状況】

	件数	(件数)					
		増加傾向	横ばい	減少傾向	減ったたり	増えたり	その他
1 訪問介護(ホームヘルプサービス)	15	4	6	1	3	-	1
2 (介護予防)訪問入浴介護	2	1	1	-	-	-	-
3 (介護予防)訪問看護	10	3	2	-	3	-	2
4 (介護予防)訪問リハビリテーション	2	-	-	-	1	-	1
5 (介護予防)居宅療養管理指導	4	-	1	-	1	-	2
6 通所介護(デイサービス)	16	3	6	4	3	-	-
7 (介護予防)通所リハビリテーション	3	-	2	-	-	-	1
8 (介護予防)短期入所生活介護	4	2	1	1	-	-	-
9 (介護予防)短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-
10 (介護予防)特定施設入居者生活介護	1	-	-	1	-	-	-
11 (介護予防)福祉用具の貸与	7	4	1	1	1	-	-
12 (介護予防)福祉用具の販売	9	4	-	1	2	-	2
13 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	6	-	-	-	-	-	6
14 夜間対応型訪問介護	6	-	-	-	-	-	6
15 地域密着型通所介護	4	-	2	1	1	-	-
16 (介護予防)認知症対応型通所介護	6	-	-	-	-	-	6
17 (介護予防)小規模多機能型居宅介護	2	1	-	-	1	-	-
18 (介護予防)認知症対応型共同生活介護	4	1	2	-	1	-	-
19 地域密着型特定施設入居者生活介護	6	-	-	-	-	-	6
20 地域密着型介護老人福祉施設	6	-	-	-	-	-	6
21 看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)	6	-	-	-	-	-	6
22 介護老人福祉施設	3	-	1	1	-	1	-
23 介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-
24 介護医療院(介護療養型医療施設)	2	-	1	-	-	-	1
25 訪問型サービスA	6	1	1	-	2	2	-
26 通所型サービスA	11	-	5	-	5	-	1
27 その他	6	3	1	-	1	-	1

利用回数の状況をみると、「増加傾向」が「減少傾向」を複数件上回っているサービスは、訪問介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)小規模多機能型居宅介護となっています。一方、「減少傾向」が「増加傾向」を上回っているサービスは、(介護予防)特定施設入居者生活介護、介護老人福祉施設となっています。

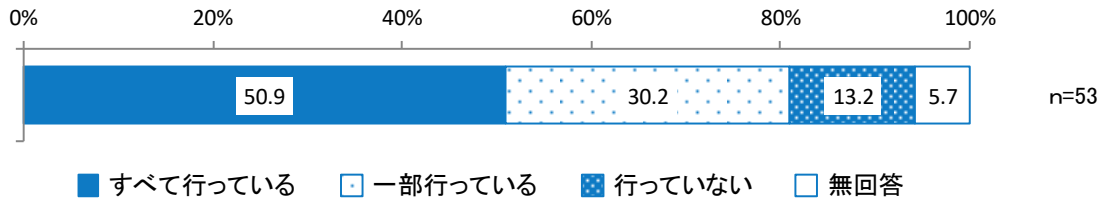
【利用回数の状況】

	(件数)							
	件数	増加傾向	横ばい	減少傾向	減ったたり	増えたり	その他	無回答
1 訪問介護(ホームヘルプサービス)	15	3	6	1	4	-	-	1
2 (介護予防)訪問入浴介護	2	1	1	-	-	-	-	-
3 (介護予防)訪問看護	10	3	3	1	1	-	-	2
4 (介護予防)訪問リハビリテーション	2	-	-	-	1	-	-	1
5 (介護予防)居宅療養管理指導	4	-	1	-	1	-	-	2
6 通所介護(デイサービス)	16	3	7	2	3	-	-	1
7 (介護予防)通所リハビリテーション	3	-	2	-	-	-	-	1
8 (介護予防)短期入所生活介護	4	2	1	1	-	-	-	-
9 (介護予防)短期入所療養介護	-	-	-	-	-	-	-	-
10 (介護予防)特定施設入居者生活介護	1	-	-	1	-	-	-	-
11 (介護予防)福祉用具の貸与	7	2	1	1	-	-	-	3
12 (介護予防)福祉用具の販売	9	2	1	1	-	-	-	5
13 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	6	-	-	-	-	-	-	6
14 夜間対応型訪問介護	6	-	-	-	-	-	-	6
15 地域密着型通所介護	4	1	2	-	1	-	-	-
16 (介護予防)認知症対応型通所介護	6	-	-	-	-	-	-	6
17 (介護予防)小規模多機能型居宅介護	2	2	-	-	-	-	-	-
18 (介護予防)認知症対応型共同生活介護	4	-	2	-	1	-	-	1
19 地域密着型特定施設入居者生活介護	6	-	-	-	-	-	-	6
20 地域密着型介護老人福祉施設	6	-	-	-	-	-	-	6
21 看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)	6	-	-	-	-	-	-	6
22 介護老人福祉施設	3	-	-	1	-	-	1	1
23 介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-
24 介護医療院(介護療養型医療施設)	2	-	1	-	-	-	-	1
25 訪問型サービスA	6	1	4	-	1	-	-	-
26 通所型サービスA	11	-	7	-	3	-	-	1
27 その他	6	1	3	-	-	-	-	2

#### 1-4 総合事業利用者との目標共有の状況

問5 総合事業の利用について利用者と目標を共有していますか。(〇は1つだけ)

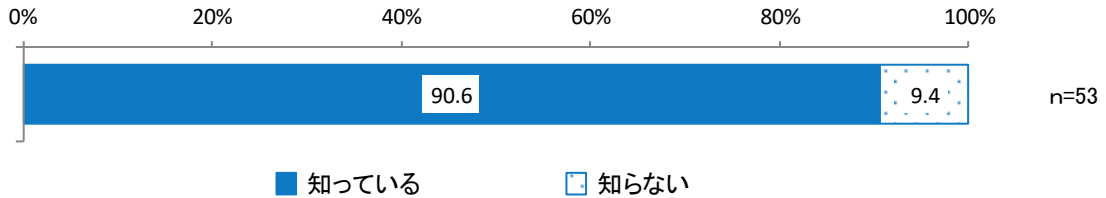
総合事業の利用における利用者との目標の共有については、「すべて行っている」が50.9%で、「一部行っている」(30.2%)を合わせた『行っている』は81.1%となっています。一方、「行っていない」は13.2%となっています。



#### 1-5 生活支援コーディネーターの認知度

問6 社会資源に関して相談のできる生活支援コーディネーター(社協)を知っていますか。(〇は1つだけ)

生活支援コーディネーター(社協)の認知度については、「知っている」が90.6%となっています。

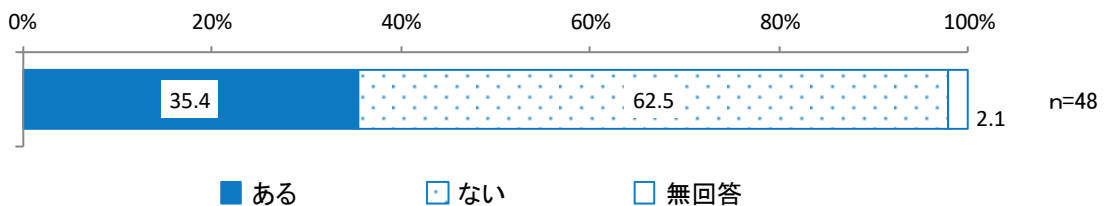


#### 1-6 生活支援コーディネーターの利用状況

<問6で「1 知っている」と答えた方>

問6-1 生活支援コーディネーター(社協)を活用したことがありますか。

生活支援コーディネーターの活用経験については、「ある」が35.4%となっています。



## 1-7 多職種連携についての意見

問7 多職種連携について、どのようにお考えですか。ご自由にお書きください。

多職種連携については、下記のような内容で34件のご意見をいただきました。

	内 容	件数
1	連携は必要（重要、有効）である	21
2	課題がある、難しい	9
3	現在、連携がうまくできている	4
	合 計	34

いただいたご意見の一部（抜粋）

### < 1 連携は必要（重要、有効）である >

- ・入居者確保に努める上でとても重要であり、また、現利用者の状態により、相談相手として頼りにしたいと考えます。
- ・多職種で対応することで問題解決がしやすくなる。多方面からの視点、アプローチができるので有効であると考えます。
- ・機能訓練を行う上で、理学療法士等の専門職の知識は必要で、介護職と連携を図りながらサービスを提供していきたい。
- ・コロナ禍でケアマネの訪問を控えたり、短めの訪問とさせていただいているので、事業所からの報告は本来にありがたいです。役割を分担するためにも多職種連携は必須です。
- ・福祉用具や住宅改修の提案で、理学療法士の評価や見解が参考になることがあります。

### < 2 課題がある、難しい >

- ・レインボーネット等で多職種との連携を図ることがあるが、通常の個々のケースの入力とは別に入力しなければならないので、様々な視点の意見や考え方を共有できることは大きなメリットだが、業務量を考えるとそれに時間を割くことはなかなか難しい。
- ・非常に重要なこととして捉えていますが、連携するためのハブツールが複雑で多様化しているように感じています。
- ・時間を多く使い充実した連携を行いたいと考えているが、日頃の業務量が多く、考えるほどの時間を充てることができていない場合があると感じる。
- ・コロナ禍になり、オンライン会議、メール等のツールで連携はあるが、集まったの会合や担当者会議（書面が増えた）も減り、コロナ前に比べると訪問も控え、つながりが希薄になったように感じる。
- ・事業所としての意見を聞かれることはありますが、こちらから連携を進めていくことはあまりしたことはないです。

### < 3 現在、連携がうまくできている >

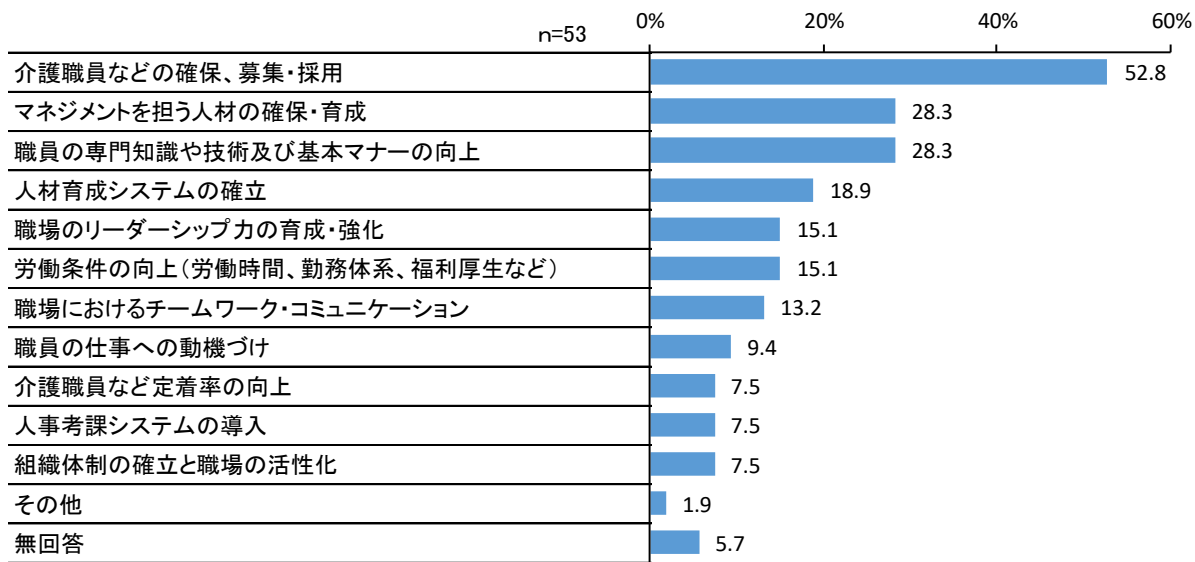
- ・複合的な課題を抱えているケースが増えているため、常に多職種との連携を意識して業務を行っています。
- ・概ね確立できていると思う。
- ・医療連携について。研修等によく医療連携が言われ続けていた。介護職が医療関係との連携が取りやすくなった。
- ・なるべく相談できる関係づくりをし、専門的な職種の方々も含めて進めていけるようにしています。

## 2 介護人材の確保やケアマネジメントの質の向上等について

### 2-1 人材マネジメント上、抱えている問題

問8 貴事務所では、人材マネジメント上、どのような問題を抱えていますか。（〇は3つまで）

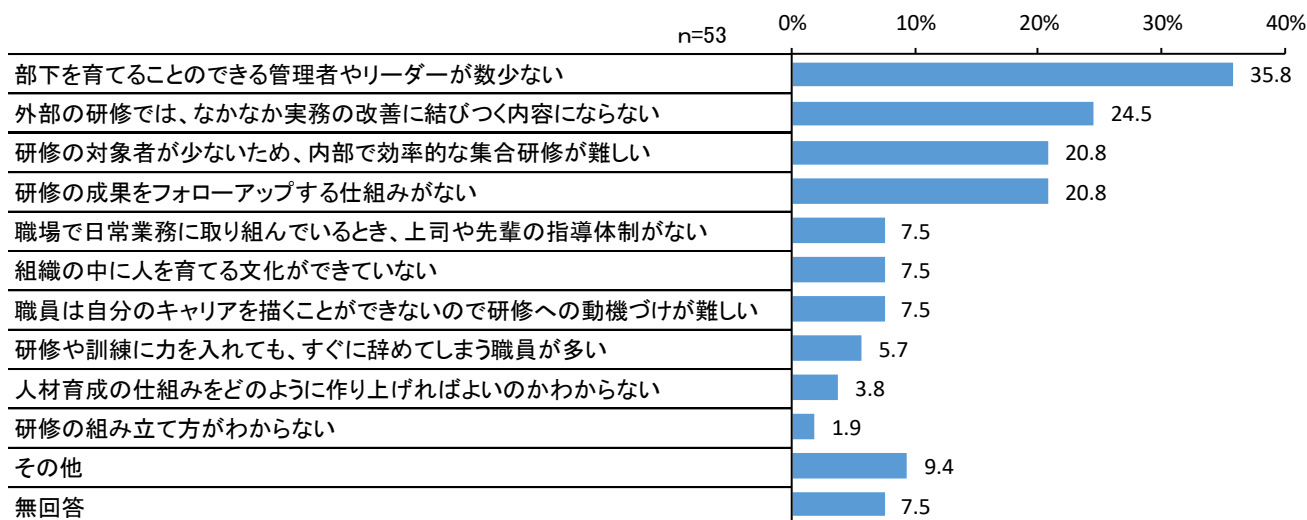
人材マネジメント上で抱えている問題は、「介護職員などの確保、募集・採用」が 52.8%と最も高く、次いで「マネジメントを担う人材の確保・育成」「職員の専門知識や技術及び基本マナーの向上」（ともに 28.3%）、「人材育成システムの確立」（18.9%）となっています。



### 2-2 人材育成に取り組む際の問題点

問9 貴事務所では、人材の育成に取り組んでいく時、どのような問題点がありますか。（〇は3つまで）

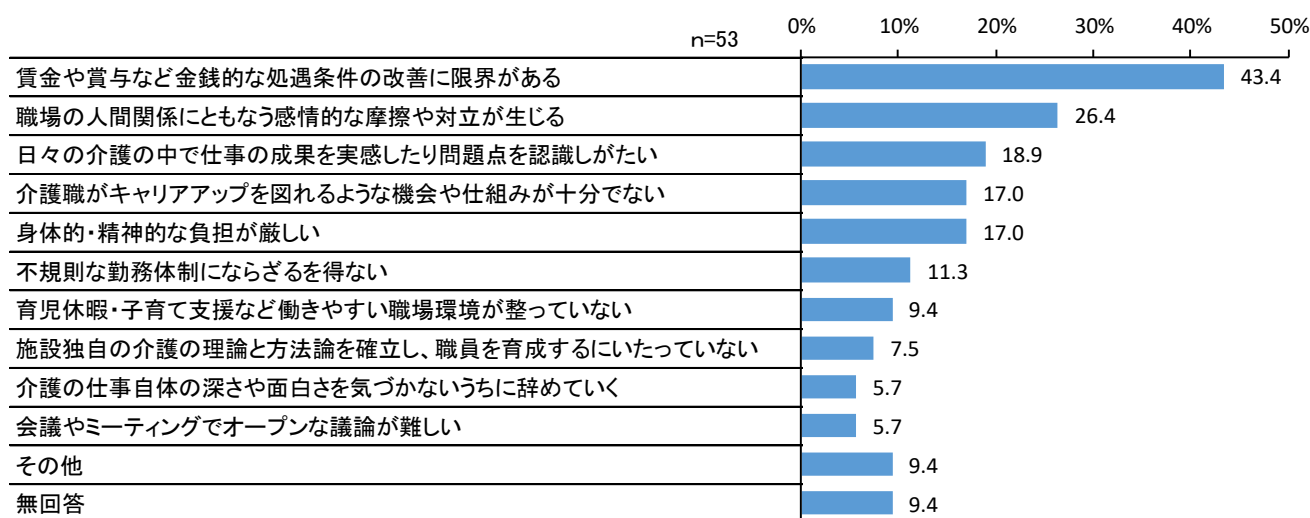
人材育成に取り組む際の問題点は、「部下を育てることのできる管理職やリーダーが数少ない」が 35.8%と最も高く、次いで「外部の研修では、なかなか実務の改善に結びつく内容にならない」（24.5%）、「研修の対象者が少ないため、内部で効率的な集合研修が難しい」「研修の成果をフォローアップする仕組みがない」（ともに 20.8%）となっています。



## 2-3 職員の確保と定着向上における問題点

問10 貴事務所では、職員の確保と定着向上にはどのような問題点がありますか。(〇は3つまで)

職員の確保と定着向上における問題点は、「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」が43.4%と最も高く、次いで「職場の人間関係にともなう感情的な摩擦や対立が生じる」(26.4%)、「日々の介護の中で仕事の成果を実感したり問題点を認識しがたい」(18.9%)となっています。

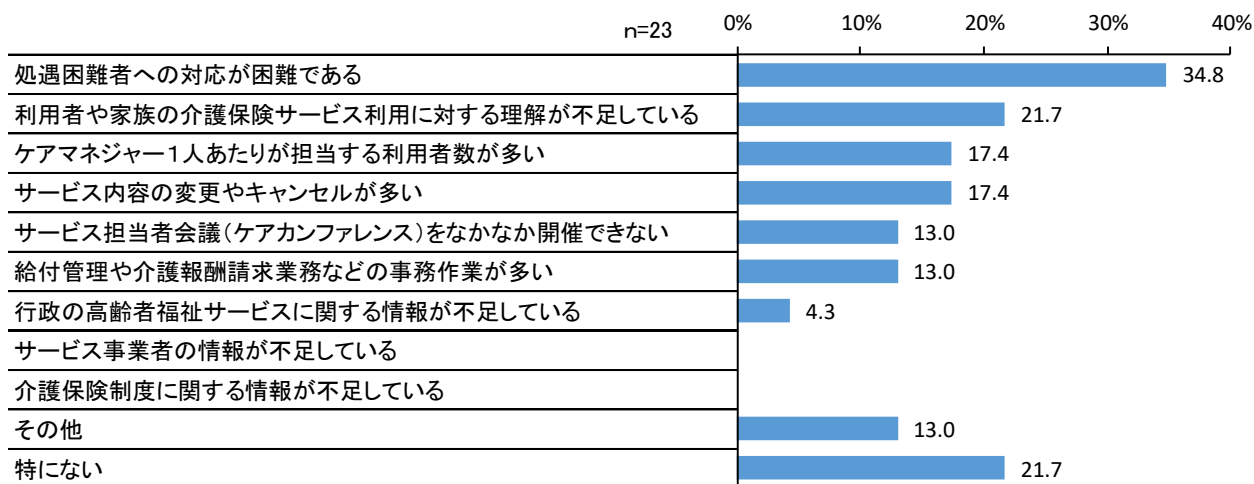


## 2-4 居宅介護サービス計画を作成する上での問題

<居宅介護支援事業所のある法人のみ>

問11 居宅介護サービス計画を作成するにあたって、問題があると考えているのは、どのようなことですか。(〇は3つまで)

居宅介護サービス計画を作成する上での問題は、「処遇困難者への対応が困難である」が34.8%※と最も高く、次いで「利用者や家族の介護保険サービス利用に対する理解が不足している」(21.7%)、「ケアマネジャー1人あたりが担当する利用者数が多い」「サービス内容の変更やキャンセルが多い」(ともに17.4%)となっています。



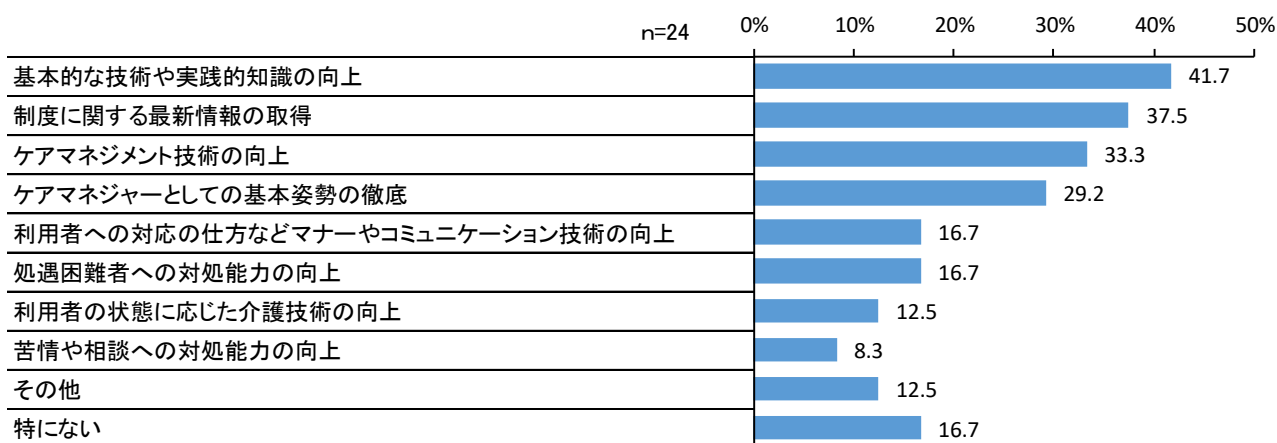
※無回答を除いて集計

## 2-5 ケアマネジャーの質の確保等のために重視していること

＜居宅介護支援事業所及び施設サービス事業所のある法人のみ＞

問12 貴事務所では、ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、特にどのような点に重視して取り組んでいますか。（〇は3つまで）

ケアマネジャーの質の確保等のために重視していることは、「基本的な技術や実践的知識の向上」が 41.7%※と最も高く、次いで「制度に関する最新情報の取得」（37.5%）、「ケアマネジメント技術の向上」（33.3%）、「ケアマネジャーとしての基本姿勢の徹底」（29.2%）となっています。

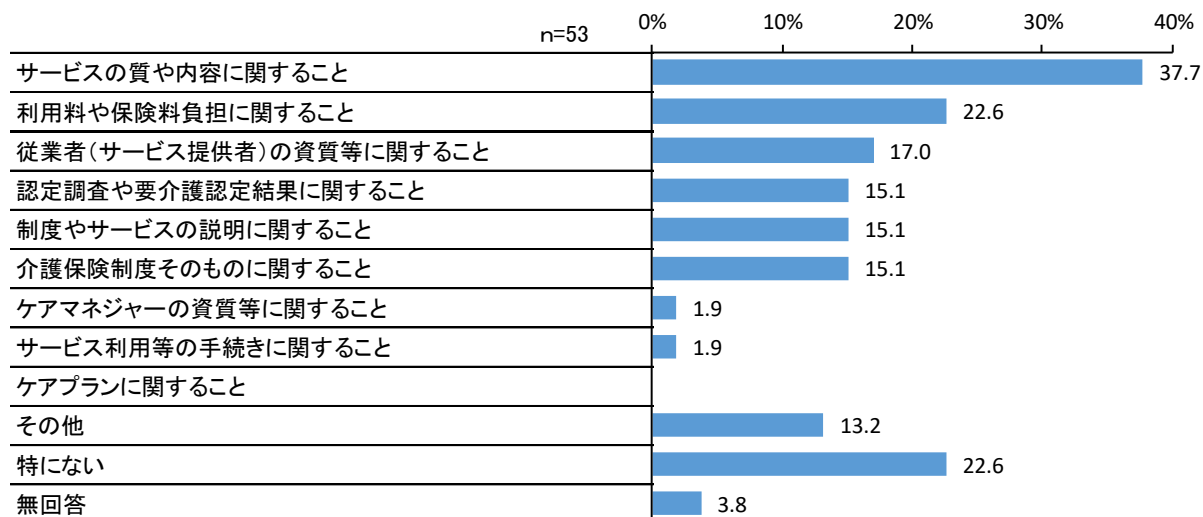


※無回答を除いて集計

## 2-6 利用者や家族からの苦情の内容

問13 貴事務所における、利用者や家族からあげられる苦情の内容について、次の中から多いものをお答えください。（〇は3つまで）

利用者や家族からの苦情の内容は、「サービスの質や内容に関すること」が 37.7%と最も高く、次いで「利用料や保険料負担に関すること」（22.6%）、「従業者（サービス提供者）の資質等に関すること」（17.0%）となっています。また、「特にない」は 22.6%となっています。





## 2-7 介護・高齢者福祉についての意見

問14 その他、介護・高齢者福祉に関することでご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

介護・高齢者福祉については、下記のような内容で19件のご意見をいただきました。

	内 容	件数
1	現状・将来の課題	7
2	市の施策への要望	6
3	介護保険制度への要望	3
4	その他	3
合 計		19

いただいたご意見（全件）

### < 1 現状・将来の課題 >

- ・看護師の人材確保も課題です。在宅で医療的ケアが多くなり、看護質を考えると、看護師もピンキリでオールマイティーに何でもこなせる人材が少ないように思います。今後、2025年以降、もっと看護師が不足します。今後も看護の指示のもととなっていますが、なかなか指示に従っていただけない現状があります。
- ・障害サービスから介護保険に移行する際、連携がとれていないため、事業所の急なサービスの見直し、利用者自身のサービスの減少など問題が起きているケースが多い。
- ・通所型サービスAの報酬が少なく、職員はキャリアアップして給料を増やしていくが、処遇改善等の加算もないため、利益がほとんど出ていない。利用者やケアマネが求めるサービス（機能訓練）を提供するには、複数名の専門職を配置する必要があるが、生活支援サービスの利用者が多く、報酬が少ないため経営的に苦しい。
- ・介護保険事業に参入して10年以上が経過しました。当初はデイサービスを立ち上げ、居宅を開設し、3年前には福祉用具事業を始めました。事業は拡大していますが、収益は向上しない、むしろ悪化しているのでは、と感じます。介護報酬は年々少なくなり、職員が長く働いてくれると人件費はかさんでいきます。ケアマネジャーは研修が大変なので、ケアマネの仕事は長くできないとの声もあります。現場に活用できる研修でもないし、働く人の善意にこれほど頼る業界も珍しいのでは。
- ・集中リハ卒業者、通所（生活支援）対象までもいかずコミュニティーの場などにも参加されない独居の方など、経過をみていくと維持するのが難しい（戻るケースあり）。
- ・ニーズに対して様々な声を聞くことがあります（支援方法について）。職種や立場、価値観等によって、支援の方向性が様々聞かれます。コロナ対応では細心の注意を払うとともに、精神的負担も感じられます。日々、異なるケースが発生する現状に悩むこともあります。話し合いを行い、最適な支援ができるよう実践しているところです。
- ・認知症の利用者様の年齢が昭和1桁から2桁の後半、10～20年に移行してきている。身体介護から精神的介護が必要になってきている。

### < 2 市の施策への要望 >

- ・清須市の総合事業の生活支援通所サービス（基準緩和型サービス）の一日型では、チェックリストやアセスメントにより入浴が必要な方が多く利用されている。また、排泄介助や歩行介助が必要な利用者もいる。一方で人員配置基準においては人員配置が緩和されているものの、介護職員処遇改善加算が算定できないため、介護専門職の配置が困難となっている。専門的な介護を実施している場合においては処遇改善加算の算定ができるよう検討していただきたい。また、今後、要介護1・2の方が総合事業に移行される可能性があり、その際には今の総合事業の人員配置基準以上に介護専門職の配置の必要性が高まるため、その

点も加味してご検討いただきたい。

- ・先日の地域ケア個別会議でも取り上げられていましたが、高齢者にとってゴミ出しは日々の生活の中で非常に負担が大きい事柄です。清須市におかれましてもその部分をサポートしていただけると助かります。
- ・昨今の社会情勢から原材料や燃油の上昇、人材確保から人件費上昇等、コスト面が高騰しています。しかし福祉用具貸与には上限価格が設定されており、商品への価格転嫁ができない状況です。少ない人材（給与）でより多くの業務を行うことに限界を感じており、人材の流出や経営悪化も視野に入っています。どうかご検討いただけることを切に願っています。
- ・一年前に清須市の事業所に異動で着任しましたが、独居で認知症、または独居ではないが必要な受診や認知症医療センター等での初期診断も一切行われていない高齢者の方ばかりの印象です。地域包括支援センターもまったく存在感がなく、ケアマネジャーも施設に任せるのみの対応で、地域での認知症のケアについては他の自治体と比べ非常に遅れをとっており、危機感を覚えます。もっと地域への啓蒙やケアマネへの研修等、力の入った取り組みが求められます。
- ・通所介護連絡会が休止状態になって久しく、行政主導で再開を希望します。
- ・総合事業の単位（単価）を上げてほしい（安すぎて受けられないため、一定数で制限してしまう事業所が多い）。事業対象者や要支援1・2の方々に対しても、既存の介護保険事業所を利用するのであれば、その対応は介護士になるので、処遇改善の助成を付けてほしい（他市町村は付いている）。

### < 3 介護保険制度への要望 >

- ・常に経営状態が不安定で、事業継続のためにも事業所加算を取得したいが、ICT 機器やソフトウェアの導入がなければ実質難しいようで、それにあたっての費用や方法、高齢化するヘルパーへの負担・抵抗感等考えると踏み込めない。もっと加算を取得しやすくしてほしい。
- ・苦情はないが、利用者同士で要介護度の会話をしていると「何でだろう」と疑問を持たれる方がみえる。認定調査員によるものか、調査時の状態にもよるのか、同じ介護度でも状態に差を感じることもある。家族以外にサービス事業者等関わりのある方がみえれば（確認される方もみえますが）、意見を参考にできたらより適正な結果が出るのか。
- ・認定更新にて介護から支援になると、原則的には当施設の利用が中止、他サービスに移行するシステムだが、トラブルになる、もしくは了承されるが不満が残るというケースが多い。デイケアは卒業することを目的にサービス提供する施設ではあるが、利用を継続することで身体機能の維持がcaろうじてできているという利用者様が大多数であり、当施設が開設してから「卒業」となった方は2名のみ。当施設の運営方法や方針にも問題があるかもしれないが、介護度が改善し、喜んでいただけるような制度であることを望みます。

### < 4 その他 >

- ・このアンケートは事業所への問いと法人への問いが混在しているので、正直答えにくいと感じました。その他の事柄については、その都度ご相談させていただきます。今後ともよろしくお願いします。
- ・以前他市でケアマネをしていました。清須市は高齢福祉課の職員さんがとても親切でありがたいといつも思っています。要支援の方だけでなく要介護の方も総合事業に移行していくのでは、と利用者様に聞かれることが増えました。最新の情報を自分でもアンテナを張って収集していく必要があると考えます。
- ・ICTなどの導入を図り、業務改善を行っていききたい。行政との連携についても、ネットワークを利用した仕組みを多く入れ、書類のやりとり、印章の必要など見直しを行い、時間の短縮、さらには今以上のサービス向上につなげたい。

---

**清須市**  
**高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画**  
**アンケート調査分析報告書**

令和5年3月発行

清須市 健康福祉部 高齢福祉課

〒452-8569 愛知県清須市須ヶ口 1238

TEL (052) 400-2911

---